

I. 調査研究の概要

1. 背景と目的

少子高齢化の進行に伴い福祉サービスの利用ニーズは増加している状況にある中、福祉の職場ではサービスを提供する人材の確保が緊急の課題である。志をもって福祉職を選択した介護職員が、力を発揮し、やりがいを感じながら、自らのキャリアを描き、働き続けることのできる魅力ある職場環境の整備が求められている。こうした状況をふまえ、岡山県内の法人・企業における人材の確保・定着に関する現状を把握し、課題等を明らかにすることで、岡山県および岡山県福祉人材センターと福祉施設・事業所、並びに関係機関が共通した認識を持ち、より効果的な対策等を進めることを目的に、本調査を実施した。

なお、本調査は統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づき実施した（岡山県統計調査登録番号第 148 号）。

2. 調査対象と方法

2-1. 調査対象

岡山県内の福祉・介護事業所（高齢・障害分野）1,733 事業所を対象とし、介護福祉士（3 名）、介護福祉士資格を持たない介護職員（1 名）、採用担当者（1 名）に回答を求めた。

介護職員および介護福祉士については自身のことを、採用担当者には法人全体について回答するよう依頼した。

1,733 事業所の抽出は、保健福祉施設・病院等一覧（令和 6 年 4 月 1 日現在）に掲載されている、介護老人福祉施設 237、通所介護事業所のうち公共団体・社会福祉法人が経営する事業所を除く 622、認知症対応型共同生活介護事業所 345、障害者支援施設が 47、障害福祉サービスを行う事業所（生活介護・就労継続支援 B 型）482 とした。

2-2. 調査方法

郵送調査法により調査を実施した。調査票は無記名自記式とし、記入後は本人により添付の封筒に密封することを依頼した。回収は、施設ごとに返送を依頼した。

2-3. 調査時点

令和 6 年 5 月 27 日に発送し、同年 6 月 30 日を返送締め切りとした。

2-4. 調査内容

回答者の属性等について、性別、年齢、最終学歴、現職場での勤続年数、健康度自己評価などを調査した。

また、所属機関の情報として、所属機関の種別・運営主体を調査した。また、回答者の勤務状況に関して、夜勤時の勤務・休憩時間、職場環境などを調査した。

さらに、福祉・介護人材の定着支援に関する施策につなげる基礎資料を収集すべく、離職を思いとどまった経験、離職後に介護福祉士として再就職したきっかけ、離職した介護福祉人材に対する再就職支援についての希望などを調査した。



介護福祉士

介護福祉士を対象とした調査結果の概要

1. 回収票および有効票

1,733 事業所に勤務する介護福祉士 3 名, 合計 5,199 名に調査票を配布し, 2,161 名から回答が得られた。(回収率 41.6%)

記述統計には, 回収された 2,161 名分の調査票のうち, 各調査項目に欠損値のないものを用いた。

2. 集計結果

1) 対象者 2,161 名の属性

(1) 性別

性別は男性 538 名(24.9%), 女性 1,615 名(74.7%), 無回答 8 名(0.4%)であった。

男性が 1/4 を占めた割合を, 平成 14 年に実施された岡山県内の介護福祉士実態調査および平成 23 年に実施された岡山県内の介護福祉士実態調査と比較すると, 男性の割合が高くなっていた。

<参考資料>

・平成 14 年岡山県内の介護福祉士実態調査

岡山県介護福祉士会に所属する介護福祉士のうち, 介護に従事している 1,206 名を対象に実施された。解析対象は 694 名であった。

男性 37 名(5.3%), 女性 641 名(92.4%), 無回答 16 名(2.3%)であった。

・平成 23 年岡山県内の介護福祉士実態調査

岡山県保健福祉施設・病院名簿平成 23 年度版に掲載されている施設・事業所のうち, 268 施設・事業所に勤務する介護福祉士 3,000 名を対象に実施された。解析対象は 2,387 名であった。

男性 413 名(17.3%), 女性 1973 名(82.6%), 無回答 1 名(0.1%)であった。

(2) 年齢

年齢区分は, 10 歳代が 0 名, 20 歳代が 118 名(5.5%), 30 歳代が 396 名(18.3%), 40 歳代が 709 名(32.8%), 50 歳代が 580 名(26.8%), 60 歳代が 245 名(11.3%), 70 歳代が 50 名(2.3%), 無回答が 63 名(2.9%)であった。平均年齢は 47.2 歳(標準偏差 10.8 歳), 中央値 47.0 歳で, 年齢範囲は 20 歳から 77 歳であった。

40 歳代と 50 歳代で半数以上を占めた現状を, 平成 14 年に実施された調査と比較すると, 介護福祉士の中高年齢化が観察された。また, 平成 23 年に実施された調査と比較しても, 介護福祉士の平均年齢は高くなっていた。

<参考資料>

・平成 14 年岡山県内の介護福祉士実態調査

10 歳代が 3 名(0.4%), 20 歳代が 248 名(35.8%), 30 歳代が 85 名(12.2%), 40 歳代が 173 名(24.9%), 50 歳以上が 167 名(24.1%), 無回答が 18 名(2.6%)で, 平均年齢は 38.1 歳(標準偏

差 12.3 歳)で、年齢範囲は 19 歳から 64 歳であった。

・平成 23 年岡山県内の介護福祉士実態調査

平均年齢は 38.7 歳であった。(標準偏差や年齢階層ごとの度数分布は不明)

(3) 介護福祉士としての通算経験年数

介護福祉士としての通算経験年数は、2 年未満が 178 名(8.2%)、2 年以上 5 年未満が 248 名(11.5%)、5 年以上 10 年未満が 516 名(23.9%)、10 年以上が 876 名(40.5%)、20 年以上が 278 名(12.9%)、無回答が 65 名(3.0%)であった。

10 年以上の通算経験年数を持つものが 4 割以上を占めた現状を、平成 14 年に実施された調査および平成 23 年に実施された調査と比較すると、長期間介護福祉士として勤務している人材の増加が観察された。対象者が異なるため直接的な比較はできないが、年齢の中高年齢化と併せ、介護福祉士として勤務を続けられてきた実態と推測される。

<参考資料>

・平成 14 年に実施された、岡山県内の介護福祉士実態調査

介護福祉士としての通算経験年数区分は、2 年未満が 100 名(14.4%)、2 年以上 5 年未満が 229 名(33.0%)、5 年以上 10 年未満が 236 名(34.0%)、10 年以上が 100 名(14.4%)、無回答が 29 名(4.2%)であった。

・平成 23 年に実施された、岡山県内の介護福祉士実態調査

現職場での勤務年数は 7.7 年、介護福祉士を取得してからの勤務年数は 7.1 年であった。

2) 勤務状況

(1) 勤務している事業所

勤務している事業所の内訳は、介護老人福祉施設が 420 名(19.4%)、通所介護事業所が 769 名(35.6%)、認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)が 547 名(25.3%)、障害者支援施設が 205 名(9.5%)、障害福祉サービスを行う事業所が 138 名(6.4%)、その他が 67 名(3.1%)、無回答 15 名(0.7%)であった。

(2) 経営主体

経営主体の内訳は、社会福祉法人が 871 名(40.3%)、営利法人(株式会社・有限会社等)が 838 名(38.8%)等であり、両方で約 8 割を占めた。

(3) 雇用形態

雇用形態は、正規職員(正規雇用)が 1,633 名(75.6%)、パート・アルバイト(非正規の直接雇用)が 406 名(18.8%)等であった。正規職員が大半を占めた。

(4) 役職

現在の職場での役職は、経営者(施設や事業所などを経営する者) 19 名(0.9%)、施設や事業所などの組織を束ねる管理者 210 名(9.7%)、係長・主任等のチームリーダー 180 名(8.3%)、介護職のチームリーダー 263 名(12.2%)、一般職介護福祉士 1,378 名(63.8%)、その他 89 名(4.1%)、無回答 22 名(1.0%)

であった。

(5) 年収

現在の年収は、100～199 万円以下 329 名(15.2%)、200～299 万円 642 名(29.7%)、300～399 万円 697 名(32.3%)、400～439 万円 232 名(10.7%)、440～499 万円 125 名(5.8%)、500～799 万円 77 名(3.6%)、800 万円以上 3 名(0.1%)、無回答 56 名(2.6%)であった。

(6) 通勤時間

通勤時間は、5 分以内が 248 名(11.5%)、6～10 分以内が 374 名(17.3%)、11～15 分以内が 401 名(18.6%)、16～20 分以内が 407 名(18.8%)、21～25 分以内が 93 名(4.3%)、26～30 分以内が 308 名(14.3%)等であった。30 分以内の通勤時間との回答が約 8 割を占めた。

3) 健康、幸福、社会的地位・生活水準の主観的評価

(1) 健康の状況

健康度自己評価の内訳は、「非常に健康だと思う」：4 点が 282 名(13.0%)、「まあ健康なほうだと思う」：3 点が 1,380 名(63.9%)、「あまり健康ではないと思う」：2 点が 426 名(19.7%)、「健康ではないと思う」：1 点が 70 名 (3.2%)、無回答が 3 名(0.1%)であり、おおむね健康と認識している現状であった。

(2) 幸福の程度

「あなたはどの程度幸せと感じていますか」との質問に対し、「非常にそう思う」：4 点が 289 名(13.4%)、「ある程度そう思う」：3 点が 1,474 名(68.2%)、「あまりそう思わない」：2 点が 338 名(15.6%)、「まったくそう思わない」：1 点が 58 名(2.7%)、無回答が 2 名(0.1%)であり、おおむね幸福と認識していた。ただし、幸福ではないと感じている介護福祉士が 2 割弱存在することは、看過できない現状である。

(3) 社会的地位・生活水準自己評価

「期待通りの生活水準や社会的地位を手に入れたと思いますか」との質問に対し、「非常にそう思う」：4 点が 202 名(9.3%)、「ある程度そう思う」：3 点が 879 名(40.7%)、「あまりそう思わない」：2 点が 789 名(36.5%)、「まったくそう思わない」：1 点が 288 名(13.3%)、無回答が 3 名(0.1%)であり、おおむね半々の認識であった。

4) 役職と幸福の程度および社会的地位・生活水準自己評価との関連

(1) 役職と幸福の程度の関連

役職ごとに幸福の程度「あなたはどの程度幸せと感じていますか」の自己評価得点を比較した。経営者 3.26 ± 0.56 、施設や事業所などの組織を束ねる管理者 2.98 ± 0.62 、係長・主任等のチームリーダー 2.89 ± 0.59 、介護職のチームリーダー 2.89 ± 0.63 、一般職介護福祉士 2.92 ± 0.62 であった。経営者の幸福の程度は、係長・主任等のチームリーダー、介護職のチームリーダーおよび介護職員に比して有意に高かった(Kruskal-Wallis 検定)。一般職介護福祉士が感じる幸福の程度は、経営者と管理職に次いで 3 番目

に高かった。係長・主任等のチームリーダー、介護職のチームリーダーの幸福の程度は一般職介護福祉士より低いことが注目された。

(2) 役職と社会的地位・生活水準についての自己評価の関連

役職ごとに社会的地位・生活水準についての自己評価「期待通りの生活水準や社会的地位を手に入れたと思いますか」の得点を比較した。経営者 3.00 ± 0.74 、施設や事業所などの組織を束ねる管理者 2.57 ± 0.80 、係長・主任等のチームリーダー 2.51 ± 0.80 、介護職のチームリーダー 2.45 ± 0.80 、一般職介護福祉士 2.41 ± 0.84 であった。経営者の社会的地位・生活水準についての自己評価は、管理者、係長・主任、介護職チームリーダーおよび一般職介護福祉士に比して有意に高く (Kruskal-Wallis 検定)、管理者の社会的地位・生活水準についての自己評価の程度は、一般職介護福祉士に比して有意に高かった。一般職介護福祉士は経営者に比べ自己評価が 0.5 ポイント下回っていることが注目された。

5) 年収と幸福の程度および社会的地位・生活水準自己評価との関連

(1) 年収と幸福の程度の関連

年収ごとに幸福の程度「あなたはどの程度幸せと感じていますか」の自己評価得点を比較した。100～199 万円以下の場合の幸福の程度は 2.97 ± 0.60 、200～299 万円の場合は 2.92 ± 0.62 、300～399 万円の場合は 2.88 ± 0.63 、400～439 万円の場合は 2.96 ± 0.64 、440～499 万円の場合は 3.00 ± 0.63 、500～799 万円の場合は 2.94 ± 0.49 、800 万円以上の場合の幸福の程度は 4.00 ± 0.00 であった。300 万円台の場合が幸福の程度が最も低値であることが注目され、800 万円以上の間に有意差が認められた (Kruskal-Wallis 検定)。

(2) 年収と社会的地位・生活水準についての自己評価の関連

年収ごとに社会的地位・生活水準についての自己評価「期待通りの生活水準や社会的地位を手に入れたと思いますか」の得点を比較した。100～199 万円以下の場合の社会的地位・生活水準についての自己評価は 2.52 ± 0.87 、200～299 万円の場合は 2.46 ± 0.84 、300～399 万円の場合は 2.39 ± 0.84 、400～439 万円の場合は 2.54 ± 0.76 、440～499 万円の場合は 2.54 ± 0.84 、500～799 万円の場合は 2.56 ± 0.71 、800 万円以上の場合 4.00 ± 0.00 であった。年収が 440 万円を超えると社会的地位・生活水準についての自己評価はおおむね高いことが観察された。幸福の程度と同様に、300 万円台の場合の認識が最も低く、期待通りの生活水準や社会的地位を手に入れていないと認識していることが注目された (Kruskal-Wallis 検定)。

6) 介護福祉士の仕事に対する思いの実態

仕事満足度や仕事継続意向、離職意向といった概念は、産業社会学などにおいて重要な概念として扱われてきた。それは、対人援助職とは利用者との人間関係を基礎に行われる業務であるがゆえに、職員の退職動向が利用者に影響を及ぼすからである。また、心理社会学・経済学の領域において、仕事ストレスの観点から最終的な帰結として検討が進められてきた。ヒューマンサービス従事者における職務ストレスは、効率や生産性との関係以上に利用者へ及ぼす影響が懸念されている。とりわけ離職については、実際の離職行動に至らずともその意向を抱くことで、ケアへの無力感、労働意欲の低下が促進され、

サービス利用者の生活の質に悪影響を及ぼすことが指摘されてきた。

そこで、福祉・介護人材の定着支援に関する施策につなげる基礎資料を収集すべく、(1)仕事に対するやりがい、(2)心に残る経験や出来事、(3)仕事満足度、(4)仕事継続意向、(5)離職を思いとどまることができたエピソード、(6)転職の経験、(7)現在の法人への入職経路、(8)現在の法人を選んだ理由、(9)離職後に介護福祉士として再就職したきっかけ、(10)離職した介護福祉士に対する再就職支援についての希望などを調査した。

(1) 仕事に対するやりがい

仕事に対するやりがいに関しては、「やりがいと感じていることをお聞かせください」と質問し、自由記述を求めた。結果、1,435名から回答が得られた。

自由記述の回答から仕事のやりがいに関する概念を抽出するため、テキストマイニングの手法を用いて分析を行った。テキストマイニングの解析には、KH coder ver.3（樋口耕一 2020）を使用した。

まず、分析を行うための事前準備として分析に用いる語を精査した。分析に用いる語は、できるだけ生の声を反映することをねらいに、語の処理を最小限に留めた。具体的には、自由記述を形態素（意味を持つ最小限の語）に分解し、揺れのある語、不適切に切断されている語、分析に適さない語を確認した。

同意語として処理した語を以下に示す。

スタッフ→職員， レク→レクリエーション， お話→話， うれし→嬉し

また、不適切に切断されている語を確認し、強制抽出語として「ケアマネ」を指定した。

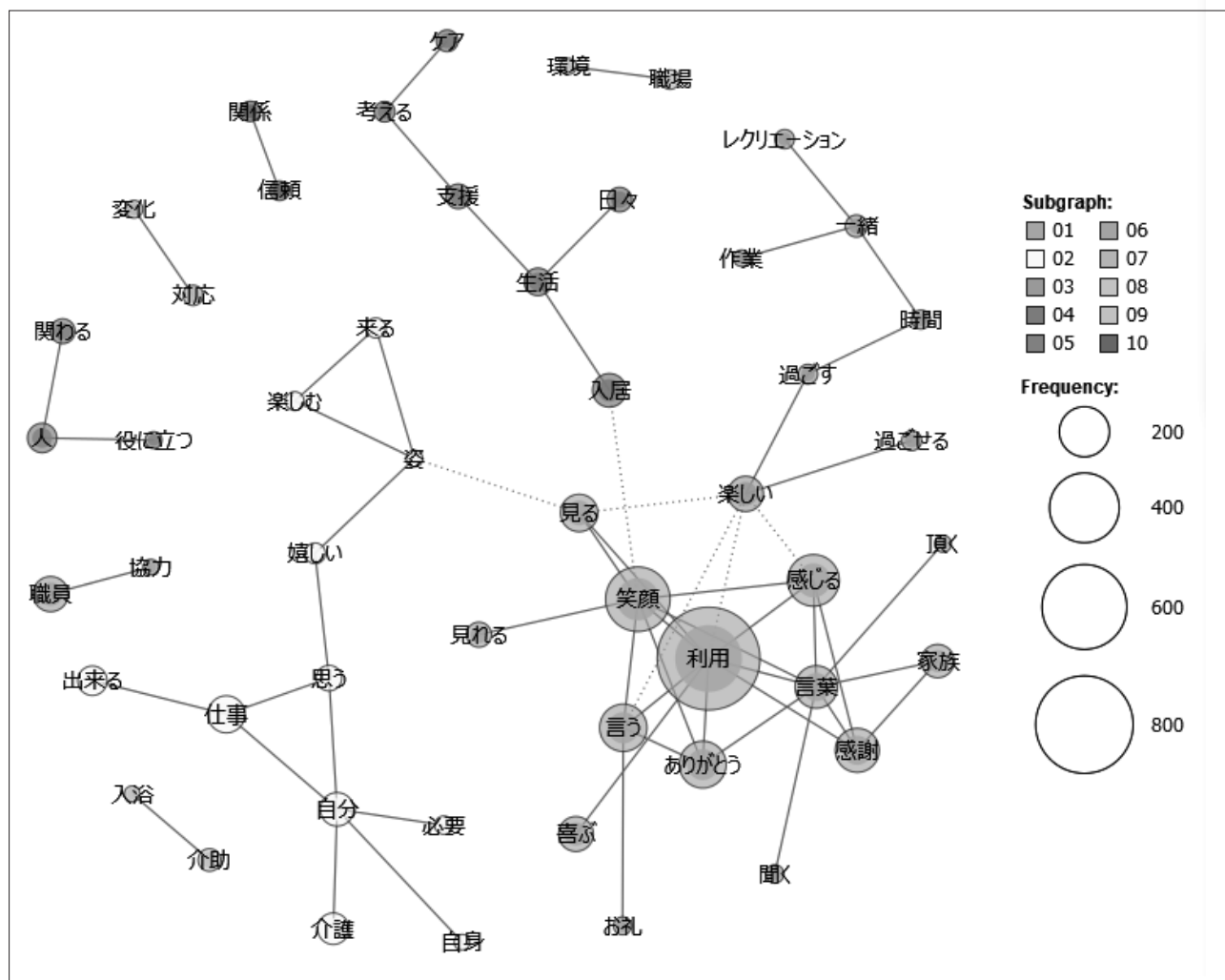
語の処理後、分析に用いる語は、総抽出語数 23,483(8,707)、異なり語数 1,460(1,201)であった。

次に、仕事のやりがいに関する全体的な傾向を知るため、上位 150 の頻出語を抽出した。

150 の頻出語（介護福祉士：仕事のやりがい）

順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数
1	利用	893	51	必要	22	101	状態	11
2	笑顔	341	52	聞く	22	102	満足	11
3	感じる	214	53	毎日	22	103	立てる	11
4	言う	178	54	お客様	21	104	お手伝い	10
5	ありがとう	175	55	お礼	21	105	ケアマネ	10
6	感謝	153	56	増える	21	106	覚える	10
7	言葉	142	57	変化	20	107	楽しみ	10
8	見る	108	58	安心	19	108	活動	10
9	仕事	106	59	方々	19	109	共有	10
10	楽しい	96	60	話	19	110	見せる	10
11	職員	95	61	達成	18	111	事業	10
12	喜ぶ	93	62	頂く	18	112	終わる	10
13	入居	86	63	役に立つ	18	113	充実	10
14	自分	85	64	作業	17	114	障害	10
15	家族	84	65	姿	17	115	接す	10
16	介護	74	66	頼る	17	116	大変	10
17	出来る	64	67	環境	16	117	勉強	10
18	人	64	68	今	16	118	役	10
19	生活	56	69	相談	16	119	チームワーク	9
20	思う	47	70	頼り	16	120	デイサービス	9
21	関わり	45	71	協力	15	121	穏やか	9
22	見れる	45	72	自身	15	122	掛ける	9
23	関わる	44	73	入浴	15	123	技術	9
24	支援	44	74	チーム	14	124	現在	9
25	日々	43	75	喜び	14	125	向上	9
26	介助	36	76	提供	14	126	好き	9
27	会話	36	77	働く	14	127	事	9
28	一緒	34	78	認知	14	128	自立	9
29	ケア	33	79	様子	14	129	新しい	9
30	業務	33	80	気持ち	13	130	知識	9
31	元気	33	81	経験	13	131	直接	9
32	コミュニケーション	30	82	高齢	13	132	伝える	9
33	嬉しい	29	83	心	13	133	目標	9
34	考える	29	84	接する	13	134	育成	8
35	頂ける	29	85	サービス	12	135	何事	8
36	関係	28	86	頑張る	12	136	改善	8
37	対応	28	87	見える	12	137	学ぶ	8
38	良い	28	88	現場	12	138	幸せ	8
39	過ごせる	27	89	行う	12	139	行動	8
40	来る	27	90	今日	12	140	合う	8
41	過ごす	26	91	持つ	12	141	施設	8
42	少し	26	92	笑う	12	142	少ない	8
43	信頼	26	93	上司	12	143	色々	8
44	レクリエーション	25	94	人生	12	144	担当	8
45	職場	25	95	ユニット	11	145	築ける	8
46	声	25	96	管理	11	146	仲間	8
47	時間	24	97	顔	11	147	通所	8
48	多い	24	98	帰る	11	148	同士	8
49	楽しむ	23	99	行事	11	149	日常	8
50	成長	23	100	思える	11	150	普段	8

続いて、仕事のやりがいに関する概念を抽出するため、頻出語を用いて共起ネットワークを作成した（最小限出現数 15, Jaccard 上位 60, modularity）。結果、10 のクラスターに分類された。



共起ネットワーク（介護福祉士：仕事のやりがい）

最後に、10のクラスターを構成する語から、仕事のやりがいに関する概念を抽出した。

クラスターを構成する語	抽出された概念
利用, ありがとう, 言葉, 頂く, 家族, 感謝, お礼, 言う, 笑顔, 見る, 見れる	利用者や家族からの感謝の言葉 利用者の笑顔が見られるとき
レクリエーション, 一緒, 作業, 過ごす, 時間, 楽しい, 過ごせる	利用者がレクリエーションを楽しく過ごしているとき 利用者と一緒に作業をして過ごせる時間が楽しいと感じるとき
ケア, 考える, 支援, 生活, 日々, 入居	入居者の生活をよくするためのケアや支援を考えると き
関わる, 人, 役に立つ	関わりの中で役立てると感じるとき
信頼, 関係	利用者と信頼関係が築けていると感じるとき
職員, 協力	職場での人間関係がよく, 他の職員と協力しながら仕事ができていると感じるとき
変化, 対応	利用者の変化に気づき, 対応することができたとき
入浴, 介助	入浴, 食事, 排泄などの介助で利用者の喜ぶ姿がみられるとき
環境, 職場	やりがいを感じる職場環境とやりがいを感じない職場環境
自分, 自身, 必要, 介護, 仕事, 出来る, 嬉しい, 姿, 楽しむ, 来る, 思う	自分を必要とする人の存在 楽しみに来てくださる利用者の存在 利用者の出来ることが増えていくと感じるとき 思うような介護が実践できたとき

具体的な記述の一例を以下に示す。

- ・利用者様と一緒に創作や調理, レクリエーションを一緒にしているとき。
- ・作業が好きな利用者と一緒に作品を作っている事。
- ・入居者様が楽しそうに笑って過ごし「ありがとう」と言葉を頂いた時。
- ・他職員等と意見交換しながら, ケアの方法を考えたりケアプランを作成したりすること。
- ・職場環境が良く, 入職してから仕事内容を把握出来てきたので, とてもやりがいを感じる。
- ・今の職場は仕事量が多く忙しく仕事をやりきった時に達成感を感じた時やりがいを感じる。
- ・職場で必要とされている。職場に笑顔が多い。職場において自分の居場所がある。
- ・利用者と関わることで利用者と信頼関係を築き, 様々な介護を任せてもらえること。
- ・利用者さんとともに作業をしてお互いに協力しあえること。
- ・色々な利用者様と楽しく話をしたり, 職員とも協力し合い仕事が出来ていると感じる事。
- ・できなかった事が出来る様になった時, 自立支援につながったと嬉しくなります。
- ・誰かの人生の支えとなれる。誰かの役に立っていると感じられることがある。
- ・体調の変化など早期発見できた時。
- ・チーム職員で協力して働けることにやりがいを感じる。
- ・利用者, 家族, 地域などから必要とされる事。

仕事のやりがいに関する記述には、「ありがとう」、「笑顔」など利用者からのフィードバックが最も多くを占めていた。また、利用者との関わりやコミュニケーションを通じて関係性が深まることを実感し、やりがいとなっていることが示された。さらに、自分の職務が利用者の生活に役立てている、利用者のできることが増えていくことを実感し、やりがいとなっていることが示された。

他方、介護福祉士の自由記述には、利用者の体調の変化に気づいたり、介護計画を立案したりするなど、介護福祉職の専門性を活かした職務遂行が仕事のやりがいにつながっていることが示された。

(2) 心に残る経験や出来事

心に残る経験や出来事に関しては、「これまでの介護福祉の仕事振り返り、心に残る経験や出来事（感動した、嬉しかった、辛かったなど）とその理由を教えてください」と質問し、自由記述を求めた。結果、1,536名から回答が得られた。

自由記述の回答から心に残る経験や出来事に関する概念を抽出するため、テキストマイニングの手法を用いて分析を行った。テキストマイニングの解析には、KH coder ver.3 (樋口耕一 2020) を使用した。

まず、分析を行うための事前準備として分析に用いる語を精査した。分析に用いる語は、できるだけ生の声を反映することをねらいに、語の処理を最小限に留めた。具体的には、自由記述を形態素（意味を持つ最小限の語）に分解し、揺れのある語、不適切に切断されている語、分析に適さない語を確認した。

同意語として処理した語を以下に示す。

スタッフ→職員, レク→レクリエーション, お話→話, うれし→嬉し, つら→辛
--

また、不適切に切断されている語を確認し、強制抽出語として「ケアマネ」「パワハラ」を指定した。

加えて、分析に適さないため、使用しない語として「心」「残る」を指定した。

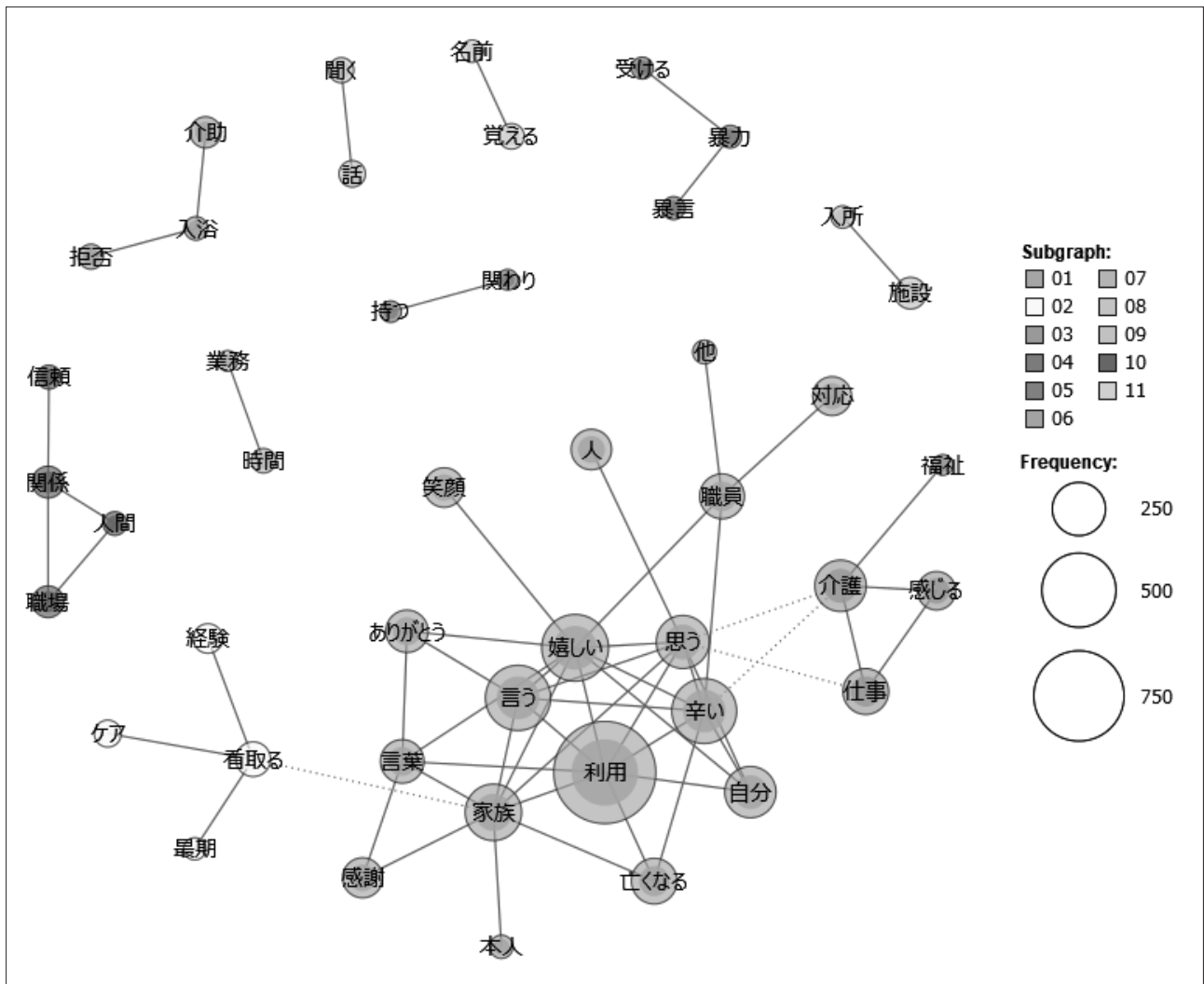
語の処理後、分析に用いる語は、総抽出語数 60,083(22,233)、異なり語数 3,543(3,042)であった。

次に、心に残る経験や出来事に関する全体的な傾向を知るため、自由記述を形態素に分解し、上位 150 の頻出語を抽出した。

150 の頻出語（介護福祉士：心に残る経験・出来事）

順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数
1	利用	968	51	支援	46	101	管理	28
2	嬉しい	403	52	思い	45	102	頂く	28
3	言う	383	53	信頼	45	103	顔	27
4	辛い	379	54	大変	45	104	最後	27
5	家族	284	55	頑張る	44	105	姿	27
6	思う	248	56	人間	44	106	自身	27
7	介護	233	57	他	44	107	精神	27
8	自分	232	58	担当	44	108	続ける	27
9	仕事	183	59	働く	44	109	話す	27
10	亡くなる	182	60	関わる	43	110	お世話	26
11	職員	175	61	入浴	43	111	入院	26
12	言葉	165	62	初めて	42	112	悲しい	26
13	ありがとう	155	63	本人	42	113	分かる	26
14	人	141	64	暴言	41	114	訪問	26
15	感謝	138	65	暴力	40	115	毎日	26
16	笑顔	134	66	入所	39	116	呼ぶ	25
17	対応	129	67	以前	38	117	理解	25
18	感じる	126	68	強い	38	118	グループホーム	24
19	入居	125	69	最期	38	119	障害	24
20	出来る	106	70	出る	38	120	人生	24
21	看取る	101	71	本当に	38	121	帰る	23
22	認知	100	72	名前	38	122	教える	23
23	関係	84	73	受ける	37	123	最初	23
24	見る	83	74	入る	36	124	食べる	23
25	今	83	75	考える	35	125	知る	23
26	施設	83	76	行う	35	126	通所	23
27	職場	83	77	持つ	35	127	年	23
28	介助	80	78	体調	35	128	別れ	23
29	声	79	79	転倒	35	129	いつ	22
30	楽しい	71	80	日々	35	130	サービス	22
31	経験	71	81	勤務	34	131	一番	22
32	多い	71	82	死	34	132	下	22
33	感動	70	83	少し	33	133	家	22
34	気持ち	70	84	関わり	32	134	喜び	22
35	喜ぶ	68	85	業務	32	135	居る	22
36	元気	67	86	辞める	32	136	事業	22
37	上司	66	87	状態	32	137	出来事	22
38	良い	66	88	難しい	32	138	病院	22
39	前	60	89	福祉	32	139	たくさん	21
40	ケア	58	90	事	31	140	悪い	21
41	話	56	91	先輩	31	141	会う	21
42	夜勤	55	92	増える	31	142	思える	21
43	覚える	52	93	食事	30	143	手	21
44	聞く	50	94	安心	29	144	笑う	21
45	拒否	49	95	気	29	145	新人	21
46	行く	49	96	事故	29	146	相談	21
47	生活	49	97	表情	29	147	忘れる	21
48	時間	47	98	涙	29	148	コミュニケーション	20
49	来る	47	99	過ごす	28	149	開く	20
50	一緒	46	100	会話	28	150	楽しむ	20

続いて、心に残る経験・出来事に関する概念を抽出するため、頻出語を用いて上位 60 の共起ネットワークを作成した（最小限出現数 30, Jaccard 上位 60, modularity）。結果、11 のクラスターに分類された。



共起ネットワーク（介護福祉士：心に残る経験・出来事）

最後に、11のクラスターを構成する語から、心に残る経験・出来事に関する概念を抽出した。

クラスターを構成する語	抽出された概念
人, 亡くなる, 辛い, 思う, 利用, 家族, 本人, 感謝, ありがとう, 言葉, 言う, 笑顔, 嬉しい, 思う, 職員, 対応, 他	利用者や家族から感謝の言葉を言われること 利用者が笑顔を見せてくれたこと 利用者が亡くなることは辛い
最期, 看取る, ケア, 経験	最後まで看取りケアができたこと
入所, 施設	入所施設ならではの忘れられない経験
暴力, 暴言, 受ける	利用者から暴力や暴言など理不尽に思える言動をうけたこと
業務, 時間	勤務時間内で業務を終わらせることができなかったこと
信頼, 関係, 人間, 職場	利用者と信頼関係が築けたこと 職場の人間関係で悩んだこと
入浴, 介助, 拒否	利用者に入浴など介助を拒否されたこと
名前, 覚える	利用者が自分の名前を憶えてくれたこと
介護福祉, 仕事, 感じる	介護福祉士として自信がもてたこと 介護福祉士として責務や葛藤を感じたこと
持つ, 関わり	その利用者に合わせた関わりがもてたこと
話, 聞く	コミュニケーションを通じて利用者との関係が深まったこと

具体的な記述の一例を以下に示す。

- ・自身で考えたサービスを通して笑顔が見られたこと。
- ・コロナ禍で日中も1人体制で利用者に対応した事は、この仕事をしていて、本当に辛かったです。
- ・夜勤で看取を一人で（その瞬間は）した時。息のような声で「ありがとう」と涙を一粒流されたこと。
がありました。側に居る事ができ、見送る事ができて良かったと忘れられません。
- ・長い間お世話をした方が亡くなった時は悲しいが、ご家族から感謝の言葉をかけてもらった時には介護していてよかったと思う。
- ・拒否の強かった利用者の方が、だんだんと拒否がなくなり、笑顔が増えてきてくれ、楽しそうに過ごされている姿を見て嬉しかった。
- ・認知症のある方が私の名前をいつまでも覚えて下さっている時。
- ・上司も職員との関係も良く、利用者様とも信頼関係が出来ていた。
- ・職場の人間関係はどこに行っても辛かったです。また、パワハラもひどいですし、外部相談先も使い物になりません。
- ・利用者様からの暴言、暴力、セクハラが辛い。
- ・職員が不足で暴力・暴言の利用者に対しひとりでの対応がきつい。
- ・入所施設での行事・外出等、利用者との関わりがとても楽しく思い出として残っています。

- ・介護福祉士を取得した事により、高齢者への対応の仕方、自分への自信が持て、楽しく仕事が出来た。
- ・車椅子の移乗の支援や食事支援等が増え、安全を配慮したうえでの介護福祉士としての責務を強く感じるようになった。
- ・看護師より介護福祉士が下だと看護師から見られたり言われることが辛い。
- ・心を開こうとしなかった方とコミュニケーションも徐々に取れ、症状進行していてもしっかりと関わりを持つことが出来たこと。

心に残る経験や出来事は、介護福祉職に就いて初めての職務経験や担当利用者など特定の利用者と親密な関係を結ぶ経験や出来事が最も多かった。また、高齢者介護では、みとりケアや認知症ケアに関連した経験、コロナ禍での出来事が、障害児者支援では、利用者の成長に関連した経験や出来事が多かった。心に残る経験や出来事は、全体的にポジティブにとらえる経験や出来事が多いが、ネガティブな経験や出来事を克服し前向きな気持ちを取り戻している記述もあり、就労継続の意向との関連が示された。

他方、介護福祉士の自由記述には、資格取得にともなう自信や責務を感じていることに対して他職種への理解が十分ではない現状をうかがう記述があり、専門職として社会的評価を高めるための課題を認識していることが示された。また、職場の人間関係に加えて、対応が難しい利用者に対する組織的な取り組みが十分整えられていない職場環境下においてネガティブな経験や出来事が生じていることが示された。

(3) 仕事満足度

仕事満足度に関して、「あなたは、現在の仕事に満足していますか」と質問し、「非常に満足：4点」「満足：3点」「普通：2点」「少し不満：1点」「まったく不満：0点」の5件法で尋ねた。得点が高いほど、仕事満足度が高くなるよう得点化を行った。

有効回答者は2,146名であった。「非常に満足」あるいは「満足」と回答したものは3割強であった。一方で、「普通」と回答した者が約半数、「少し不満」「全く不満」と回答したものは2割程度であった。

平成14年に実施された岡山県内の介護福祉士実態調査をみると、対象者が異なるため直接的な比較はできないが、仕事に対する満足の状況はあまり変わらない様相であった。

<参考資料>

- ・平成14年に実施された、岡山県内の介護福祉士実態調査
「仕事の内容に満足している」という問いに対し、強くそう思う23名(3.5%)、そう思う156名(23.5%)、どちらともいえない301名(45.3%)、そう思わない144名(21.7%)、全くそう思わない40名(6.0%)であった。

なお、平成23年調査には比較可能なデータがなかった。

(4) 仕事継続意向

仕事継続意向に関して、「あなたは介護福祉職を続けようと思いますか」と質問し、「強くそう思う：2点」「そう思う：1点」「あまり思わない：0点」の3件法で尋ねた。得点が高いほど、仕事継続意向が高くなるよう得点化を行った。

有効回答者は2,114名であった。「強くそう思う」234名(11.1%)、「そう思う」1,460名(69.1%)、「あ

まりそう思わない」420名(19.9%)であった。

仕事継続意向がとて高いものが約1割であった。ある程度高いものが7割程度を占める一方で、「あまり思わない」と回答したものは1/5程度にとどまった。

平成14年に実施された岡山県内の介護福祉士実態調査をみると、対象者が異なるため直接的な比較はできないが、仕事継続意向は多少高まっていると捉えられた。

<参考資料>

・平成14年に実施された、岡山県内の介護福祉士実態調査

仕事継続意向に関して、「あなたは今の仕事を続ける気持ちがありますか」と質問し、有効回答者は634名であった。「おおいにある」あるいは「ある」と回答したものは7割を上回った。一方で、「あまりない」あるいは「全くない」と回答したものは約3%にとどまり、介護福祉士が現在の仕事に対し前向きに捉えていることが観察された。

なお、平成23年調査には比較可能なデータがなかった。

(5) 介護福祉士が離職を思いとどまることができたエピソード

自由記述の回答について、5つの枠組みを設定し、近しい自由記述の回答人数を定量的に集計した。

職場の上司や同僚、仲間からの言葉や声掛け、サポート429件、その他(働き方、処遇、やりがい、お金など)207件、利用者やそのご家族からの言葉や声掛け148件、ご自身のご家族や友人からの言葉や声掛け、サポート111件、離職を考えたことはない62件等であった。

離職を思いとどまることができたエピソードでは、職場の上司や同僚からの声掛けやサポートが4割強、職場環境や処遇、やりがい、賃金等の理由が約2割、次いで、ご利用者からの言葉や声掛けが1割強、ご自身のご家族や友人からの言葉やサポートが約1割であった。

次に、314件の自由記述の回答内容をより詳細に定性的に分析した結果、以下のようなカテゴリが抽出された。

① 仕事の中で喜びを感じる経験(300件)

このカテゴリは、仕事にやりがいを感じ、離職を思いとどまる要因となっている経験を分類している。さらに、以下の4つのサブカテゴリに分類できる。

(1) チームワークの重要性(2件)

- ・職場の仲間と支え合いながら働くことにやりがいを感じる。
- ・同僚と共に成長できる環境が仕事を続ける動機になっている。

このグループでは、職場の人間関係や協力体制が、仕事を続ける大きな要因となっていた。

(2) 利用者の感謝の言葉(2件)

- ・ご利用者様から「あなたがいてくれてよかった」と言われた。
- ・利用者や家族から感謝の手紙をもらい、励みになった。

このグループでは、利用者やその家族からの感謝の言葉が、仕事を続ける強い動機になっていた。

(3) 日常業務の楽しさ(289件)

このサブカテゴリは、さらに3つのグループに分類される。

1) 日々の業務の充実感 (286 件)

- ・利用者との会話やふれあいが楽しい。
- ・日々の業務を通じて信頼関係が築けることにやりがいを感じる。
- ・介護職の仕事そのものが好きで、やりがいを感じる。

このグループでは、日常業務そのものを楽しさを感じ、それが継続の要因となっていた。

2) 特殊な体験が影響 (1 件)

- ・特定の利用者との特別な体験が仕事のモチベーションになっている。

このグループは、特定の印象的な出来事が、仕事の継続に影響を与えていた。

3) 利用者の変化が励み (2 件)

- ・利用者の状態が良くなっていく姿を見てやりがいを感じる。
- ・介護を通じて利用者が笑顔になったことが仕事を続ける理由になった。

このグループでは、利用者の変化や成長が、介護職のモチベーションにつながっていた。

(4) キャリアと自己成長 (7 件)

- ・介護職としてのスキル向上を感じることでモチベーションが高まる。
- ・国家資格を取得し、キャリアを積みたいという思いがある。
- ・上司や先輩からの指導を受け、自分の成長を実感することができる。

このグループでは、仕事を通じた自己成長やキャリアアップが、継続の原動力になっていた。

② 家族や利用者との関わりの実感 (9 件)

家族や利用者との関わりを通じて、やりがいを感じたり、仕事を続ける意欲を持つケースが目立った。

- ・施設長からスタッフの人数が足りないからと言われ続けてきたが、ある程度の年齢になっても、続けて仕事ができる事が今はありがたい。
- ・ご利用者様が「明日も来る?」「何時に?」と毎日聞かれると信頼されているのかなと感じる。
- ・家族や入居者から「あなたがいるからここで良かった」と言われた。

③ 離職を考えたことがない(3 件)

そもそも離職を考えたことがない人の回答が多く、仕事に対して前向きな意識が強いと考えられる。

- ・離職しようと思ったことはない。

④ スタッフ不足や責任感による継続 (1 件)

スタッフ不足や責任感により仕事を続けているケースが多く、外的要因が離職の決断に影響していることが分かる。

- ・施設管理者より、居なくなると事業所が回らなくなるからと引きとめられた。
- ・上司からスタッフ不足だから、もう少し頑張ってくださいませんか。
- ・人手不足なので、離職したくてもできない。

自由記述の定性的分析をまとめると、圧倒的多数の介護福祉士が仕事の喜びややりがいを理由に離職を思いとどまっていることが明らかになった。また、家族や利用者との関わりが支えになっているケースも多く、信頼関係が重要な要素であることが分かる。一方で、スタッフ不足や責任感からやむを得ず仕事を続けている人もおり、離職を防ぐためには職場環境の改善が必要といえる。離職を考えたことがない人も一定数存在し、仕事への適性や職場のサポート体制の影響があると考えられる。今後は、職場の負担軽減と働きがいを向上させる施策が求められる。

(6) 転職の経験

調査票を、転職経験がある介護福祉士を優先して配布したため、転職経験が0回の者は約2割、1回が1/4、2回が2割弱、3回が約17%という回答分布であった。

(7) 現在の法人への入職経路

現在の法人への入職経路（主なものを選択）は2,096名から回答があり、ハローワークが約4割、前職等の職場の職員や友人の紹介が15.6%、求人・求職のWEBサイトが4.3%であった。

(8) 現在の法人を選んだ理由

現在の法人を選んだ理由（主なものを3つまで選択）は2,109名から回答があり、通勤条件がよかったが最も多く2割弱、勤務形態がよかったが約16%、仕事の内容自体にやりがいを感じたが約13%、提示された賃金が良かったが約8%であった。

(9) 離職後に介護福祉士として再就職したきっかけ

離職後に介護福祉士として再就職したきっかけについて、誰から・どんな・なぜ等について尋ねた。自由記述から984件の回答があり、主な記載一例を以下に示した。離職後に介護福祉士として再就職したきっかけ理由は多岐に渡った。

- ・一回離れると、また介護の仕事をしたくなった。
- ・介護が好きなので、再び介護がしたいと思いました。人と関わることで成長できるように思います。
- ・介護の資格があったため。
- ・資格（経験）を活かして働きたいと思ったから。
- ・介護福祉士として働きたかったから。
- ・施設長から電話をもらい、そろそろ戻ってこないかと声をかけられた。
- ・他職種の求人は年齢的に難しかったから
- ・他にできる仕事なかった。

過去の経験や資格の保持は介護福祉士の再就職を促す大きな要因となっていた。一度、介護の資格を取得し介護について学んでいるからこそ、やりがいを感じ、再度就職について前向きに検討できると考えられる。介護福祉士の再就職を促すためには、資格を活かした働きやすい環境づくりが重要であることが示唆された。

(10) 離職した介護福祉士に対する再就職支援についての希望

自由記述の回答について、8つの枠組みを設定し、近い自由記述の回答人数を定量的に集計した。

お試し就職(3日程度～3か月)制度 340件、処遇面(給与・手当、福利厚生等)の改善・充実 202件、事前の体験や見学ができる仕組み 154件、人間関係や職場内のコミュニケーションの良さ 88件、教育制度や職員育成の仕組み 74件、有給休暇など休暇が取りやすい環境整備 44件、子育て中でも柔軟に働ける勤務体制等の整備 34件、人員の配置や責任の明確化など人員体制整備 22件等であった。

離職して再就職する場合に必要な仕組みや制度では、職場の見学や体験、また、お試し就職など、実際に職場の雰囲気や業務内容を知れる機会の回答が多く、次いで、給与や福利厚生などの処遇面の充実が2割弱、人間関係や職場内のコミュニケーションの良さの回答が多かった。その他では、就職支援金などの制度を求める声が見られた。

次に、244件の自由記述の回答内容をより詳細に定性的に分析した結果、以下のようなカテゴリが抽出された。

① お試し就職期間の設定（87件）

回答の中で最も多いカテゴリで、就職を決める前に施設の中を実際に自分の目で見て体験して決めたいという内容である。

- ・お試しで働けたら（給料あり）色々知れると思う。
- ・報酬はなくても10日間くらいはお試し就職が出来たらいいと思う。大体の事が分かってくるので。

② 給与面の維持・改善（40件）

給与充実（せめて給与が前職よりも下がらない）を求める内容である。

- ・今までの経験を踏まえての給料（現在の職場は新卒とほぼ同じだった。）
- ・再就職したら報酬がもらえる。

③ 人間関係の良さがわかる仕組み（23件）

職場の人間関係の良さを重視し、再就職する際には事前にそれを知りたいという内容である。

- ・体験ではわからない、人間関係を詳しく教えてもらえる場があると良い。
- ・職場の人間関係において、パワハラ、モラハラ等あるなしを正直に教えてほしい。

④ 制度に関する内容（21件）

新たに創設してほしいと考える制度に関する内容であり、現存する制度も含む。

- ・職員の思いを聞く第3者。
- ・人材評価をしてほしい（今の職場にはないので向上心がわからない）
- ・心のケアも大切だと思う。健康サポート制度や復職支援制度の充実。
- ・OJT制度があれば、他は大丈夫です。

⑤ 福利厚生の充実（19件）

休暇の取得しやすさを中心とする福利厚生の実充に着眼した内容である。

- ・福利厚生制度がしっかりしている。必要な休暇をきちんととらせてくれる。
- ・時間外労働があっても、きちんと報酬が出る。

⑥ 業務内容の改善（１７件）

働きやすさを求め、マニュアルづくり等を求める内容である。

- ・利用者さんの１人１人に対しての接し方、特性等を伝えてほしい。
- ・業務マニュアルの整備をしてほしい。

⑦ 子育て、高齢者就労に関する支援（１３件）

子育て期間の支援や高齢者の再就職の際などの多様な問題に柔軟な対応を求める内容である。

- ・子育てに向いている職場の斡旋、制度。
- ・ひとり親支援、家賃補助。
- ・色々な年代で必要とされる職場の案内（高齢スタッフでもこんな仕事できます等）

⑧ 研修制度の実充（９件）

再就職前のブランクを埋める研修をはじめ、就職先の研修制度の実充を求める内容である。

- ・きちんとした教育環境。
- ・入職して、１、２年の人とベテランの人と一緒に（一週間程度）働いて、話を聞く事が出来たら良いなと思います。

⑨ その他（１５件）

上記８項目以外で、雇用制度や人手不足といった問題解決を望む内容である。

- ・人数が揃っていないと難しいと思う。
- ・再就職する際の制度より、今現在勤めている人の制度や報酬を見直してほしい。
- ・人間が尊重されていること。（職員、利用者問わず）
- ・フルタイム勤務で勤める方は皆正社員として就職。
- ・現介護保険制度の枠内では、できることに限りあり。事業所レベルの案では、やはり限界がある。

この定性的分析結果をまとめると、再就職する際には事前に就職先の実態をできる限り知りたいという内容が１／３程度あったことから、施設側は就労条件を明確に示し、お試し就職制度などを設けて、日ごろの姿を開示することが求められていることが分かった。給与面の保障や人間関係の良さが再就職先を決定する際の着眼点になっているが、いずれも求人票だけでは知りえることが困難な現状を改善する必要があることが示された。一方で、長引く人材不足の状況から、介護保険制度全体を見直してほしいという意見や、何を変えても改善しないというような希望を見出せない意見も示されたことから、何らかの早期の対応が必要と考える。

7) 外国人介護福祉士との協働

近年、外国人介護福祉人材が増えており、今後も増加が見込まれる。よりよい協働の在り方について検討する基礎資料として、外国人介護職員が勤務している実態等について把握したうえで、外国人介護職員とともに働いた経験と外国人介護職員に対するイメージや協働する自信の関連について解析した。

(1) 外国人介護職員とともに働いている実態

あなたの勤務先では外国人介護職員が勤務していますかと問い、「はい」との回答が 485 件(22.4%)であった。

外国人介護職員の勤務期間を尋ねたところ、2 年以上 3 年未満が最も多く 89 件(18.4%)、次いで 1 年以上 2 年未満が 76 件(15.7%)、1 年未満が 71 件(14.6%)であった。

勤務先で外国人介護職員関連の研修があるか／参加しているかを尋ねたところ、「ない」199 件(41.0%)、「あるので参加している」55 件(11.3%)、「あるけど参加していない」42 件(8.7%)、「分からない」157 件(32.4%)、無回答 32 件(6.6%)と回答された。

外国人介護職員関連の研修に参加したことがある者に、参加した研修内容を尋ねたところ、外国人介護職員の受け入れ制度 44 件(57.9%)、外国人介護職員の出身地の文化・生活習慣 16 件(21.1%)、外国人介護職員の宗教上の配慮点 10 件(13.2%)等であった。

外国人介護職員関連の研修に参加したことがある者に、外国人介護職員と一緒に仕事をする上で、必要な研修内容について自由記述で尋ねたところ、日本文化・風習・日本人の特性の理解、接遇、多国籍の交流会、コミュニケーション、日常会話で必要な言葉、基本的な報告・連絡・相談ができるようにすること、日本語をわかりやすく伝える(カタカナ・漢字)、タブーについて自分の行動に責任感を持つということ、介護福祉の実務(身体介助)、日本食を食す機会を作ってあげたら良いと思う等の意見が挙げられた。

外国人介護職員に対するイメージ 10 項目について 4 件法で尋ねた。イメージが良いほど得点が高くなるように集計した。その結果、迷信深い・科学的な 2.53 ± 0.65 、保守的な・進歩的な 2.76 ± 0.66 、乱暴な・丁寧な 2.90 ± 0.70 、不潔な・清潔な 2.81 ± 0.66 、親しみにくい・親しみやすい 2.85 ± 0.74 、冷たい・温かい 2.97 ± 0.65 、社会的地位の低い・高い 2.61 ± 0.62 、信頼できない・できる 2.71 ± 0.68 、こわい・やさしい 2.92 ± 0.7 、知的でない・知的な 2.90 ± 0.64 であった。

現在の勤務先に外国人介護職員と一緒に働いている経験と、外国人介護職員に対するイメージの関連を Mann-Whitney U 検定により検討した。以下、一緒に働いている介護福祉士(約 450 名)の平均得点と一緒に働いていない介護福祉士(約 1450 名)の平均得点の順に併記する。科学的な $2.82/2.75$ 、進歩的な $3.16/2.81$ (not significant)、丁寧な $3.09/2.72$ 、清潔な $3.21/2.73$ 、親しみやすい $3.21/2.73$ 、温かい $3.26/2.89$ 、社会的地位の高い $2.73/2.56$ 、信頼できる $2.98/2.63$ 、やさしい $3.29/2.80$ 、知的な $3.08/2.84$ であった。9 項目において、一緒に働いた経験をもつ介護福祉士のほうが、外国人介護職員に有意にポジティブなイメージを持っていることが示唆された ($p < 0.01$)。

協働する自信の程度について、「今のあなたが様々な国の人と一緒に仕事をするとしたら、どのように対処すると思いますか」と教示し、「文化、価値観、考えの違いを当然だと受け止められる」等の 14 項目について 5 件法で尋ねた。まったくできない 1 点、あまりできない 2 点、どちらともいえない 3 点、

まあまあできる 4 点, かなりできる 5 点とし, 協働する自信の程度が高いほど得点が高くなるよう集計した。

文化・価値観・考えの違いを当然だと受け止められる 3.66 ± 0.75 , 異なる文化のもとでは相手の文化の価値観を尊重し合わせられる 3.58 ± 0.73 , 意見の違いがある時に賛成・反対の判断を保留することができる 3.54 ± 0.70 , 年齢や職位の上下関係にはあまりとらわれない 3.65 ± 0.77 , 多様な価値観があっても行動基準の判断に「公正」を第一に置く 3.64 ± 0.71 , 共同体として世界や地球という視点で物事が考えられる 3.38 ± 0.77 , 人間関係が上手くいかない時に感情的にならず冷静に対応できる 3.46 ± 0.78 , 反対の意見でも相手の意見を最後まで聞ける 3.73 ± 0.71 , 誤解が生じ失敗しても冗談を言ったり笑ったりできる 3.54 ± 0.80 , 自国のなじみ深い伝統や文化を尊重する 3.71 ± 0.73 , 考え方の違う人々の間でもリーダーシップをとり企画を進める 3.22 ± 0.78 , 意見の違いがある時に自分と相手の妥協点を探ることができる 3.49 ± 0.69 , いろいろな言語や文化を学ぶことを重視する 3.57 ± 0.77 , 共通の目標に向かって協力して問題解決できる 3.68 ± 0.70 であった。

現在の勤務先に外国人介護職員と一緒に働いている経験と, 協働する自信の程度の関連を Mann-Whitney U 検定により検討した。以下, 一緒に働いている介護福祉士(約 450 名)の平均得点と一緒に働いていない介護福祉士(約 1450 名)の平均得点の順に併記する。文化・価値観・考えの違いを当然だと受け止められる $3.94/3.58$, 異なる文化のもとでは相手の文化の価値観を尊重し合わせられる $3.82/3.51$, 意見の違いがある時に賛成・反対の判断を保留することができる $3.72/3.49$, 年齢や職位の上下関係にはあまりとらわれない $3.80/3.61$, 多様な価値観があっても行動基準の判断に「公正」を第一に置く $3.82/3.60$, 共同体として世界や地球という視点で物事が考えられる $3.50/3.35$, 人間関係が上手くいかない時に感情的にならず冷静に対応できる $3.64/3.41$, 反対の意見でも相手の意見を最後まで聞ける $3.89/3.69$, 誤解が生じ失敗しても冗談を言ったり笑ったりできる $3.76/3.48$, 自国のなじみ深い伝統や文化を尊重する $3.89/3.67$, 考え方の違う人々の間でもリーダーシップをとり企画を進める $3.35/3.19$, 意見の違いがある時に自分と相手の妥協点を探ることができる $3.60/3.47$, いろいろな言語や文化を学ぶことを重視する $3.58/3.57$ (not significant), 共通の目標に向かって協力して問題解決できる $3.81/3.65$ であった。13 項目において, 一緒に働いた経験をもつ介護福祉士のほうが, 外国人介護職員と協働する自信の程度が有意に高いことが示唆された($p < 0.01$)。

介護福祉士の就労に関する意識調査 集計結果 【介護福祉士】

介護福祉士

調査票送付事業所数	1,733
調査対象者	5,199
回答者数	2,161
回収率	41.6%

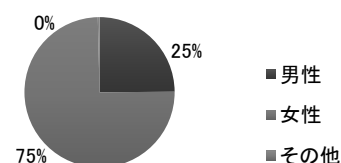
I. 回答者の基本属性

【問1-1】性別

n=2161

	回答数	構成比
1 男性	538	24.9%
2 女性	1,615	74.7%
3 その他	8	0.4%
合計	2,161	100.0%

【問1-1】性別



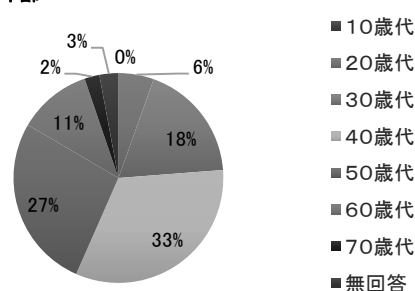
性別では、男性が538名(24.9%)、女性は1,615名(74.7%)となっている。

【問1-2】年齢

n=2,161

	回答数	構成比
1 10歳代	0	0.0%
2 20歳代	118	5.5%
3 30歳代	396	18.3%
4 40歳代	709	32.8%
5 50歳代	580	26.8%
6 60歳代	245	11.3%
7 70歳代	50	2.3%
8 無回答	63	2.9%
合計	2,161	100.0%

【問1-2】年齢



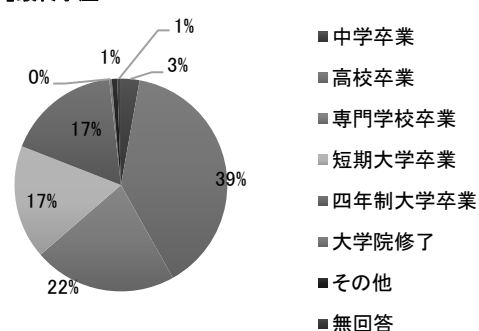
年齢では、40歳代が709名(32.8%)と最も多く、次いで50歳代が580名(26.8%)、3番目が30歳代396名(18.3%)の順となっている。また、回答者の平均年齢は47.32歳(標準偏差0.06歳)であった。

【問2】最終学歴(中途退学の場合は、その前の学歴)

n=2,161

	回答数	構成比
1 中学卒業	61	2.8%
2 高校卒業	844	39.1%
3 専門学校卒業	470	21.7%
4 短期大学卒業	374	17.3%
5 四年制大学卒業	374	17.3%
6 大学院修了	8	0.4%
7 その他	18	0.8%
8 無回答	12	0.6%
合計	2,161	100.0%

【問2】最終学歴



<その他>

専攻科	3件
宗門学校	
修士課程修了	
六年制大学卒業	
和裁職業訓練校卒業	
職業訓練校	
NHK	

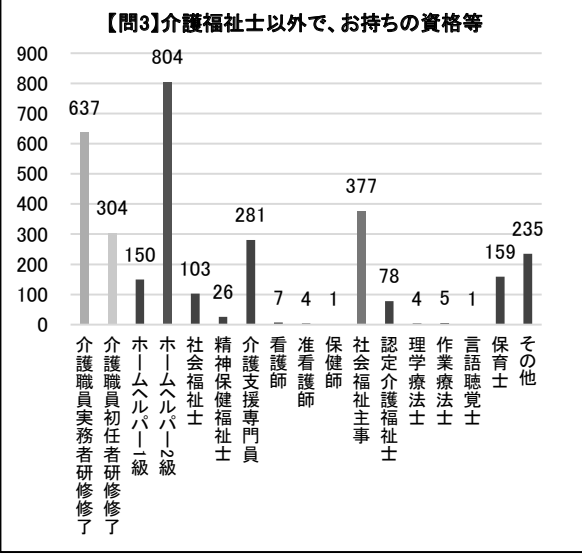
通信大学修了	
通信制看護学校	
高専卒業	
短期大学卒業後、介護専攻へ進み卒業	
短期大学卒業後、専門学校	
四年生大学卒業後、専門学校	
大学中退	

最終学歴では、「高校卒業」が844名(39.1%)と最も多く、次いで「専門学校卒業」が470名(21.7%)、3番目は「短期大学卒業」「四年制大学卒業」が同値で374名(17.3%)となっている。

【問3】介護福祉士以外で、あなたが現在お持ちの資格等をお答えください。（複数回答可）

n=1,787(2,161件のうち、無回答374件を除く)

		回答数	構成比
1	介護職員実務者研修修了	637	20.1%
2	介護職員初任者研修修了	304	9.6%
3	ホームヘルパー1級	150	4.7%
4	ホームヘルパー2級	804	25.3%
5	社会福祉士	103	3.2%
6	精神保健福祉士	26	0.8%
7	介護支援専門員	281	8.8%
8	看護師	7	0.2%
9	准看護師	4	0.1%
10	保健師	1	0.0%
11	社会福祉主事	377	11.9%
12	認定介護福祉士	78	2.5%
13	理学療法士	4	0.1%
14	作業療法士	5	0.2%
15	言語聴覚士	1	0.0%
16	保育士	159	5.0%
17	その他	235	7.4%
	合計	3,176	100.0%



＜その他、主な回答＞

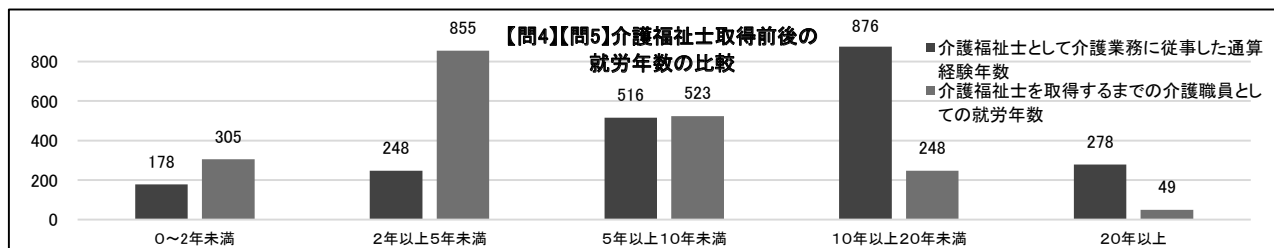
養護教諭、幼稚園教諭、小中高教員免許	35	美容師	5	認知症ケア専門士	3
栄養士、管理栄養士	20	ガイドヘルパー	5	認定特定行為業務従事者	3
調理師	16	介護職員基礎研修	5	音楽療法士	2
福祉住環境コーディネーター	16	サービス管理責任者	5	アクティビティワーカー	2
認知症介護実践者研修	12	相談支援専門員	4	福祉用具専門相談員	2
喀痰吸引等研修修了	9	レクリエーション	3	強度行動障害	2
医療事務	7	介護事務	3	福祉レクリエーションワーカー	2
歯科衛生士	7	認知症リーダー研修	3		
歯科助手	5	健康運動実践	3		

現在、持っている資格等では、「ホームヘルパー2級」が804名（25.3%）と最も多く、次いで「介護職員実務者研修修了」637名（20.1%）、3番目が「介護職員初任者研修修了」304名（9.6%）となっている。4番目以下では、「介護支援専門員」281名（8.8%）、「ホームヘルパー1級」が150名（4.7%）、「社会福祉士」103名（3.2%）の順で続いている。

【問4】介護福祉士として介護業務に従事した通算経過年数（他の職場での経過年数・兼務も含む）

【問5】介護福祉士を取得するまでの介護職員としての就労年数を教えてください。（他の職場での就労年数も含む）

問4 n=2,161				問5 n=2,161			
	問4			問4		問5	
	回答数	構成比		回答数	構成比	回答数	構成比
1	0～1年未満	88	4.1%	178	8.2%	285	13.2%
2	1年以上2年未満	90	4.2%			20	0.9%
3	2年以上3年未満	79	3.7%	248	11.5%	34	1.6%
4	3年以上4年未満	89	4.1%			545	25.2%
5	4年以上5年未満	80	3.7%	516	23.9%	276	12.8%
6	5年以上6年未満	100	4.6%			229	10.6%
7	6年以上7年未満	114	5.3%	516	23.9%	123	5.7%
8	7年以上8年未満	97	4.5%			74	3.4%
9	8年以上9年未満	112	5.2%	876	40.5%	51	2.4%
10	9年以上10年未満	93	4.3%			46	2.1%
11	10年以上11年未満	177	8.2%			79	3.7%
12	11年以上12年未満	89	4.1%			30	1.4%
13	12年以上13年未満	95	4.4%			31	1.4%
14	13年以上14年未満	79	3.7%			27	1.2%
15	14年以上15年未満	92	4.3%			22	1.0%
16	15年以上16年未満	116	5.4%			16	0.7%
17	16年以上17年未満	64	3.0%			14	0.6%
18	17年以上18年未満	60	2.8%			11	0.5%
19	18年以上19年未満	76	3.5%			11	0.5%
20	19年以上20年未満	28	1.3%			7	0.3%
21	20年以上30年未満	253	11.7%	278	12.9%	45	2.1%
22	30年以上40年未満	24	1.1%			4	0.2%
23	40年以上	1	0.0%			0	0.0%
24	無回答	65	3.0%	65	3.0%	181	8.4%
	合計	2,161	100.0%	2,161	100.0%	2,161	100.0%



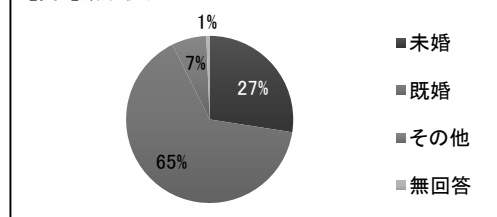
問4介護福祉士として従事した通算経験年数では、「10年以上11年未満」が177名(8.2%)と最も多く、次いで「15年以上16年未満」116名(5.4%)、3番目が「6年以上7年未満」114名(5.3%)となっている。4番目以下では、「8年以上9年未満」が112名(5.2%)、「5年以上6年未満」が100名(4.6%)、「7年以上8年未満」97名(4.5%)の順で続いている。

また、問5介護福祉士を取得するまでの介護職員としての就労年数では、「3年以上4年未満」が545名(25.2%)と最も多く、次いで「0～1年未満」が285名(13.2%)、3番目が「4年以上5年未満」276名(12.8%)となっている。4番目以下では、「5年以上6年未満」229名(10.6%)、「6年以上7年未満」123名(5.7%)、「10年以上11年未満」79名(3.7%)の順で続いている。

【問6】婚姻状況

n=2,161			
		回答数	構成比
1	未婚	593	27.4%
2	既婚	1,409	65.2%
3	その他	145	6.7%
4	無回答	14	0.6%
合計		2,161	100.0%

【問6】婚姻状況



<その他>

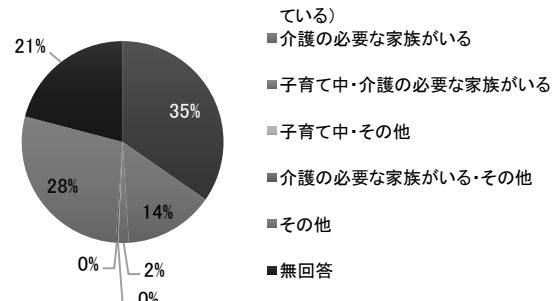
離婚	69件	再婚	1件
死別	10件	別離	1件
離別	15件		

婚姻状況では、未婚が593名(27.4%)、既婚が1,409名(65.2%)となっている。

【問7-1】子育て・介護状況

n=2,161			
		回答数	構成比
1	子育て中(18歳未満の子どもを育てている)	749	34.7%
2	介護の必要な家族がいる	310	14.3%
3	子育て中・介護の必要な家族がいる	36	1.7%
4	子育て中・その他	2	0.1%
5	介護の必要な家族がいる・その他	7	0.3%
6	その他	605	28.0%
7	無回答	452	20.9%
合計		2,161	100.0%

【問7-1】子育て・介護状況



子育て・介護状況では、「子育て中(18歳未満の子)」が749名(34.7%)と最も多く、次いで「その他」605名(28.0%)、3番目が「介護の必要な家族がいる」310名(14.3%)となっている。

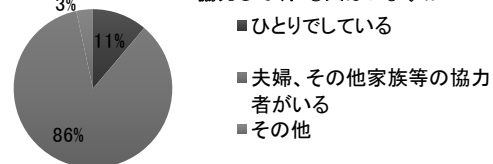
【問7-2】(問7-1で「1. 子育て中」「2. 介護の必要な家族がいる」と回答した方)

子育て・介護をする上で、協力してくれる人はいますか。

n=1,091(1,104件のうち、無回答13件を除く)

	回答数	構成比
1	ひとりです	122
2	夫婦、その他家族等の協力者がいる	932
3	その他	37
合計		1,091

【問7-2】子育て・介護をする上で、協力してくれる人はいますか



<その他>

兄弟・姉妹・親・子ども・祖父母・親戚	16件	友人	1件
施設・グループホーム・老健等	10件	ヘルパー	1件
病院入院	1件		

問7-1で「子育て中」「介護の必要な家族がいる」の回答者の子育て・介護の協力者の状況では、「夫婦、他家族等の協力者がいる」が932名(85.4%)と最も多く、次いで「ひとりです」122名(11.2%)となっている。

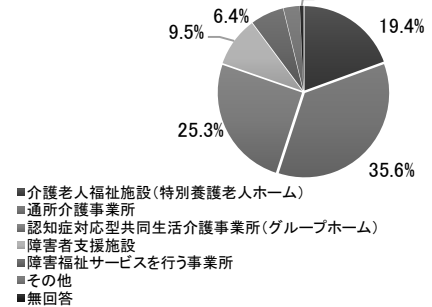
Ⅱ. 就労状況

【問8】あなたが現在働いている事業所種別はどれですか。
複数職場がある場合は、主な職場を1つ

n=2,161

		回答数	構成比
1	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	420	19.4%
2	通所介護事業所	769	35.6%
3	認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)	547	25.3%
4	障害者支援施設	205	9.5%
5	障害福祉サービスを行う事業所	138	6.4%
6	その他	67	3.1%
7	無回答	15	0.7%
	合計	2,161	100.0%

【問8】あなたが現在働いている
事業所種別はどれですか



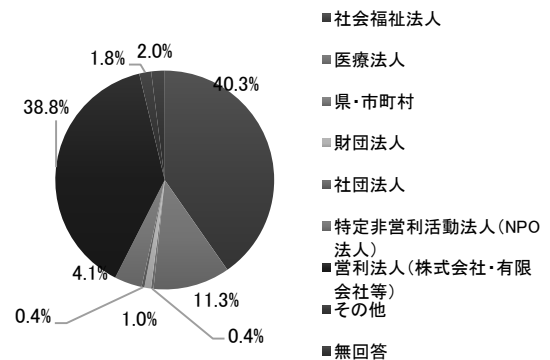
現在、働いている事業所種別では、「通所介護事業所」が769名(35.6%)と最も多く、次いで「認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)」が547名(25.3%)、3番目が「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」420名(19.4%)となっている。4番目以下では、「障害者支援施設」205名(9.5%)、「障害福祉サービスを行う事業所」138名(6.4%)の順で続いている。

【問9】あなたの職場の経営主体はどれですか。

n=2,161

		回答数	構成比
1	社会福祉法人	871	40.3%
2	医療法人	245	11.3%
3	県・市町村	8	0.4%
4	財団法人	21	1.0%
5	社団法人	9	0.4%
6	特定非営利活動法人(NPO法人)	88	4.1%
7	営利法人(株式会社・有限会社等)	838	38.8%
8	その他	38	1.8%
9	無回答	43	2.0%
	合計	2,161	100.0%

【問9】あなたの職場の経営主体はどれですか



<その他>

生活協同組合	8件	合資会社	3件	合同会社	1件
社会医療法人	3件	公益財団法人	2件	工務店	1件

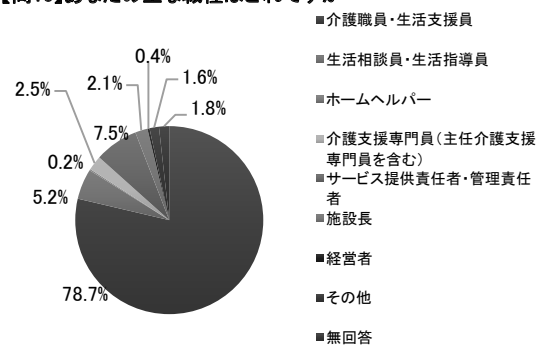
働いている事業所の経営主体では、「社会福祉法人」が871名(40.3%)と最も多く、次いで「営利法人(株式会社・有限会社等)」が838名(38.8%)、3番目が「医療法人」245名(11.3%)となっている。

【問10】あなたの主な職種はどれですか。

n=2,161

		回答数	構成比
1	介護職員・生活支援員	1,700	78.7%
2	生活相談員・生活指導員	113	5.2%
3	ホームヘルパー	5	0.2%
4	介護支援専門員(主任介護支援専門員を含む)	54	2.5%
5	サービス提供責任者・管理責任者	162	7.5%
6	施設長	46	2.1%
7	経営者	8	0.4%
8	その他	35	1.6%
9	無回答	38	1.8%
	合計	2,161	100.0%

【問10】あなたの主な職種はどれですか



<その他、主な回答>

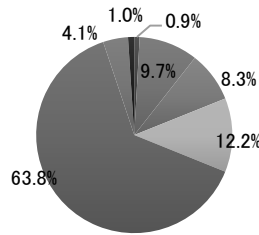
職業指導員	4件	管理者・生活相談員・介ゴ職員	1件	児童員	1件
相談支援専門員	4件	作業指導員	1件	児童指導員	1件
介護職、計画作成担当者	2件	作業療法士	1件	看護師	1件
介護職員・生活相談員	3件	理学療法士	1件	事務	1件
管理者	3件	施設整備	1件	調理	1件

回答者の主な職種別では、「介護職員・生活支援員」が1,700名(78.7%)と最も多く、次いで「サービス提供責任者・管理責任者」162名(7.5%)、3番目が「生活相談員・生活指導員」113名(5.2%)となっている。4番目以下では、「介護支援専門員」54名(2.5%)、「施設長」46名(2.1%)の順で続いている。

【問11】あなたは職場において、どのような立場で仕事をしていますか。

n=2,161			
		回答数	構成比
1	経営者(施設や事業所などを経営する者)	19	0.9%
2	施設や事業所などの組織を束ねる管理者	210	9.7%
3	係長・主任等のチームリーダー	180	8.3%
4	介護職のチームリーダー	263	12.2%
5	介護職員	1,378	63.8%
6	その他	89	4.1%
7	無回答	22	1.0%
合計		2,161	100.0%

【問11】あなたは職場において、どのような立場で仕事をしていますか



- 経営者(施設や事業所などを経営する者)
- 施設や事業所などの組織を束ねる管理者
- 係長・主任等のチームリーダー
- 介護職のチームリーダー
- 介護職員
- その他
- 無回答

<その他、主な回答>

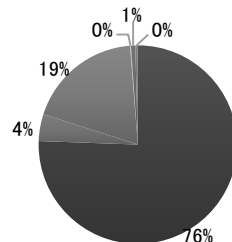
生活支援員	16件	ケアマネと介護職兼務	2件	介護副主任	1件
職業指導員	4件	生活相談員兼介護職	2件	課長	1件
支援員	4件	計画作成担当者	2件	看護師	1件
介護支援専門員	3件	サブリーダー	2件	機能訓練	1件

職場において、どのような立場で仕事をしているかでは、「介護職員」が1,378名(63.8%)と最も多く、次いで「介護職のチームリーダー」が263名(12.2%)、3番目が「施設・事業所等の管理者」210名(9.7%)となっている。

【問12】あなたの雇用形態はどれですか。

n=2,161			
		回答数	構成比
1	正規職員(正規雇用)	1,633	75.6%
2	契約職員・嘱託職員(非正規の直接雇用)	95	4.4%
3	パート・アルバイト(非正規の直接雇用)	406	18.8%
4	派遣職員(非正規の間接雇用)	3	0.1%
5	その他	15	0.7%
6	無回答	9	0.4%
合計		2,161	100.0%

【問12】あなたの雇用形態はどれですか



- 正規職員(正規雇用)
- 契約職員・嘱託職員(非正規の直接雇用)
- パート・アルバイト(非正規の直接雇用)
- 派遣職員(非正規の間接雇用)
- その他
- 無回答

<その他>

役員	4件	準正規雇用	1件
会社役員	2件	非常勤	1件
役員報酬	1件	臨時職員	1件

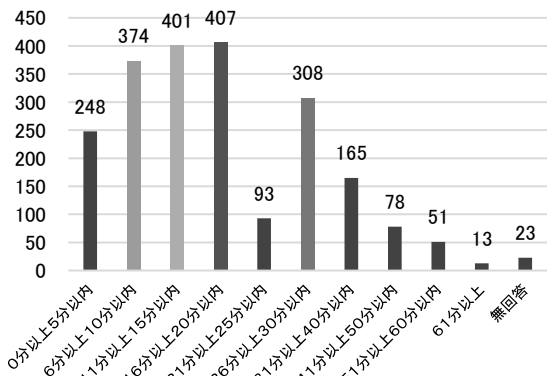
雇用形態の状況では、「正規職員(正規雇用)」が1,633名(75.6%)と最も多く、次いで「パート・アルバイト(非正規直接雇用)」406名(18.8%)、3番目が「契約職員・嘱託職員(非正規の直接雇用)」95名(4.4%)となっている。

【問13】あなたの1週間あたりの超過勤務時間は、平均して何時間程度ですか。
誤回答が散見されるため、調査項目から除外します。

【問14】あなたの通勤時間(片道)は、何分程度ですか。

n=2,161			
		回答数	構成比
0	0分以上5分以内	248	11.5%
1	6分以上10分以内	374	17.3%
2	11分以上15分以内	401	18.6%
3	16分以上20分以内	407	18.8%
4	21分以上25分以内	93	4.3%
5	26分以上30分以内	308	14.3%
6	31分以上40分以内	165	7.6%
7	41分以上50分以内	78	3.6%
8	51分以上60分以内	51	2.4%
9	61分以上	13	0.6%
10	無回答	23	1.1%
合計		2,161	100.0%

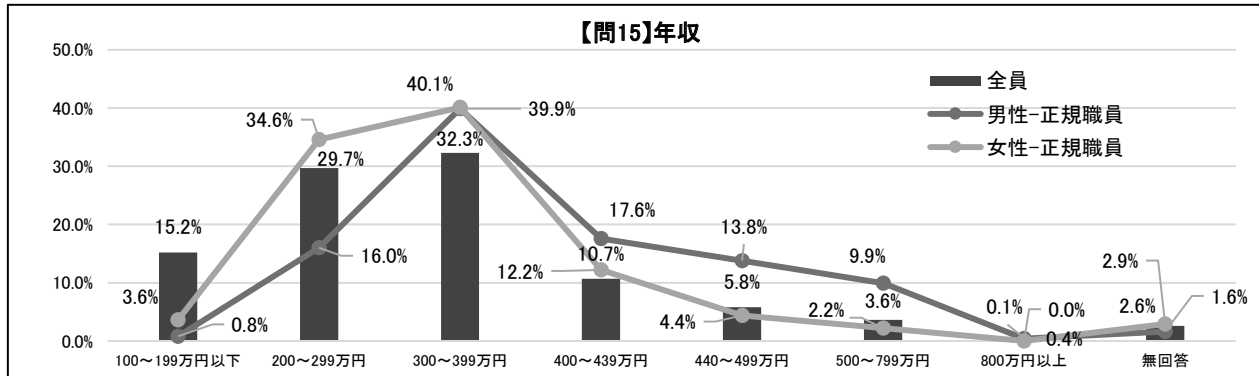
【問14】通勤時間(片道)



通勤時間(片道)では、「16分以上20分以内」が407名(18.8%)と最も多く、次いで「11分以上15分以内」401名(18.6%)、3番目が「6分以上10分以内」374名(17.3%)となっている。全体的には、「30分以内」の回答が8割以上を占めている。

【問15】あなたの年収について教えてください。

n=2,161		全員		男性-正規職員		女性-正規職員	
	年収額	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	100～199万円以下	329	15.2%	4	0.8%	40	3.6%
2	200～299万円	642	29.7%	81	16.0%	389	34.6%
3	300～399万円	697	32.3%	202	39.9%	451	40.1%
4	400～439万円	232	10.7%	89	17.6%	137	12.2%
5	440～499万円	125	5.8%	70	13.8%	49	4.4%
6	500～799万円	77	3.6%	50	9.9%	25	2.2%
7	800万円以上	3	0.1%	2	0.4%	0	0.0%
8	無回答	56	2.6%	8	1.6%	33	2.9%
合計		2,161	100.0%	506	100.0%	1,124	100.0%



年収の状況(全員)では、「300～399万円」が697名(32.3%)と最も多く、次いで「200～299万円」が642名(29.7%)、3番目が「100～199万円以下」329名(15.2%)となっている。4番目以下では、「400～439万円」232名(10.7%)、「440～499万円」125名(5.8%)、「500～799万円」77名(3.6%)の順で続いている。

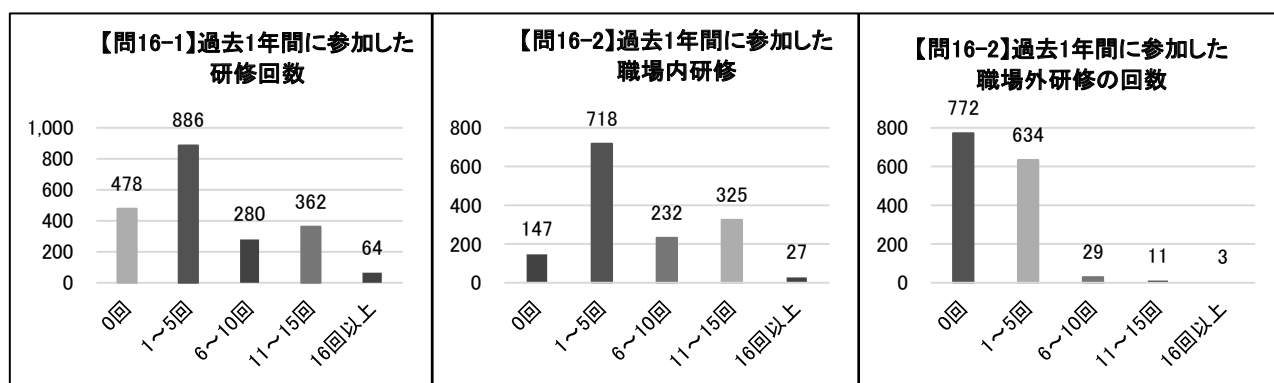
【問16-1】職務に関わる研修(職場内・職場外問わない)について、あなたが過去1年間に参加した研修回数を教えてください。

【問16-2】(過去1年間に1回以上研修に参加した方)参加した職場内研修・職場外研修の回数を教えてください。

(問16-1) n=2,161

(問16-2) n=1,592(2,161件のうち、①の0回478件と無回答91件、計569件を除く)

参加した研修回数	16-1過去1年間		16-2職場内研修		16-2職場外研修	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
0回	478	22.1%	147	9.2%	772	48.5%
1回	232	10.7%	191	12.0%	367	23.1%
2回	222	10.3%	191	12.0%	145	9.1%
3回	181	8.4%	149	9.4%	66	4.1%
4回	147	6.8%	108	6.8%	42	2.6%
5回	104	4.8%	79	5.0%	14	0.9%
6回	105	4.9%	89	5.6%	10	0.6%
7回	41	1.9%	18	1.1%	1	0.1%
8回	40	1.9%	34	2.1%	7	0.4%
9回	16	0.7%	24	1.5%	4	0.3%
10回	78	3.6%	67	4.2%	7	0.4%
11回	23	1.1%	18	1.1%	3	0.2%
12回	225	10.4%	270	17.0%	5	0.3%
13回	57	2.6%	14	0.9%	0	0.0%
14回	26	1.2%	7	0.4%	2	0.1%
15回	31	1.4%	16	1.0%	1	0.1%
16～20回	46	2.1%	21	1.3%	3	0.2%
21～25回	13	0.6%	5	0.3%	0	0.0%
26～30回	4	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
31～35回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
36～40回	1	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
無回答	91	4.2%	143	9.0%	143	9.0%
合計	2,161	100.0%	1,592	100.0%	1,592	100.0%



過去1年間に参加した研修回数では、「0回」が478名(22.1%)と最も多く、次いで「1回」が232名(10.7%)、3番目が「2回」222名(10.3%)となっている。全体として0回を除く参加回数別でみると「1~5回」が886名(41.0%)と最も多く、次いで「11~15回」が362名(16.8%)、「6~10回」が280名(13.0%)の順となっている。

過去1年間に参加した職場内の研修回数では、「12回」が270名(17.0%)と最も多く、次いで「1回」と「2回」が同値で191名(12.0%)、3番目が「3回」149名(9.4%)、次いで「0回」147名(9.2%)の順となっている。全体として0回を除く職場内の研修回数別でみると、「1~5回」が718名(45.1%)と最も多く、次いで「11~15回」が325名(20.4%)、「6~10回」が232名(14.6%)の順となっている。

また、1年間の職場外での研修回数では、「0回」が772名(48.5%)と最も多く、次いで「1回」367名(23.1%)、3番目が「2回」145名(9.1%)となっている。また、全体として0回を除く職場外の研修回数別でみると「1~5回」が634名(39.8%)と最も多く、次いで「6~10回」が29名(1.8%)、「11~15回」が11名(0.7%)の順となっている。

【問16-3】(過去1年間に1回以上研修に参加した方)参加した研修の費用負担について教えてください。

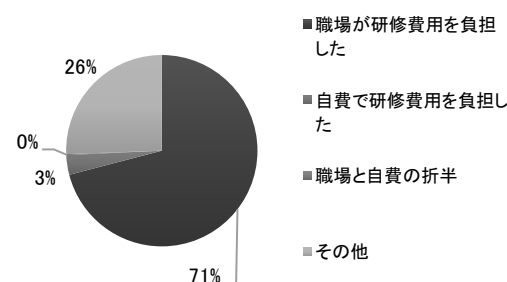
n=825(1,592件のうち、無回答767件を除く)

	費用負担方法	研修回数	構成比
1	職場が研修費用を負担した	3,223	70.9%
2	自費で研修費用を負担した	151	3.3%
3	職場と自費の折半	7	0.2%
4	その他	1,162	25.6%
	合計	4,543	100.0%

<その他>

無料	114件
職場内研修のため無料	41件
オンライン・YouTube研修	8件
不明	4件

【問16-3】参加した研修の費用負担



回答者(費用負担方法1～4選択者)n=825		職場負担		自費負担		職場と自費の折半		その他	
	参加した研修回数	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
	1回	145	22.1%	25	47.2%	3	60.0%	30	17.2%
	2回	121	18.5%	14	26.4%	2	40.0%	25	14.4%
	3回	86	13.1%	0	0.0%	0	0.0%	22	12.6%
	4回	71	10.8%	6	11.3%	0	0.0%	5	2.9%
	5回	33	5.0%	2	3.8%	0	0.0%	10	5.7%
	6回	38	5.8%	1	1.9%	0	0.0%	9	5.2%
	7回	9	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%
	8回	10	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
	9回	1	0.2%	1	1.9%	0	0.0%	3	1.7%
	10回	33	5.0%	1	1.9%	0	0.0%	7	4.0%
	11回	9	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%
	12回	63	9.6%	2	3.8%	0	0.0%	44	25.3%
	13回	12	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.3%
	14回	8	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%
	15回	5	0.8%	1	1.9%	0	0.0%	2	1.1%
	16回	4	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
	17回	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	18回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
	19回	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
	20回以上	4	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%
	合計	655	100.0%	53	100.0%	5	100.0%	174	100.0%

参加研修の費用負担(複数回答)では、「職場が研修費用を負担」が3,223名(70.9%)、次いで「その他」1,162名(25.6%)、3番目が「自費で研修費用を負担」151名(3.3%)の順となっている。「その他」(25.6%)の内容をみると、職場内研修のため無料との回答が多数を占めている。

【問16-4】(問16-1で、過去1年間に参加した研修回数がゼロの方)参加していない理由をお聞かせください。

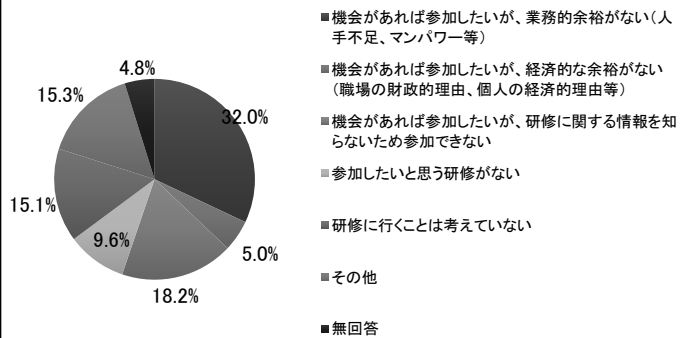
n=478

		回答数	構成比
1	機会があれば参加したいが、業務的余裕がない(人手不足、マンパワー等)	153	32.0%
2	機会があれば参加したいが、経済的な余裕がない(職場の財政的理由、個人の経済的理由等)	24	5.0%
3	機会があれば参加したいが、研修に関する情報を知らないため参加できない	87	18.2%
4	参加したいと思う研修がない	46	9.6%
5	研修に行くことは考えていない	72	15.1%
6	その他	73	15.3%
7	無回答	23	4.8%
	合計	478	100.0%

<その他>

家事・育児が忙しく、時間が取れないため	12件
復職・入職・異動して間がないため	12件
コロナ禍だったため	8件
産休・育休中だったため	5件
時間的余裕がないため	5件
時間が取れないため	5件
業務なら参加する	5件
予定が合わなかったため	3件
機会があれば参加したい	2件
職場の人手不足と職場の財政的理由	1件
業務的余裕と経済的余裕がないため	1件
研修に関する情報を知らないため	1件
行きたい研修は全て行ったため	1件
たまたま過去1年間に研修に行っていない	1件
報告書もらっている	1件
研修場所が遠い	1件

【問16-4】過去1年間に研修に参加していない理由



問16-1で研修回数0回の理由では、「機会があれば参加したいが、業務的余裕がない(人手不足等)」が153名(32.0%)と最も多く、次いで「研修に関する情報を知らないため」87名(18.2%)、3番目が「その他」73名(15.3%)、次いで「研修に行くことは考えていない」72名(15.1%)の順となっている。「その他」72名(15.1%)の内容では、時間に余裕がないため、育児で忙しいため、コロナ禍であった、入職したばかりなので等の回答が見られている。

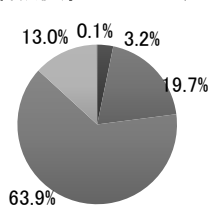
Ⅲ. 回答者の状態

【問17】あなたの状態について、最も当てはまる番号を教えてください。

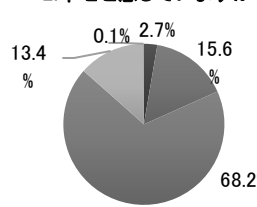
①まったくそう思わない ②あまりそう思わない ③ある程度はそう思う ④非常にそう思う

		①	②	③	④	無回答	合計
1	あなたは、普段、ご自分で健康だと思いますか	70	426	1,380	282	3	2,161
	構成比	3.2%	19.7%	63.9%	13.0%	0.1%	100.0%
2	あなたはどの程度幸せと感じていますか	58	338	1,474	289	2	2,161
	構成比	2.7%	15.6%	68.2%	13.4%	0.1%	100.0%
3	今の調子でやっていけば、これから起きることにに対応できる自信がありますか	143	694	1,174	148	2	2,161
	構成比	6.6%	32.1%	54.3%	6.8%	0.1%	100.0%
4	期待通りの生活水準や社会的地位を手に入れたと思いますか	288	789	879	202	3	2,161
	構成比	13.3%	36.5%	40.7%	9.3%	0.1%	100.0%

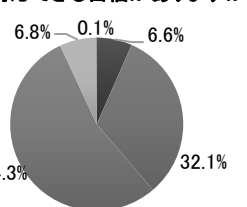
1.普段健康だと思いますか



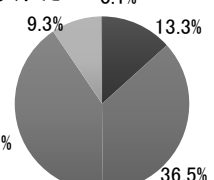
2.幸せと感じていますか



3.対応できる自信がありますか



4.生活水準や社会的地位を手に入れた



■①全くそう思わない ■②あまりそう思わない ■③ある程度はそう思う ■④非常にそう思う ■無回答

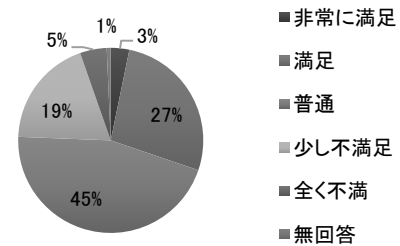
回答者の状況について、「1あなたは健康だと思いませんか」では、「ある程度そう思う」が1,380名(63.9%)と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が426名(19.7%)、3番目が「非常にそう思う」282名(13.0%)の順となっている。「2どの程度幸せと感じていますか」では、「ある程度そう思う」が1,474名(68.2%)と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が338名(15.6%)、3番目が「非常にそう思う」289名(13.4%)の順となっている。「3今の調子でやっていけば、起きることにに対応できる自信があるか」では、「ある程度そう思う」が1,174名(54.3%)と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が694名(32.1%)、3番目が「非常にそう思う」148名(6.8%)の順となっている。「4期待通りの生活水準・社会的地位を手に入れたと思いませんか」では、「ある程度はそう思う」が879名(40.7%)と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が789名(36.5%)、3番目が「非常にそう思う」202名(9.3%)の順となっている。

Ⅳ. 回答者の思い

【問18】あなたは、現在の仕事に満足していますか。

n=2,161			
		回答数	構成比
1	非常に満足	70	3.2%
2	満足	583	27.0%
3	普通	981	45.4%
4	少し不満足	411	19.0%
5	全く不満	101	4.7%
6	無回答	15	0.7%
合計		2,161	100.0%

【問18】現在の仕事に対する満足度



現在の仕事の満足度では、「普通」が981名(45.4%)と最も多く、次いで「満足」が583名(27.0%)、3番目が「少し不満足」411名(19.0%)となっている。また、「全く不満」101名(4.7%)、「非常に満足」は70名(3.2%)となっている。

【問19】やりがいに感じていることをお聞かせください。

※回答1,435件あり／回答のまとめは「介護福祉士を対象とした調査結果の概要 6」(1)参照のこと

<問19:やりがいに感じていること(自由記述):主な回答内容／部分抜粋>

▼利用者・家族からの感謝・笑顔により、人や社会の役に立っていると感じた時(一部抜粋)

・関わり方で人を幸福にできるということ
・利用者や家族の方に対して、生活面・身体面・精神面でのサポートができていると実感できた時
・利用者の方の心の支えになっていると感じた時
・利用者に寄り添いニーズを探り、その方に合ったケアを行えたとき
・利用者さんとともに作業をしてお互いに協力しあえること
・利用者様の生きがい喜びにつながる仕事をしている事に満足している
・人の力になっていると感じる時。必要とされる時
・人の人生に寄り添える仕事ができていると感じる為
・人と接することで、笑顔や感謝の言葉をもらえると嬉しさややりがいを感じる
・年齢もあり体にあまり負担がかからない仕事で、利用者様と関わって、楽しく仕事が出来ている
・楽しく仕事ができている。ご利用者様とのお話が楽しい
・障害者の方が生活し難いと感じていることを見つけた時、気づき、少しでも改善できた時
・障害者の笑顔、生産活動を共に協力して販売できること
・就労では今まで出来なかった行程を、本人のやりやすい方法を見つけてその人が出来る様になった時
・社会貢献にもつながるし、日常生活と一緒に過ごす事で楽しい時間につながっている
・自分が関わっていくことで笑顔や安心される表情が見られること
・利用者様の人生に関われる事
・ご利用者が意欲的に活動へ参加される様子が見られた時
・ご家族の介護負担の軽減。家族内の環境が、通所を利用する事で改善した等話をされる事
・利用者の気持ちを考え接することで信頼関係が築けていること
・行事を行った時など色々な人と会話をすること
・家族の方からお礼を言われたとき 等

▼業務スキルの向上や経験蓄積により自己成長を感じる時(一部抜粋)

・老人介護を通じて、自分にも為になることが多くある
・長い年月の経験が生かされていること
・他の施設・事業所の方と関わりを持つ中で、色々と知識を学ぶ事ができる事にやりがいを感じている
・自身の技術力を活用してご利用者の求めるサービスを提供できた時
・コミュニケーションを通じ、リハビリ、看護ケアなど知識のアップにつながっている事
・管理職としての経験をもつことができ、日々学びが多くある
・職員指導を行う中で意識が変わり成長して来ていること
・介護の知識やスキルが身につけているのを実感した時
・職員指導を行う中で意識が変わり成長して来ていること
・介護の知識やスキルが身につけているのを実感した時
・介護の最前線にて新しい技術や道具に触れる事が多く、非常に勉強になっている
・アセスメントを重ねていく上で、初めた時よりも視点が広がった
・新しいことに挑戦しそれを自分のものにした時
・新しい仕事にチャレンジしてうまくできたこと 等

▼職員スタッフによるチームワークを発揮・認識できた時(一部抜粋)

・職場の人間関係が良好
・スタッフが元気で過ごしている時は自身も元気になれる
・スタッフと協力して問題を解決している事
・チームとしてうまく団結できるように支援すること
・チームで話しあった支援が、うまくいった時
・部下が働きやすい職場環境を作っていくこと
・他職員とのコミュニケーションを大事にしている
・周りのスタッフに必要とされていると思える事
・役職についてから頼りにしてもらえることや、職員とのコミュニケーションがより増えた事

・ユニット内、多職種と情報収集情報共有できて、目標達成できたとき
・ユニットのチームワークが高まっているとき
・ユニットメンバーにユニットケアを伝え、共により良いケアを一緒に行っていくこと
・ユニットリーダーをしているので職員の指導
・良い仲間と囲まれて仕事が出来ていること 等

▼その他(働き方や雇用条件などの働きやすさを感じている)(一部抜粋)

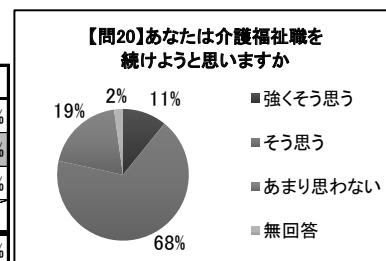
・ワークバランスが良い
・家族とのやりとり
・子どもの成長のため
・お給料をもらう時
・仕事に対しての給料面が大きい
・自分の今現在のライフスタイルに合った働き方ができているため
・自分の趣味の時間を持てる 等

▼やりがいを感じられない 等(一部抜粋)

・今はなし。生活のために働いている
・忙し過ぎて特にならない
・現在の仕事では特にならない
・現在の職場にはあまり感じていない
・体調不良もあり毎日が一杯々々で、やりがいを感じている余裕がない
・毎日同じ仕事に追われ、やりがいを感じて仕事することが減った
・やりがいなくなってきた。少し前まではたくさんあった
・日々の業務で精一杯
・世間が描く理想と現場でできる限りのギャップが大きすぎて「やりがい」にたどりついてない感覚 等

【問20】あなたは介護福祉職を続けようと思いますか。

		n=2,161			
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	強くそう思う	234	10.8%	234	11.1%
2	そう思う	1,460	67.6%	1,460	69.1%
3	あまり思わない	420	19.4%	420	19.9%
4	無回答	47	2.2%		
	合計	2,161	100.0%	2,114	100.0%



介護福祉職を続けようと思うかでは、「そう思う」が1,460名(67.6%)と最も多く、次いで「あまり思わない」が420名(19.4%)、「強くそう思う」234名(10.8%)の順となっている。

【問21】これまでの介護福祉の仕事振り返り、心に残る経験や出来事(感動した、嬉しかった、つらかったなど)とその理由を教えてください。

※1,536件の回答あり

<主な回答>

1. 感動した出来事

看取りの利用者様の家に帰りたいとの思いを叶えてあげる事が出来た時の嬉しそうな顔に感動した。ありがとうと笑顔で言ってくださると嬉しく、やりがいを感じた。

車イス生活だったおじいさんをチームの力で立位が可能な状態にできたとき、みんなで同じ目標をもって介護する事でこれだけのことができる！と感動した。

初めて利用者の最期を看取る経験は非常に感慨深いものです。生と死に直接向き合う事で、自分の仕事の重要性を強く感じる事が出来ます。利用者が安心して最後を迎えられるように支えることは介護職として大きな使命であり、これを果たすことで大きな達成感と共に深い感動を覚えます。

利用者を迎えに行った時、「わー、あなたが迎えにきてくれて、嬉しい。今日はなんて幸せな日でしょう」と女性利用者様が言ってくれた時、とても有難く感動し、私が幸せをいただきました。

2. 嬉しかった出来事

介護職は日々仕事をこなす事だけで1日が大変でしたがその中で「ありがとう」と笑顔で言ってもらった時は、うれしかったです。なかなかゆっくりと話をしあげられない現状の中でも会話の中で笑顔がうかがえた時など、この仕事をしてきて良かったと感じました。

過去にお世話になった施設に気管切開をされている方がいて、難しい対応が必要だったが、チーム全体で協力し、その方はほんの少し声が出せるようになった。ひそかに練習をしてくれていたようで、「いつもありがとう」と言ってくれた時は涙がでるくらいうれしかったことを覚えています。

ご家族様から、良くして頂いて、ご利用者様もご家族様も心休まる時間を過ごす事が出来て、最後まで安心して過ごす事ができましたと言われ、とてもうれしかったです。

退院され、再びデイサービスに来られたお客様が「あなたに会えると思ってリハビリをがんばっていたの」と涙ながらにお話してくださったことはとても嬉しかった。

3. つらかった出来事

給与が低い。介護をしている事がなぜ社会的地位が低く見られるのか。尿や便の世話、入浴業務、認知症の方々と理解が難しくなっておられる方々の対応、とても大変な仕事(生命にもかかわる)をしているにもかかわらず評価が低い事はとても辛いです。

肉体的にも精神的にも余裕がなくて、それでも業務に穴をあけない様にと、はりつめて仕事をしていた時、利用者さんの対応でいつもならその変化に気づけたかもしれない事を見落とし、家族の方からも強いクレームが来て、自分の今までやってきたことが何だったのか？と打ちのめされたこと。

利用者様からの暴言、暴力、セクハラがつらい。何もしてなくても手を出され、個別ケアや尊厳を守る、その人らしく生活できるよう支援しても心無い言葉や暴力、上司に相談しても特に何かしてくれるわけでもなくひたすら耐えるしかない。

利用者が亡くなったとき辛かった。

4. その他様々な出来事

ある朝、職場に来たら私のクロックスがこだわりのあるご利用者に食いちぎられていて靴の底しかなかった。あまりの光景とご利用者のパワーに大笑いし、思わず記念に写メを撮った。

いろんな感情は、その時々で思いますが、良いことも悪いこともなるべく忘れるようにしています。思い入れを入れすぎると自分の心がもちません。

理不尽な扱いを受ける事は本当によくあり辛い思いもしました。
チームとして、他職種の方と乗り越えて対応できた時は報われた気持ちになります。

【問22】離職を思いとどまることができたエピソード(誰から・どんな・なぜ等)をお聞かせください。

※957件の回答あり

<主な回答>

亡くなられた利用者A様から「あなたに世話になって良かったワ」と言われた時持っていた辞表を破った。

利用者様が「私が旅立つその日までここでいて欲しい」と言われたこと。(身寄りがいない人)

利用者さんや家族に「慕われている」と感じた時。

精神障害の利用者さんが手紙をくれて、この作業所で私に会えたことが嬉しいです。病気はいやだけどこの病気になったから会えたと思ったら病気になってよかったと思えるようになりましたと書いてあったこと。

先輩、同僚職員が食事にさそってくれ、話を聞いてくれたり、励ましの言葉をくれた。職員同士の人間関係がよかったこと

上司に相談した所、次の(春の)人事異動で部署替えを提案された事

自分だけではなく他のスタッフも同じように頑張っていたから。

家族を養うため

家族が仕事を理解してくれて協力してくれた。

仕事を始めたばかりの頃、祖父母が会う度に「元気だった？」や「仕事は楽しい？」と声掛けてくれることこのことが大きかったです。笑顔で話を聴いてくれるのが嬉しくてこの職で色々経験して報告できるようにしようと思いました

せっかく資格をもっているのだからもったいないと知人や家族に言われた

友人に相談し、乗り越えることが出来たから

同じ仕事をしている友人から励まされて思いとどまった事がある。

誰から言われたとかではなく、自分がいなくなったら困る人が(同僚、利用者さん)いると思って辞めていない

仕事に行き詰まりを感じていた時、新しい介護技術や知識を学ぶ機会がありました。それを実践することで、利用者のケアがよりスムーズに行えるようになり、自分の成長を感じる事が出来ました。

誰かがやらないといけない事。正直、精神的にも身体的にもしんどいと思うが、誰もができる仕事ではないこと、大変な仕事だからこそ、やりがいもあるため。

今の職場環境がよく、離職は考えていない

耐えきれないほど、過酷な仕事ではないと思ったから。

自分には、この仕事しかないと思っているので、やめたいと思った事はない。

離職を思いとどまった事はありません。いやなら辞める。

【問23】離職後に介護福祉士として再就職したきっかけをお聞かせください。

※984件の回答あり

一回離れると、また介護の仕事をしなくなった。
介護が好きなので、再び介護がしたいと思いました。人と関わることで成長できるように思います。
介護の資格があったため。
資格(経験)を活かして働きたいと思ったから。
介護福祉士として働きたかったから。
子育てが落ちついたから
施設長から電話をもらい、そろそろ戻ってこないかと声をかけられた。
元同僚からの誘い
知人の紹介
ハローワーク
人材センターからの紹介
生活のため
給料面
他職種の求人は年齢的に難しかったから
他にできる仕事なかった。

【問24】離職して再就職する場合、どのようなこと、もの、ひと、しくみ、制度などがあればよいと思いますか。

※1,049件の回答あり

<主な回答>

3日間のお試し就職(報酬あり)
1か月のお試し(報酬あり)
1週間のお試し就職(報酬あり)
給料アップ。
充実した福利厚生。リフレッシュ休暇。
退職金制度。
コミュニケーション円滑なところ。
職員を大事にする。
職場の雰囲気が前もってわかるとありがたい。
人手不足を考える事なく休暇がとれる。休みの職員のフォローの人材。
土日祝に出勤すると手当が出る。家族が休みでも頑張って働こうかという気になる。
まとまったお休みがほしい。
キャリアアップの為の研修等の時間をしっかり勤務にいれ込む。スキルアップしたことが報酬につながる。
介護技術等の研修会。
業務内容の詳しいマニュアル(対策も含む)があること。
家庭と仕事の両立しやすいサポート(環境作り)。
子育て中の人であれば子供の病欠などで休みやすい環境。時間帯の柔軟な対応。
子どもの託児。
インターンシップ制度。
多くの所を見学できれば、「こんなはずじゃなかった」離職は防げるのではないかと思います。
気軽に施設見学をしてまわれる(色々な施設を)ツアーみたいなのがあれば1日で自分に合った施設をみつけやすいのかな…。と思います。
介護以外の仕事も担うため、それ以外の業務を負担するスタッフが欲しい。(フロアの掃除、新規入居・退居準備、備品補充、勤務表etc.)
持病やハンディがある人への配慮。
設備の充実、人員の確保がしっかりできること。
就職祝い金。
相談しやすい環境と、安全な状況。設備。
髪型、髪色自由・WワークOK。

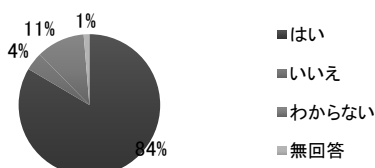
V. 介護職員処遇改善加算等

【問25】あなたは介護職員処遇改善加算等の対象になっていますか。

n=2,161		回答数	構成比
1	はい	1,804	83.5%
2	いいえ	90	4.2%
3	わからない	239	11.1%
4	無回答	28	1.3%
合計		2,161	100.0%

介護職員処遇改善加算等の対象となっているかどうかでは、「はい」が1,804名(83.5%)と最も多く、次いで「わからない」239名(11.1%)、「いいえ」90名(4.2%)となっている。

【問25】あなたは介護職員処遇改善加算等の対象になっていますか

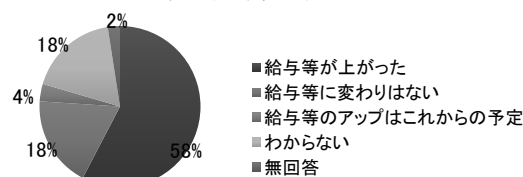


【問26】あなた自身に、介護職員処遇改善加算等による給与等の改善はありましたか。

n=2,161		回答数	構成比
1	給与等が上がった	1,246	57.7%
2	給与等に変わりはない	397	18.4%
3	給与等のアップはこれからの予定	76	3.5%
4	わからない	389	18.0%
5	無回答	53	2.5%
合計		2,161	100.0%

介護職員処遇改善加算等による給与等の改善では、「給与等が上がった」が1,246名(57.7%)と最も多く、次いで「給与等に変わりはない」が397名(18.4%)、3番目が「わからない」389名(18.0%)の順となっている。

【問26】あなたは自身に、介護職員処遇改善加算等による給与等の改善はありましたか



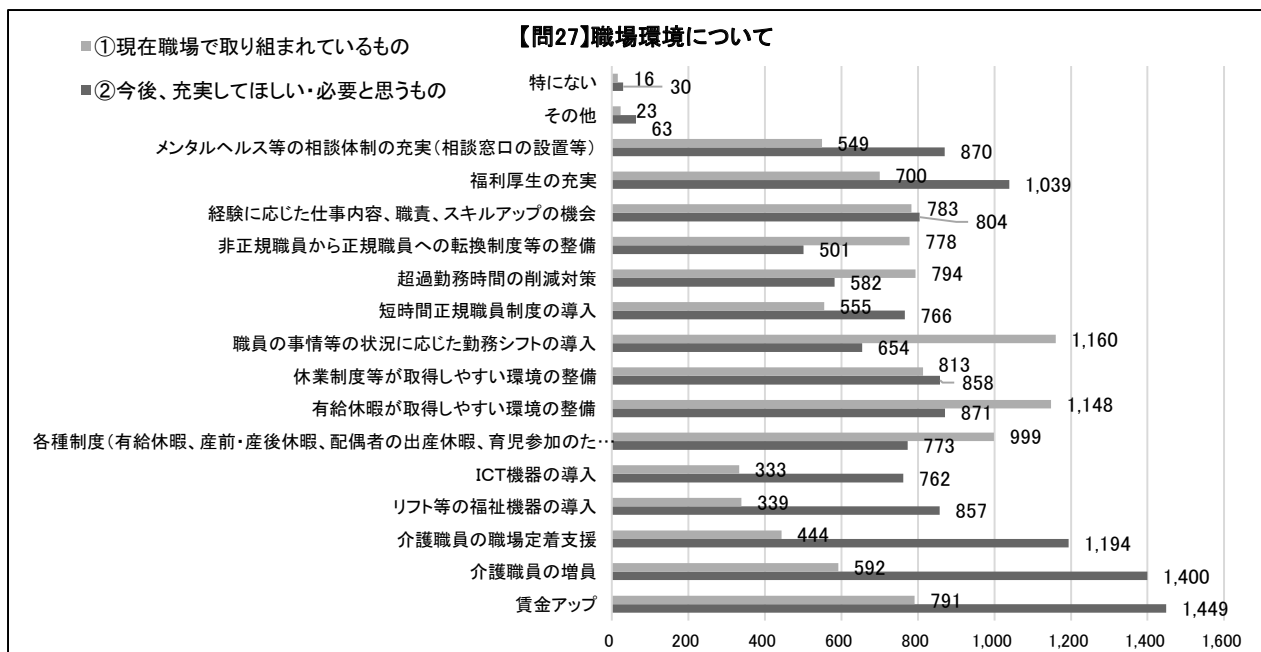
【問27】あなたの働く職場において、当てはまる項目を教えてください。(複数回答可)

- ①現在職場で取り組まれているもの
- ②今後、充実してほしい・必要と思うもの

①n=1,806(2,161件のうち、無回答355件を除く)

②n=1,992(2,161件のうち、無回答169件を除く)

	①現在		②今後	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 賃金アップ	791	7.3%	1,449	10.8%
2 介護職員の増員	592	5.5%	1,400	10.4%
3 介護職員の職場定着支援	444	4.1%	1,194	8.9%
4 リフト等の福祉機器の導入	339	3.1%	857	6.4%
5 ICT機器の導入	333	3.1%	762	5.7%
6 各種制度(有給休暇、産前・産後休暇、配偶者の出産休暇、育児参加のための休暇、育児休暇・育児時短勤務、介護休暇等)のルールや取得方法の周知・サポート	999	9.2%	773	5.7%
7 有給休暇が取得しやすい環境の整備	1,148	10.6%	871	6.5%
8 休業制度等が取得しやすい環境の整備	813	7.5%	858	6.4%
9 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトの導入	1,160	10.7%	654	4.9%
10 短時間正規職員制度の導入	555	5.1%	766	5.7%
11 超過勤務時間の削減対策	794	7.3%	582	4.3%
12 非正規職員から正規職員への転換制度等の整備	778	7.2%	501	3.7%
13 経験に応じた仕事内容、職責、スキルアップの機会	783	7.2%	804	6.0%
14 福利厚生の充実	700	6.5%	1,039	7.7%
15 メンタルヘルス等の相談体制の充実(相談窓口の設置等)	549	5.1%	870	6.5%
16 その他	23	0.2%	63	0.5%
17 特になし	16	0.1%	30	0.2%
合計	10,817	100.0%	13,473	100.0%



現在職場で取り組まれているもの(複数回答)では、「職員の事情等の状況に応じた勤務シフトの導入」が1,160名(10.7%)と最も多く、次いで「有給休暇が取得しやすい環境整備」1,148名(10.6%)、3番目が「各種制度のルールや取得方法の周知・サポート」999名(9.2%)となっている。4番目以下では、「休業制度等が取得しやすい環境整備」813名(7.5%)、「超過勤務時間の削減対策」794名(7.3%)、「賃金アップ」791名(7.3%)、「経験に応じた仕事内容、職責、スキルアップの機会」783名(7.2%)の順で続いている。

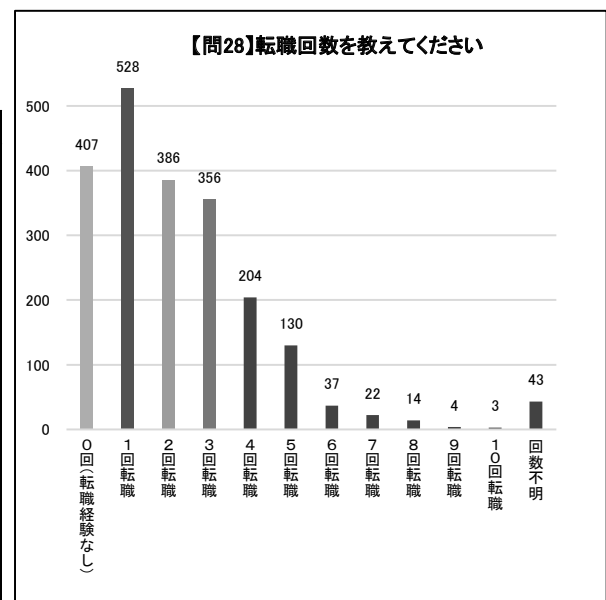
また、今後充実してほしい・必要と思うもの(複数回答)では、「賃金アップ」が1,449名(10.8%)と最も多く、次いで「介護職員の増員」1,400名(10.4%)、3番目が「介護職員の職場定着支援」1,194名(8.9%)となっている。4番目以下では、「福利厚生等の充実」1,039名(7.7%)、「有給休暇が取得しやすい環境整備」871名(6.5%)、「休業制度等が取得しやすい環境整備」858名(6.4%)、「リフト等の福祉機器の導入」857名(6.4%)の順で続いている。

VI. これまでの介護に関する経験や転職等の経験

【問28】転職経験はありますか。その回数を教えてください。

n=2,161

	回答数	構成比
0回(転職経験なし)	407	18.8%
1回転職	528	24.4%
2回転職	386	17.9%
3回転職	356	16.5%
4回転職	204	9.4%
5回転職	130	6.0%
6回転職	37	1.7%
7回転職	22	1.0%
8回転職	14	0.6%
9回転職	4	0.2%
10回転職	3	0.1%
回数不明	43	2.0%
無回答	27	1.2%
合計	2,161	100.0%



転職経験の回数では、「1回」が528名(24.4%)と最も多く、次いで「0回」が407名(18.8%)、3番目が「2回」386名(17.9%)となっている。4番目以下では、「3回」356名(16.5%)、「4回」204名(9.4%)、「5回」130名(6.0%)との順で続いている。また最多の転職回数は、「10回」で3名(0.1%)となっている。

VII. 現在の法人(勤務先)への入職

【問30】現在の法人への入職経路について教えてください。(主なもの1つ)

n=2,096 (2,161件のうち、無回答65件を除く)

		回答数	構成比
1	ハローワーク	803	38.3%
2	福祉人材センター	40	1.9%
3	民間の求人機関	50	2.4%
4	人材派遣会社の紹介	77	3.7%
5	前職等の職場の職員や友人の紹介	327	15.6%
6	新聞の折り込みチラシ	67	3.2%
7	求人・求職情報誌	46	2.2%
8	求人・求職のWEBサイト	91	4.3%
9	個々の事業所の就職説明会	25	1.2%
10	事業所のホームページ	41	2.0%
11	業界団体主催の合同説明会	9	0.4%
12	都道府県や市町村主催の説明会	2	0.1%
13	福祉人材センター主催の就職フェア	9	0.4%
14	ヘッドハンティング(スカウト)	98	4.7%
15	その他	411	19.6%
	合計	2,096	100.0%



<その他>

知人・友人等からの紹介	144件
自分が所属していた学校(高校・短大・大学・専門学校)にきた求人、学校からの紹介	53件
実習・ボランティア・アルバイト先	17件
家族・親族からの紹介	16件
家族が経営	16件
職員から紹介	15件

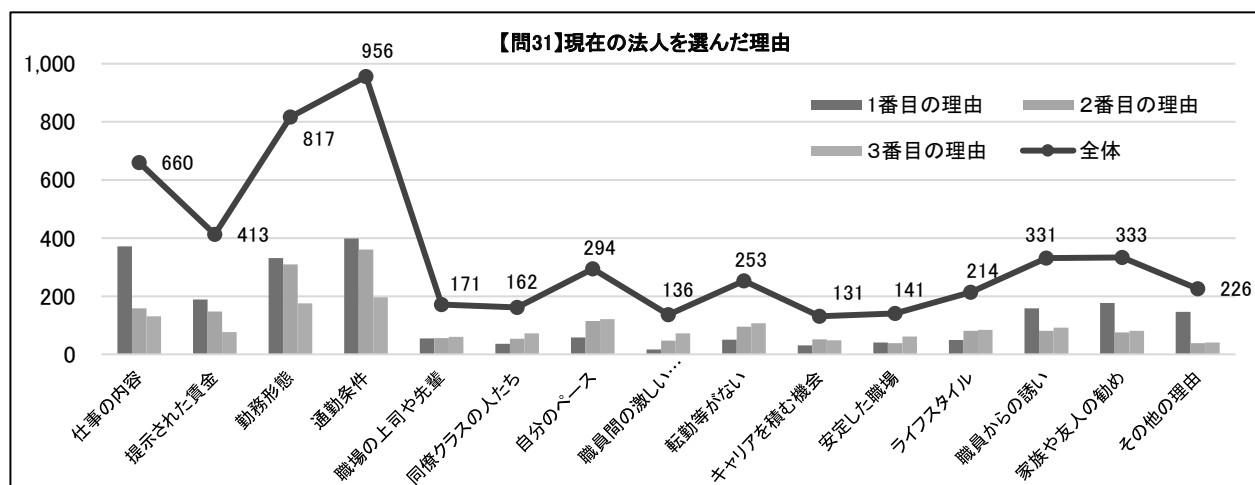
以前の職場に復職	9件
職業訓練校・初任者研修等からの紹介	8件
異動・事業所の合併等	6件
事業所のポスター・SNS等	3件
市の広報誌	2件
以前家族がお世話になった施設	1件
その他(自分から事業所へ連絡を取った等)	22件

現在の法人への入職経路では、「ハローワーク」が803名(38.3%)と最も多く、次いで「その他」が411名(19.6%)、3番目が「前職等の職場の職員・友人の紹介」が327名(15.6%)となっている。4番目以下では、「ヘッドハンティング(スカウト)」98名(4.7%)、「求人・求職WEBサイト」91名(4.3%)、「人材派遣会社の紹介」77名(3.7%)、「新聞の折り込みチラシ」67名(3.2%)の順で続いている。

また、「その他」411名(19.6%)の内容では、自分が所属していた学校(高校・大学・専門学校等)からの紹介、家族からの紹介、自分の知り合い・知人からの紹介の回答が多く見られている。

【問31】現在の法人を選んだ理由について教えてください。(主なもの3つまで)

	n=2,109	全体集計		1番目の理由		2番目の理由		3番目の理由	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	仕事の内容自体にやりがいを感じた	660	12.6%	371	17.6%	158	9.2%	131	9.2%
2	提示された賃金良かった	413	7.9%	189	9.0%	147	8.6%	77	5.4%
3	勤務形態が良かった	817	15.6%	331	15.7%	310	18.1%	176	12.4%
4	通勤条件が良かった	956	18.3%	399	18.9%	361	21.1%	196	13.8%
5	職場の上司や先輩から学べることが多いと感じた	171	3.3%	55	2.6%	56	3.3%	60	4.2%
6	同僚クラスの人たちとうまくやっていけると感じた	162	3.1%	36	1.7%	54	3.2%	72	5.1%
7	落ち着いて自分のペースで仕事ができる職場と感じた	294	5.6%	58	2.8%	115	6.7%	121	8.5%
8	職員間の激しい競争がなく楽だと思った	136	2.6%	17	0.8%	47	2.7%	72	5.1%
9	転勤等がなく自分の地元で働き続けることができると感じた	253	4.8%	51	2.4%	95	5.6%	107	7.5%
10	多様な職種や事業所があり、いろいろな仕事キャリアを積む機会があると感じた	131	2.5%	31	1.5%	52	3.0%	48	3.4%
11	法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模から安定した職場と思った	141	2.7%	41	1.9%	39	2.3%	61	4.3%
12	結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができると感じた	214	4.1%	49	2.3%	81	4.7%	84	5.9%
13	その事業所で働く職員からの誘いや勧め	331	6.3%	158	7.5%	81	4.7%	92	6.5%
14	家族や友人の勧め	333	6.4%	177	8.4%	75	4.4%	81	5.7%
15	その他の理由	226	4.3%	146	6.9%	39	2.3%	41	2.9%
	合計	5,238	100.0%	2,109	100.0%	1,710	100.0%	1,419	100.0%

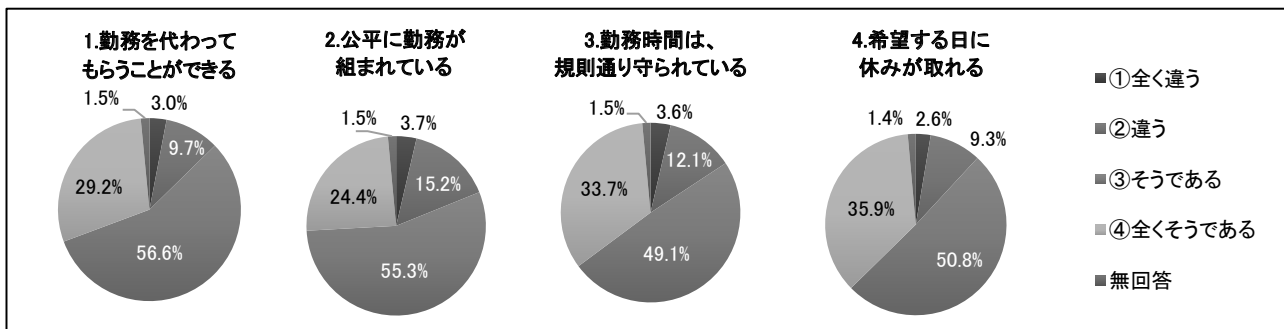


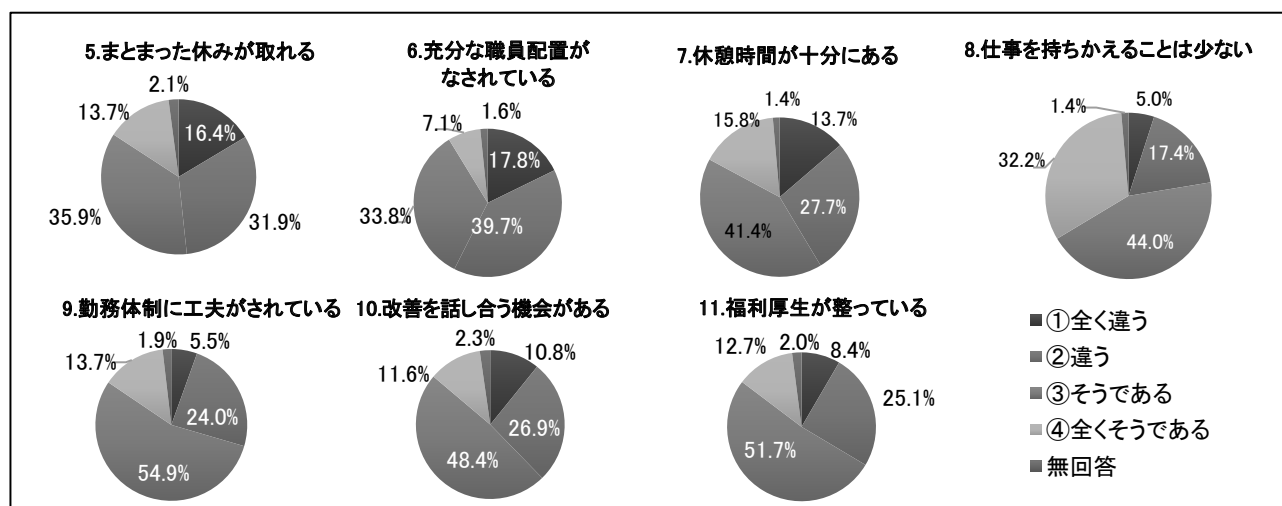
現在の法人を選んだ理由(全体)(主なもの3つ)では、「通勤条件が良かった」が956名(18.3%)と最も多く、次いで「勤務形態が良かった」817名(15.6%)、3番目が「仕事の内容自体にやりがいを感じた」660名(12.6%)となっている。4番目以下では、「提示された賃金が良かった」413名(7.9%)、「家族・友人の勧め」333名(6.4%)、「その事業所で働く職員からの誘い・勧め」331名(6.3%)の順で続いている。

【問32】現在の法人の組織面について、最も当てはまる番号を教えてください。

①全く違う ②違う ③そうである ④全くそうである

			①	②	③	④	無回答	合計
1	勤務を代わってもらことができる	回答数	65	209	1,224	630	33	2,161
		構成比	3.0%	9.7%	56.6%	29.2%	1.5%	100.0%
2	公平に勤務が組まれている	回答数	79	329	1,194	527	32	2,161
		構成比	3.7%	15.2%	55.3%	24.4%	1.5%	100.0%
3	勤務時間は、規則通り守られている	回答数	78	262	1,061	728	32	2,161
		構成比	3.6%	12.1%	49.1%	33.7%	1.5%	100.0%
4	希望する日に休みが取れる	回答数	57	200	1,097	776	31	2,161
		構成比	2.6%	9.3%	50.8%	35.9%	1.4%	100.0%
5	リフレッシュするため、まとまった休みが取れる	回答数	355	689	775	297	45	2,161
		構成比	16.4%	31.9%	35.9%	13.7%	2.1%	100.0%
6	十分な職員配置がなされている	回答数	384	857	731	154	35	2,161
		構成比	17.8%	39.7%	33.8%	7.1%	1.6%	100.0%
7	休憩時間が十分にある	回答数	296	599	895	341	30	2,161
		構成比	13.7%	27.7%	41.4%	15.8%	1.4%	100.0%
8	仕事を家に持ちかえることは少ない	回答数	108	376	951	696	30	2,161
		構成比	5.0%	17.4%	44.0%	32.2%	1.4%	100.0%
9	働きやすいように、勤務体制に工夫がされている	回答数	119	519	1,187	296	40	2,161
		構成比	5.5%	24.0%	54.9%	13.7%	1.9%	100.0%
10	勤務体制の改善について話し合う機会がある	回答数	234	581	1,047	250	49	2,161
		構成比	10.8%	26.9%	48.4%	11.6%	2.3%	100.0%
11	福利厚生が整っている	回答数	182	543	1,118	274	44	2,161
		構成比	8.4%	25.1%	51.7%	12.7%	2.0%	100.0%





現在の法人の組織面について、「1勤務を代わってもらえることができる」では、「そうである」が1,224名(56.6%)と最も多く、次いで「全くそうである」630名(29.2%)と両方で全体の8割以上を占めている。

「2公平に勤務が組まれている」では、「そうである」が1,194名(55.3%)と最も多く、次いで「全くそうである」527名(24.4%)と両方で全体の約8割となっている。

「3勤務時間は規則通り守られている」では、「そうである」が1,061名(49.1%)と最も多く、次いで「全くそうである」728名(33.7%)と両方で全体の8割以上を占めている。

「4希望する日に休みが取れる」では、「そうである」が1,097名(50.8%)と最も多く、次いで「全くそうである」776名(35.9%)と両方で全体の8割以上を占めている。

「5リフレッシュでまとまった休みが取れる」では、「そうである」が775名(35.9%)と最も多く、次いで「違う」が689名(31.9%)、3番目が「全く違う」355名(16.4%)、4番目が「全くそうである」297名(13.7%)の順となっている。

「6十分な職員配置がなされている」では、「違う」が857名(39.7%)と最も多く、次いで「そうである」731名(33.8%)、3番目が「全く違う」384名(17.8%)、4番目「全くそうである」154名(7.1%)となっている。

「7休憩時間が十分にある」では、「そうである」が895名(41.4%)と最も多く、次いで「違う」が599名(27.7%)、3番目が「全くそうである」341名(15.8%)、4番目「全く違う」296名(13.7%)となっている。

「8仕事を家に持ち帰ることは少ない」では、「そうである」が951名(44.0%)と最も多く、次いで「全くそうである」が696名(32.2%)と両方で7割以上を占めている。

「9働きやすいように勤務体制に工夫がされている」では、「そうである」が1,187名(54.9%)と最も多く、次いで「違う」が519名(24.0%)、3番目が「全くそうである」296名(13.7%)の順となっている。

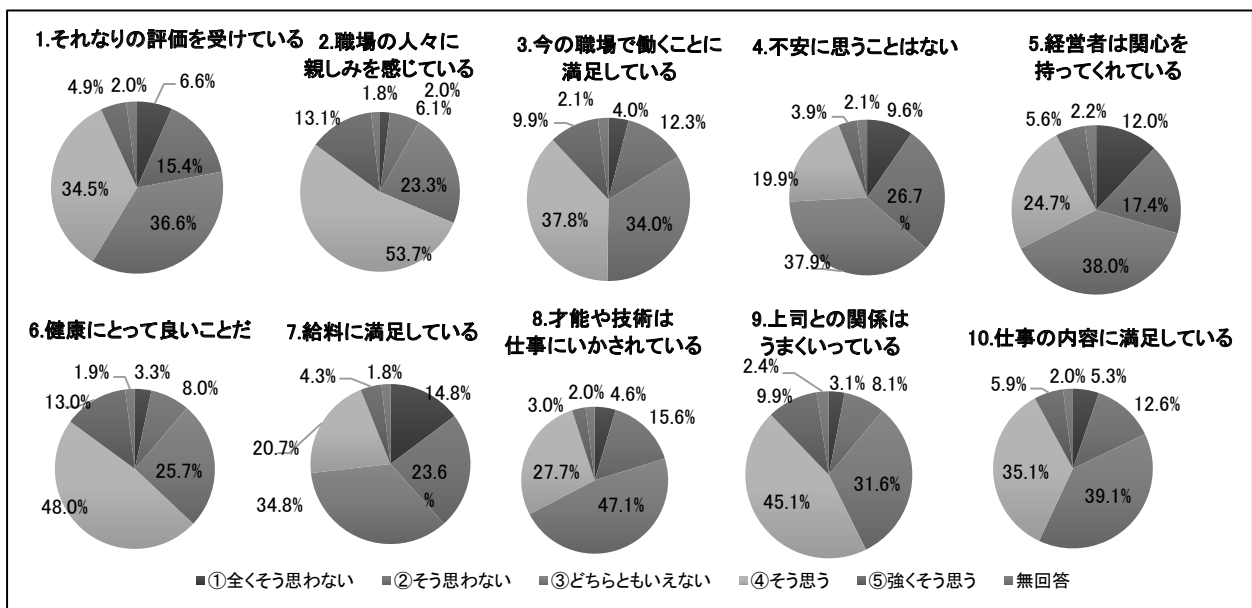
「10勤務体制の改善について話し合う機会がある」では、「そうである」が1,047名(48.4%)と最も多く、次いで「違う」が581名(26.9%)、3番目が「全くそうである」250名(11.6%)、4番目「全く違う」234名(10.8%)となっている。

「11福利厚生が整っている」では、「そうである」が1,118名(51.7%)と最も多く、次いで「違う」が543名(25.1%)、「全くそうである」274名(12.7%)の順となっている。

【問33】現在の法人での様子について、最も当てはまる番号を教えてください。

①全くそう思わない ②そう思わない ③どちらともいえない ④そう思う ⑤強くそう思う

			①	②	③	④	⑤	無回答	合計
1	仕事ができるときには、それなりの評価を受けている	回答数	143	333	791	745	105	44	2,161
		構成比	6.6%	15.4%	36.6%	34.5%	4.9%	2.0%	100.0%
2	職場の人々に親しみを感じている	回答数	43	131	503	1,161	284	39	2,161
		構成比	2.0%	6.1%	23.3%	53.7%	13.1%	1.8%	100.0%
3	今の職場で働くことに満足している	回答数	86	265	734	817	214	45	2,161
		構成比	4.0%	12.3%	34.0%	37.8%	9.9%	2.1%	100.0%
4	仕事のことで不安に思うことはない	回答数	208	577	818	429	84	45	2,161
		構成比	9.6%	26.7%	37.9%	19.9%	3.9%	2.1%	100.0%
5	経営者は自分のことに関心を持っていてくれると思う	回答数	260	377	821	534	122	47	2,161
		構成比	12.0%	17.4%	38.0%	24.7%	5.6%	2.2%	100.0%
6	仕事をするのはからだの健康にとって良いことだと思う	回答数	72	172	556	1,038	281	42	2,161
		構成比	3.3%	8.0%	25.7%	48.0%	13.0%	1.9%	100.0%
7	給料に満足している	回答数	319	510	753	448	92	39	2,161
		構成比	14.8%	23.6%	34.8%	20.7%	4.3%	1.8%	100.0%
8	自分の才能や技術は、すべて仕事にいかされている	回答数	100	337	1,018	598	65	43	2,161
		構成比	4.6%	15.6%	47.1%	27.7%	3.0%	2.0%	100.0%
9	上司との関係はうまくいっている	回答数	66	174	682	975	213	51	2,161
		構成比	3.1%	8.1%	31.6%	45.1%	9.9%	2.4%	100.0%
10	仕事の内容に満足している	回答数	114	273	844	759	128	43	2,161
		構成比	5.3%	12.6%	39.1%	35.1%	5.9%	2.0%	100.0%



現在の法人の様子について、「1仕事を出来た時に評価を受けている」では、「どちらともいえない」が791名(36.6%)と最も多く、次いで「そう思う」745名(34.5%)、3番目が「そう思わない」333名(15.4%)の順となっている。

「2職場の人々に親しみを感じている」では、「そう思う」が1,161名(53.7%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」が503名(23.3%)、3番目が「強くそう思う」284名(13.1%)となっている。また、「そう思わない」は131名(6.1%)となっている。

「3今の職場で働くことに満足している」では、「そう思う」が817名(37.8%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」が734名(34.0%)、3番目が「そう思わない」265名(12.3%)の順となっている。また、「全くそう思わない」は86名(4.0%)となっている。

「4仕事のことで不安はない」では、「どちらともいえない」が818名(37.9%)と最も多く、次いで「そう思わない」577名(26.7%)、3番目が「そう思う」429名(19.9%)となっている。また「全くそう思わない」は208名(9.6%)となっている。

「5経営者は自分に関心を持っていると思う」では、「どちらともいえない」が821名(38.0%)と最も多く、次いで「そう思う」が534名(24.7%)、3番目が「そう思わない」377名(17.4%)となっている。また、「全くそう思わない」は260名(12.0%)となっている。

「6仕事することは健康にとってよいと思うか」では、「そう思う」が1,038名(48.0%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」が556名(25.7%)、3番目が「強くそう思う」281名(13.0%)となっている。

「7給料に満足している」では、「どちらともいえない」が753名(34.8%)と最も多く、次いで「そう思わない」が510名(23.6%)、3番目が「そう思う」448名(20.7%)となっている。また、「全くそう思わない」は319名(14.8%)となっている。

「8自分の才能・技術が仕事に生かされている」では、「どちらともいえない」が1,018名(47.1%)と最も多く、次いで「そう思う」598名(27.7%)、3番目が「そう思わない」337名(15.6%)となっている。

「9上司との関係はうまくいっている」では、「そう思う」が975名(45.1%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」が682名(31.6%)、3番目が「強くそう思う」213名(9.9%)となっている。また、「そう思わない」は174名(8.1%)となっている。

「10仕事の内容に満足している」では、「どちらともいえない」が844名(39.1%)と最も多く、次いで「そう思う」が759名(35.1%)、3番目が「そう思わない」273名(12.6%)となっている。また、「全くそう思わない」114名(5.3%)、「強くそう思う」128名(5.9%)となっている。

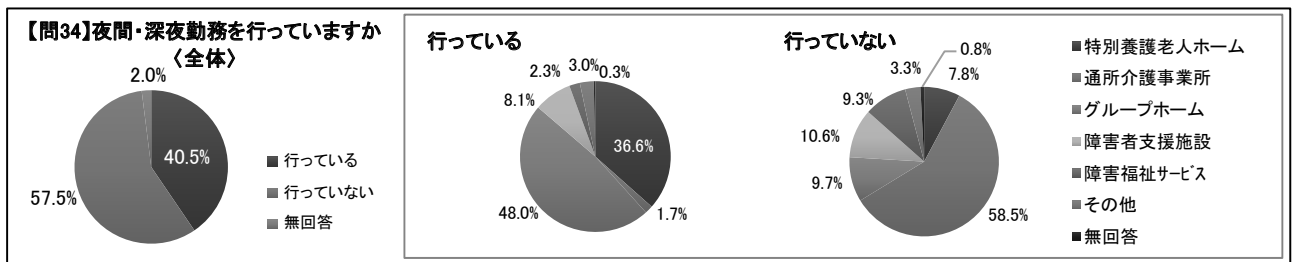
VIII. 夜間・深夜(午後10時から午前5時にかかる時間帯)の勤務

【問34】あなたは、夜間・深夜勤務を行っていますか。

n=2,161		
	回答数	構成比
1 行っている	875	40.5%
2 行っていない	1,243	57.5%
3 無回答	43	2.0%
合計	2,161	100.0%

●主な種別ごとの内訳

種別	行っている		行っていない		無回答	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	320	36.6%	97	7.8%	3	7.0%
通所介護事業所	15	1.7%	727	58.5%	27	62.8%
認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)	420	48.0%	120	9.7%	7	16.3%
障害者支援施設	71	8.1%	132	10.6%	2	4.7%
障害福祉サービスを行う事業所	20	2.3%	116	9.3%	2	4.7%
その他	26	3.0%	41	3.3%	0	0.0%
無回答	3	0.3%	10	0.8%	2	4.7%
合計	875	100.0%	1243	100.0%	43	100.0%

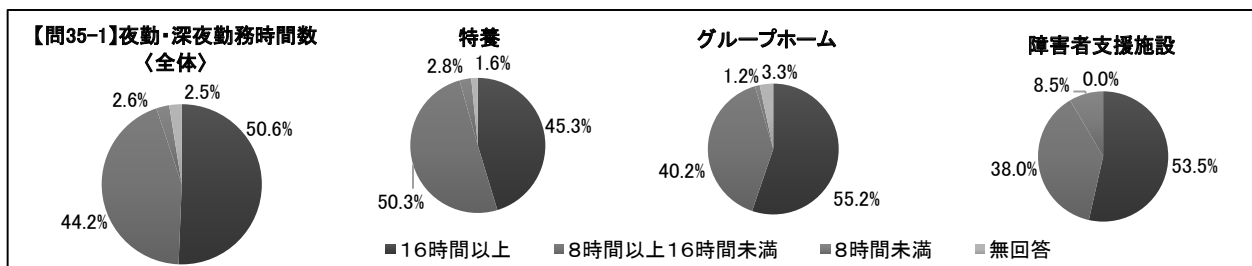


夜間・深夜勤務を行っているかでは、全体集計では、「行っている」が875名（40.5%）、「行っていない」が1,243名（57.5%）となっている。

また、「行っている」の施設種別ごとの内訳では、「認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）」が420名（48.0%）と最も多く、次いで「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が320名（36.6%）、3番目が「障害者支援施設」71名（8.1%）と3者で約9割を占めている。

【問35-1】（問34で、「1. 行っている」と回答した方）夜勤・深夜勤務時間数を教えてください。

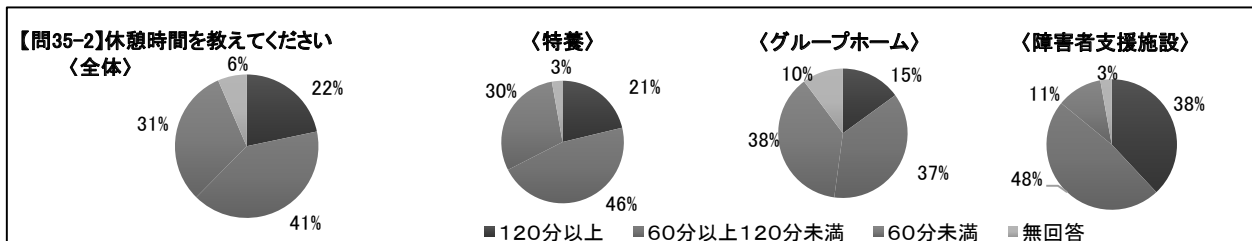
		全体n=875		特養n=320		GHn=420		障害n=71	
		全体		特養		グループホーム		障害者支援施設	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	16時間以上	443	50.6%	145	45.3%	232	55.2%	38	53.5%
2	8時間以上16時間未満	387	44.2%	161	50.3%	169	40.2%	27	38.0%
3	8時間未満	23	2.6%	9	2.8%	5	1.2%	6	8.5%
4	無回答	22	2.5%	5	1.6%	14	3.3%	0	0.0%
合計		875	100.0%	320	100.0%	420	100.0%	71	100.0%



問34で「1 行っている」の回答者の夜勤・深夜勤務時間数では、「16時間以上」が443名（50.6%）と最も多く、次いで「8時間以上16時間未満」が387名（44.2%）、3番目が「8時間未満」23名（2.6%）の順となっている。

【問35-2】（問34で、「1. 行っている」と回答した方）休憩時間を教えてください。

		全体n=875		特養n=320		GHn=420		障害n=71	
		全体		特養		グループホーム		障害者支援施設	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	120分以上	190	21.7%	68	21.3%	63	15.0%	27	38.0%
2	60分以上120分未満	356	40.7%	148	46.3%	156	37.1%	34	47.9%
3	60分未満	272	31.1%	95	29.7%	158	37.6%	8	11.3%
4	無回答	57	6.5%	9	2.8%	43	10.2%	2	2.8%
合計		875	100.0%	320	100.0%	420	100.0%	71	100.0%



問34で「1行っている」の回答者の休憩時間について、全体集計では、「60分以上120分未満」が356名(40.7%)と最も多く、次いで「60分未満」が272名(31.1%)、3番目が「120分以上」190名(21.7%)の順となっている。

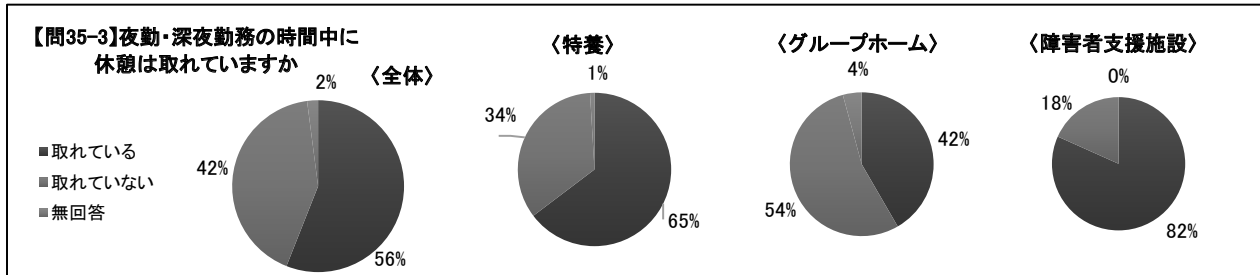
また、施設種別ごとに見ると、「特別養護老人ホーム」では、「60分以上120分未満」が148名(46.3%)、次いで「60分未満」が95名(29.7%)、3番目が「120分以上」(21.3%)となっている。

「認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)」では、「60分未満」が158名(37.6%)と最も多く、次いで「60分以上120分未満」が156名(37.1%)、3番目が「120分以上」63名(15.0%)となっている。

「障害者支援施設」では、「60分以上120分未満」が34名(47.9%)と最も多く、次いで「120分以上」が27名(38.0%)、3番目が「60分未満」8名(11.3%)となっている。

【問35-3】(問34で、「1. 行っている」と回答した方)夜間・深夜勤務の時間中に休憩は取れていますか。

		全体n=875		特養n=320		GHn=420		障害n=71	
		全体		特養		グループホーム		障害者支援施設	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	取れている	490	56.0%	207	64.7%	177	42.1%	58	81.7%
2	取れていない	367	41.9%	110	34.4%	230	54.8%	13	18.3%
3	無回答	18	2.1%	3	0.9%	13	3.1%	0	0.0%
合計		875	100.0%	320	100.0%	420	100.0%	71	100.0%



問35-3の全体集計では「1取れている」と回答した人が、490名(56.0%)と最も多く、次いで「2取れていない」との回答が367名(41.9%)となった。

また、施設種別ごとに見ると「特別養護老人ホーム」と「障害者支援施設」では全体集計と同様に、「1取れている」と回答した人が最も多かった。数値では、「特別養護老人ホーム」が207名(64.7%)、「障害者支援施設」は58名(81.7%)であった。一方で、「グループホーム」では「2取れていない」と回答した人が最も多く、230名(54.8%)であった。

【問35-4】(問35-3で、「2. 取れていない」と回答した方)その理由はなんですか。(複数回答可)

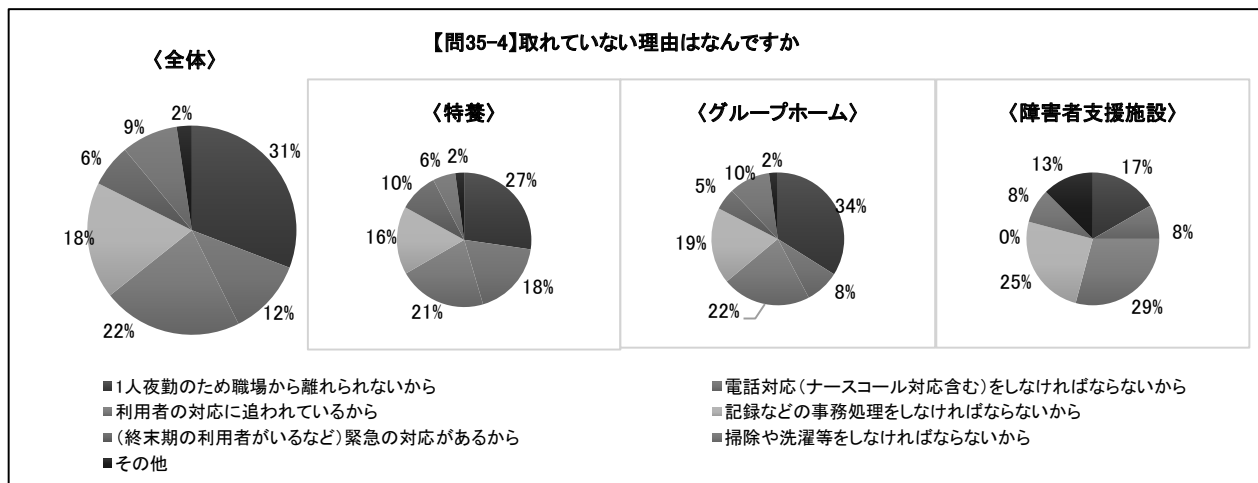
全体n=351(367件のうち、無回答16件を除く)

特養 n=105(110件のうち、無回答5件を除く)

GH n=221(23件のうち、無回答9件を除く)

障害n=12(13件のうち、無回答1件を除く)

		全体		特養		グループホーム		障害者支援施設	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	1人夜勤のため職場から離れられないから	329	30.8%	90	27.3%	224	33.9%	4	16.7%
2	電話対応(ナースコール対応含む)をしなければならないから	126	11.8%	60	18.2%	55	8.3%	2	8.3%
3	利用者の対応に追われているから	231	21.6%	70	21.2%	143	21.7%	7	29.2%
4	記録などの事務処理をしなければならないから	193	18.1%	54	16.4%	123	18.6%	6	25.0%
5	(終末期の利用者がいるなど)緊急の対応があるから	70	6.6%	31	9.4%	35	5.3%	0	0.0%
6	掃除や洗濯等をしなければならないから	93	8.7%	18	5.5%	66	10.0%	2	8.3%
7	その他	25	2.3%	7	2.1%	14	2.1%	3	12.5%
合計		1,067	100.0%	330	100.0%	660	100.0%	24	100.0%



問35-3で休憩時間が「2. 取れていない」の理由(複数回答)について、全体集計では、「1人夜勤のため職場から離れられない」が329名(30.8%)と最も多く、次いで「利用者の対応に追われているから」231名(21.6%)、3番目が「記録等事務処理をしないといけないから」193名(18.1%)となっている。4番目以下では、「電話(ナースコール含む)対応しないといけないから」126名(11.8%)、「掃除や洗濯等をしないといけないから」93名(8.7%)、「(終末期の利用者がいる等)緊急の対応があるから」70名(6.6%)の順で続いている。

また、施設種別での内訳について、「特別養護老人ホーム」では、「1人夜勤のため職場から離れられない」が90名(27.3%)と最も多く、次いで「利用者の対応に追われている」が70名(21.2%)、3番目が「記録等の事務処理をしなければならない」54名(16.4%)となっている。4番目以下では、「電話対応(ナースコール含む)をしなければならない」60名(18.2%)、「(終末期の利用者がいるなど)緊急対応がある」31名(9.4%)、「掃除・洗濯等をしなければならない」18名(5.5%)との順となっている。

「認知症対応型共同生活介護事業所」では、「1人夜勤のため職場から離れられない」が224名(33.9%)と最も多く、次いで「利用者の対応に追われている」が143名(21.7%)、3番目が「記録等の事務処理をしなければならない」123名(18.6%)となっている。4番目以下では、「掃除・洗濯等をしなければならない」66名(10.0%)、「電話対応(ナースコール含む)をしなければならない」55名(8.3%)、「(終末期の利用者がいる等)緊急対応があるから」35名(5.3%)の順となっている。

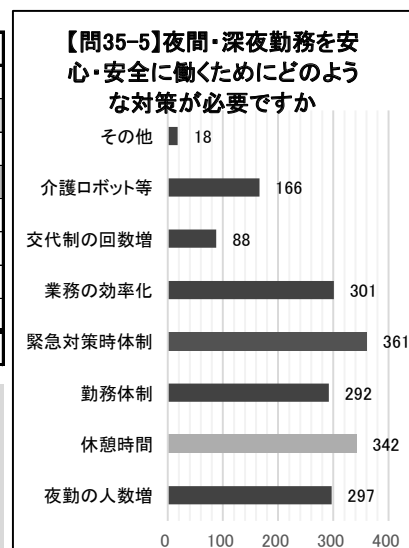
「障害者支援施設」では、「利用者の対応に追われている」が7名(29.2%)と最も多く、次いで「記録等の事務処理をしなければならない」6名(25.0%)、3番目が「1人夜勤のため職場から離れられない」4名(16.7%)となっている。

【問35-5】夜間・深夜勤務を安心・安全に働くためにどのような対策が必要ですか。(複数回答可)

n=785(875件のうち、無回答90件を除く)

		回答数	構成比
1	夜勤の人数を増やす	297	15.9%
2	休憩時間がとりやすい仕組みを整える	342	18.3%
3	夜勤・深夜勤務時およびその翌日の勤務体制を整える	292	15.7%
4	緊急対策時の体制を整える	361	19.4%
5	無理、無駄、ムラをなくし、業務の効率化を図る	301	16.1%
6	交代制の回数を増やす(2交代制から3交代制に変える等)	88	4.7%
7	介護ロボットやICTなどを活用する	166	8.9%
8	その他	18	1.0%
	合計	1,865	100.0%

夜間・深夜勤務を安心・安全に働くためにどのような対策が必要か(複数回答)では、「緊急対策時の体制を整える」が361名(19.4%)と最も多く、次いで「休憩時間がとりやすい仕組みを整える」342名(18.3%)、3番目が「無理、無駄、ムラをなくし業務効率化を図る」301名(16.1%)となっている。4番目以下では、「夜勤の人を増やす」297名(15.9%)、「夜勤・深夜勤務時及びその翌日の勤務体制を整える」292名(15.7%)、「介護ロボットやICT等を活用する」166名(8.9%)の順で続いている。



Ⅷ. ひとつ前に勤めていた法人(勤務先)に入職された時のこと、離職された時のこと

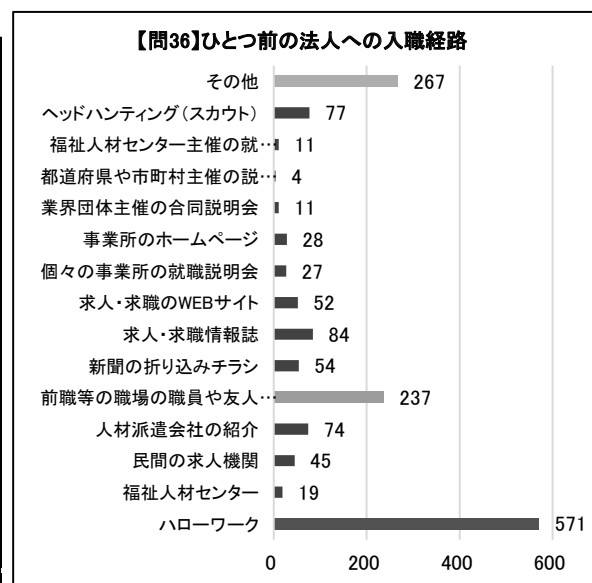
(現在の勤務先に至る前まで)についてお尋ねします。

別法人から現在の法人に転職された方のみお答えください。

→該当しない方(法人内の異動のみ・離転職の経験がない)は「問41」以降について回答してください。

【問36】ひとつ前の法人への入職経路を教えてください。(主なもの1つ)

n=1,561 (1,662件のうち、無回答101件を除く)		
	回答数	構成比
1 ハローワーク	571	36.6%
2 福祉人材センター	19	1.2%
3 民間の求人機関	45	2.9%
4 人材派遣会社の紹介	74	4.7%
5 前職等の職場の職員や友人の紹介	237	15.2%
6 新聞の折り込みチラシ	54	3.5%
7 求人・求職情報誌	84	5.4%
8 求人・求職のWEBサイト	52	3.3%
9 個々の事業所の就職説明会	27	1.7%
10 事業所のホームページ	28	1.8%
11 業界団体主催の合同説明会	11	0.7%
12 都道府県や市町村主催の説明会	4	0.3%
13 福祉人材センター主催の就職フェア	11	0.7%
14 ヘッドハンティング(スカウト)	77	4.9%
15 その他	267	17.1%
合計	1,561	100.0%



＜その他、主な回答＞

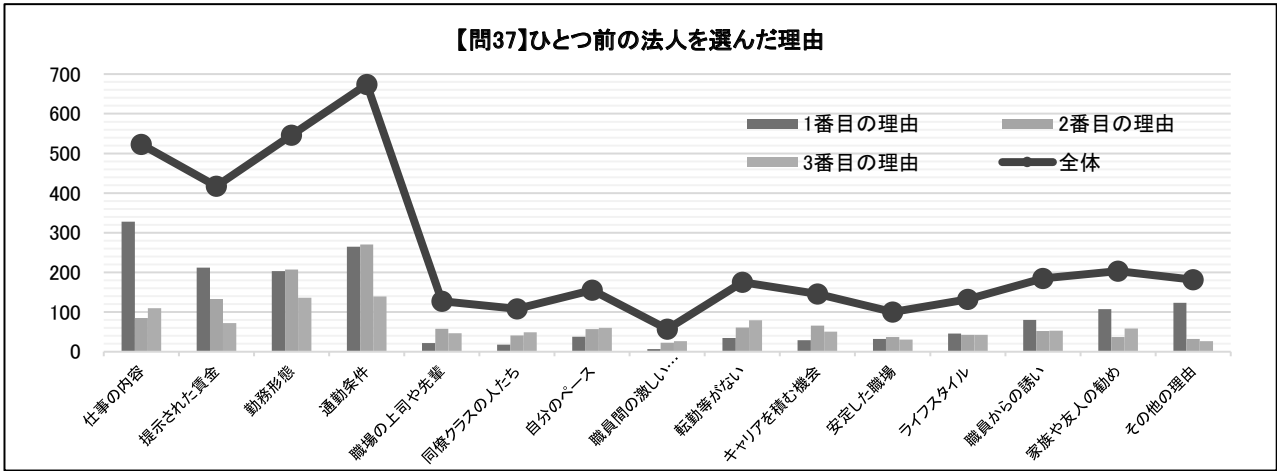
知人・友人の紹介	92 件	異動・同系列の法人	3 件
学校に出ていた求人	32 件	職業訓練校からの紹介	3 件
学校からの紹介	31 件	家・子供の学校から近い	2 件
実習先、ボランティア先、アルバイト先	13 件	以前の職場へ復職	1 件
職員(先輩)・施設長・経営者から誘われた	12 件	家業	1 件
家族の紹介	6 件	生涯活躍支援センター	1 件
資格取得研修先	5 件	町の広報誌	1 件

ひとつ前の法人への入職経路(主なもの1つ)では、「ハローワーク」が571名(36.6%)と最も多く、次いで「その他」267名(17.1%)、3番目が「前職等の職場の職員・友人の紹介」237名(15.2%)となっている。4番目以下では、「求人・求職情報誌」84名(5.4%)、「ヘッドハンティング」77名(4.9%)、「人材派遣会社の紹介」74名(4.7%)、「新聞・折り込みチラシ」54名(3.5%)の順で続いている。また、「その他」267名(17.1%)の内容を見ると大学・専門学校・高校等からの紹介・勧め、知り合い・友人の紹介、親・家族の紹介・勧め等の回答が多く見られている。

【問37】ひとつ前の法人を選んだ理由について教えてください。(主なもの3つまで)

n=1,545(問28で、転職経験のある方1,727件のうち、無回答182件を除く)

		全体		1番目の理由		2番目の理由		3番目の理由	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	仕事の内容自体にやりがいを感じた	523	14.0%	328	21.2%	85	7.1%	110	11.2%
2	提示された賃金が良かった	417	11.2%	212	13.7%	133	11.1%	72	7.3%
3	勤務形態が良かった	546	14.6%	203	13.1%	207	17.2%	136	13.8%
4	通勤条件が良かった	674	18.1%	265	17.2%	270	22.5%	139	14.1%
5	職場の上司や先輩から学べる人が多いと感じた	127	3.4%	22	1.4%	58	4.8%	47	4.8%
6	同僚クラスの人たちとうまくやっていけると感じた	108	2.9%	18	1.2%	41	3.4%	49	5.0%
7	落ち着いて自分のペースで仕事ができる職場と感じた	155	4.2%	38	2.5%	57	4.7%	60	6.1%
8	職員間の激しい競争がなく楽だと思った	57	1.5%	7	0.5%	23	1.9%	27	2.7%
9	転勤等がなく自分の地元で働き続けることができると感じた	175	4.7%	35	2.3%	61	5.1%	79	8.0%
10	多様な職種や事業所があり、いろいろな仕事キャリアを積む機会があると感じた	146	3.9%	29	1.9%	66	5.5%	51	5.2%
11	法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模から安定した職場と思った	100	2.7%	32	2.1%	37	3.1%	31	3.2%
12	結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができると感じた	132	3.5%	46	3.0%	43	3.6%	43	4.4%
13	その事業所で働く職員からの誘いや勧め	185	5.0%	80	5.2%	52	4.3%	53	5.4%
14	家族や友人の勧め	203	5.4%	107	6.9%	37	3.1%	59	6.0%
15	その他の理由	182	4.9%	123	8.0%	32	2.7%	27	2.7%
合計		3,730	100.0%	1,545	100.0%	1,202	100.0%	983	100.0%



＜その他の理由、主な回答＞

何でもよかった	7件
学校からの紹介	4件
無資格・未経験で就職できた	3件
今の仕事から離れたかった	3件
求人の選択肢がなかった	3件

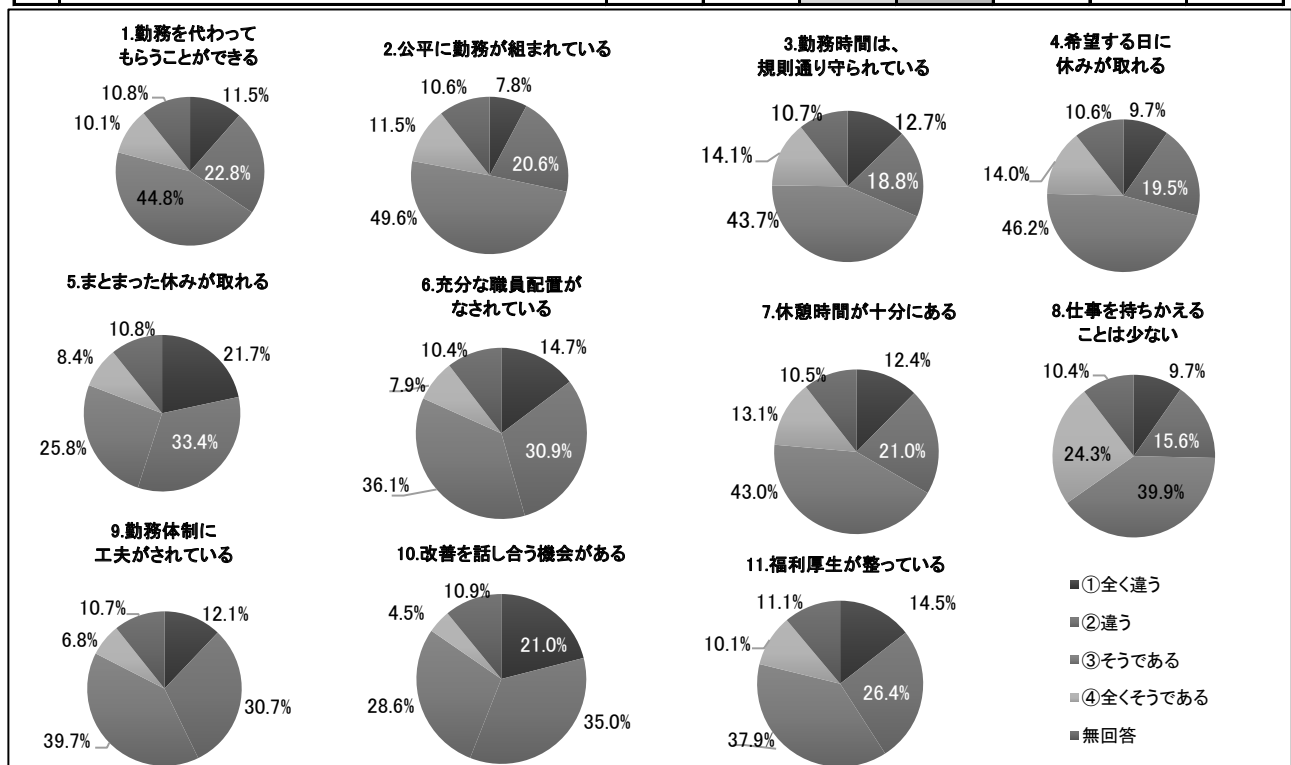
実習先・ボランティア先	2件
介護職に興味があった	2件
入れる求人の選択肢がなかった	2件
希望職の求人が他になかった	1件
新規オープンだった	1件

ひとつ前の法人を選んだ理由(全体)(主なもの3つ)では、「通勤条件が良かった」が674名(18.1%)と最も多く、次いで「勤務形態が良かった」が546名(14.6%)、3番目「仕事の内容自体にやりがいを感じた」が523名(14.0%)となっている。また、4番目以下では、「提示された賃金が良かった」417名(11.2%)、「家族や友人の勧め」203名(5.4%)、「その事業所で働く職員からの誘いや勧め」185名(5.0%)、「転勤等がなく自分の地元で働き続けることができる」175名(4.7%)の順が続いている。

【問38】ひとつ前の法人の組織面について、最も当てはまる番号を教えてください。

①全く違う ②違う ③そうである ④全くそうである

			①	②	③	④	無回答	合計
1	勤務を代わってもらえることができる	回答数	199	394	773	175	186	1,727
		構成比	11.5%	22.8%	44.8%	10.1%	10.8%	100.0%
2	公平に勤務が組まれている	回答数	134	355	857	198	183	1,727
		構成比	7.8%	20.6%	49.6%	11.5%	10.6%	100.0%
3	勤務時間は、規則通り守られている	回答数	220	324	755	244	184	1,727
		構成比	12.7%	18.8%	43.7%	14.1%	10.7%	100.0%
4	希望する日に休みが取れる	回答数	167	337	798	242	183	1,727
		構成比	9.7%	19.5%	46.2%	14.0%	10.6%	100.0%
5	リフレッシュするため、まとまった休みが取れる	回答数	374	576	446	145	186	1,727
		構成比	21.7%	33.4%	25.8%	8.4%	10.8%	100.0%
6	十分な職員配置がなされている	回答数	254	533	624	136	180	1,727
		構成比	14.7%	30.9%	36.1%	7.9%	10.4%	100.0%
7	休憩時間が十分にある	回答数	214	362	743	226	182	1,727
		構成比	12.4%	21.0%	43.0%	13.1%	10.5%	100.0%
8	仕事を家に持ちかえることは少ない	回答数	168	270	689	420	180	1,727
		構成比	9.7%	15.6%	39.9%	24.3%	10.4%	100.0%
9	働きやすいように、勤務体制に工夫がされている	回答数	209	530	686	117	185	1,727
		構成比	12.1%	30.7%	39.7%	6.8%	10.7%	100.0%
10	勤務体制の改善について話し合う機会がある	回答数	363	604	494	77	189	1,727
		構成比	21.0%	35.0%	28.6%	4.5%	10.9%	100.0%
11	福利厚生が整っている	回答数	250	456	655	174	192	1,727
		構成比	14.5%	26.4%	37.9%	10.1%	11.1%	100.0%



ひとつ前の法人の組織面について、「1勤務を代わってもらえることができる」では、「そうである」が773名(44.8%)と最も多く、次いで「違う」394名(22.8%)、3番目が「全く違う」199名(11.5%)となっている。

「2公平に勤務が組まれている」では、「そうである」が857名(49.6%)と最も多く、次いで「違う」355名(20.6%)、3番目が「そうである」198名(11.5%)となっている。

「3勤務時間は規則通り守られている」では、「そうである」が755名(43.7%)と最も多く、次いで「違う」324名(18.8%)、3番目が「全くそうである」244名(14.1%)となっている。また、「全く違う」は220名(12.7%)となっている。

「4希望する日に休みが取れる」では、「そうである」が798名(46.2%)と最も多く、次いで「違う」337名(19.5%)、3番目が「全くそうである」242名(14.0%)となっている。また、「全く違う」は167名(9.7%)となっている。

「5リフレッシュでまとまった休みが取れる」では、「違う」が576名(33.4%)と最も多く、次いで「そうである」が446名(25.8%)、3番目が「全く違う」374名(21.7%)、4番目が「全くそうである」145名(8.4%)の順となっている。

「6十分な職員配置がなされている」では、「そうである」が624名(36.1%)と最も多く、次いで「違う」533名(30.9%)、3番目が「全く違う」254名(14.7%)、4番目「全くそうである」136名(7.9%)となっている。

「7休憩時間が十分にある」では、「そうである」が743名(43.0%)と最も多く、次いで「違う」が362名(21.0%)、3番目が「全くそうである」226名(13.1%)、4番目「全く違う」214名(12.4%)となっている。

「8仕事を家に持ち帰ることは少ない」では、「そうである」が689名(39.9%)と最も多く、次いで「全くそうである」が420名(24.3%)となっており、両者で6割以上を占めている。

「9働きやすいように勤務体制に工夫がされている」では、「そうである」が686名(39.7%)と最も多く、次いで「違う」が530名(30.7%)、3番目が「全く違う」209名(12.1%)の順となっている。

「10勤務体制の改善について話し合う機会がある」では、「違う」が604名(35.0%)と最も多く、次いで「そうである」が494名(28.6%)、3番目が「全く違う」363名(21.0%)、4番目「全くそうである」77名(4.5%)となっている。

「11福利厚生が整っている」では、「そうである」が655名(37.9%)と最も多く、次いで「違う」が456名(26.4%)、3番目が「全く違う」250名(14.5%)の順となっている。

【問39】ひとつ前の法人を辞めた理由についてうかがいます。(主なもの3つまで)

n=1,553(1,727件のうち、無回答174件を除く)

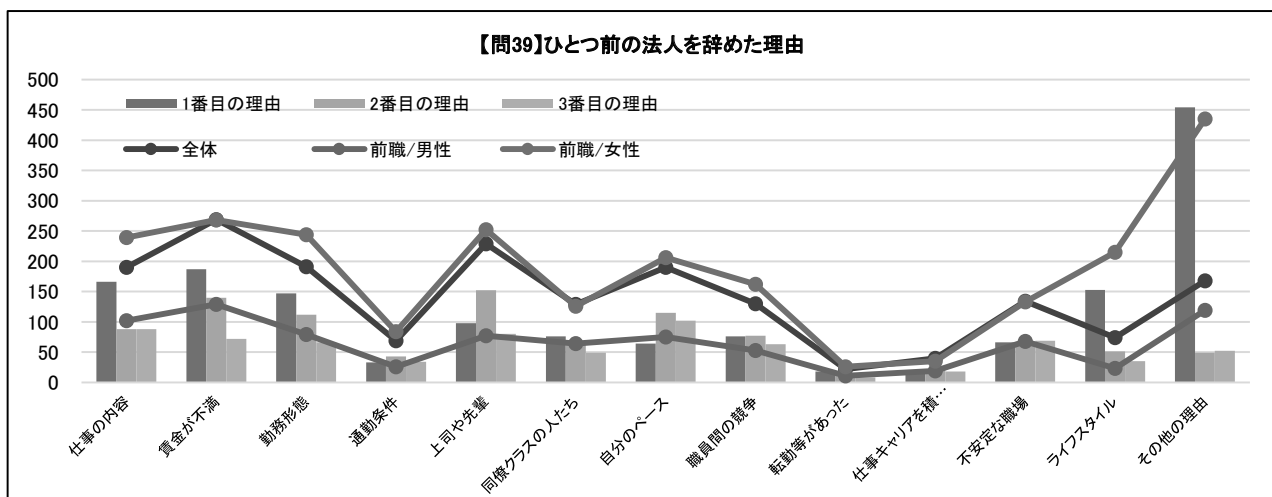
		全体		1番目の理由		2番目の理由		3番目の理由	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	仕事の内容自体にやりがいを感じなかった	342	10.4%	166	10.7%	88	8.9%	88	12.0%
2	賃金に不満があった	399	12.2%	187	12.0%	140	14.1%	72	9.8%
3	勤務形態が合わなかった	325	9.9%	147	9.5%	112	11.3%	66	9.0%
4	通勤条件が合わなかった	110	3.4%	33	2.1%	43	4.3%	34	4.6%
5	職場の上司や先輩から学べるのが少なかった	330	10.1%	98	6.3%	152	15.4%	80	10.9%
6	同僚クラスの人たちとうまくやっていけなかった	190	5.8%	76	4.9%	65	6.6%	49	6.7%
7	落ち着いて自分のペースで仕事ができない職場だった	281	8.6%	64	4.1%	115	11.6%	102	13.9%
8	職員間の激しい競争があり苦痛だった	216	6.6%	76	4.9%	77	7.8%	63	8.6%
9	転勤等があり自分の地元で働き続けることができなかった	37	1.1%	18	1.2%	11	1.1%	8	1.1%
10	多様な職種や事業所がなく、いろいろな仕事キャリアを積む機会がなかった	54	1.6%	15	1.0%	21	2.1%	18	2.4%
11	法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模が不安定な職場だった	201	6.1%	66	4.2%	66	6.7%	69	9.4%
12	結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができなかった	239	7.3%	153	9.9%	51	5.2%	35	4.8%
13	その他の理由	555	16.9%	454	29.2%	49	4.9%	52	7.1%
	合計	3,279	100.0%	1,553	100.0%	990	100.0%	736	100.0%

●回答者別の、1番目の理由から3番目の理由までの合計

- ①男性で、問29にて「前職記載あり(業種は問わない)」と回答した方
 ②女性で、問30にて「前職記載あり(業種は問わない)」と回答した方
 ③問29で、「前職が施設・事業所の種類」と回答した方
 ④問29で、「前職がその他の業種」と回答した方

- ①男性n=368(416件のうち、無回答48件を除く)
 ②女性n=1,180(1,305件のうち、無回答125件を除く)
 ③n=984(1,030件のうち、無回答46件を除く)
 ④n=278(360件のうち、無回答82件を除く)

		①男性/前職あり		②女性/前職あり		③前職/施設		④前職/他業種	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	仕事の内容自体にやりがいを感じなかった	102	8.2%	239	6.1%	200	6.5%	67	6.2%
2	賃金に不満があった	129	10.3%	268	6.8%	231	7.5%	81	7.5%
3	勤務形態が合わなかった	79	6.3%	244	6.2%	210	6.8%	59	5.5%
4	通勤条件が合わなかった	26	2.1%	84	2.1%	74	2.4%	15	1.4%
5	職場の上司や先輩から学べるのが少なかった	77	6.2%	252	6.4%	222	7.2%	46	4.3%
6	同僚クラスの人たちとうまくやっていけなかった	64	5.1%	126	3.2%	114	3.7%	36	3.3%
7	落ち着いて自分のペースで仕事ができない職場だった	75	6.0%	206	5.3%	187	6.1%	31	2.9%
8	職員間の激しい競争があり苦痛だった	53	4.2%	162	4.1%	149	4.8%	30	2.8%
9	転勤等があり自分の地元で働き続けることができなかった	11	0.9%	26	0.7%	22	0.7%	6	0.6%
10	多様な職種や事業所がなく、いろいろな仕事キャリアを積む機会がなかった	19	1.5%	35	0.9%	39	1.3%	6	0.6%
11	法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模が不安定な職場だった	68	5.4%	133	3.4%	125	4.0%	25	2.3%
12	結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができなかった	23	1.8%	215	5.5%	159	5.1%	45	4.2%
13	その他の理由	119	9.5%	435	11.1%	354	11.5%	115	10.6%
14	無回答	403	32.3%	1,490	38.1%	1,004	32.5%	518	48.0%
合計		1,248	100.0%	3,915	100.0%	3,090	100.0%	1,080	100.0%



＜上記問39／13「その他の理由」(記述回答)：主な内容、まとめ＞

▼本人の都合(定年・結婚・育児・健康問題・転居)等による理由(主要な回答・まとめ)

・定年退職のため
・結婚・出産、育児のため
・育児に専念しなかったため
・家族の介護、看病のため
・家族(子ども、親族)の看護が必要になったから
・親等の介護のため
・体調不良、体調を崩したため
・体調が悪化し、病気をきっかけに
・健康問題、体力的な限界を感じたから
・腰や膝痛等の持病が悪化してきたため(業務への支障が出てきた)
・転居したため
・他県に引越すため、他県から引っ越してきたため
・夫の転勤による引越し

▼職場環境・人間関係等(パワハラ・人間関係・事業所閉鎖・廃業)による理由(主要な回答・まとめ)

・上司からのパワハラのため
・上司と考え方などが合わなかった
・職員間によるパワハラ、いじめがあったため
・セクハラ(同僚による)、モラハラがあったため
・人員不足による時間外・夜勤回数の多さのため
・職員数不足で仕事が多かったため
・人間関係が悪かったため
・職場の雰囲気が悪くなかった、馴染めなかったため
・(上司との関係等により)同僚がたくさん辞めたため
・施設が閉所となったため
・事業所の廃止・閉業されたため
・事業所の経営が悪化、倒産したため

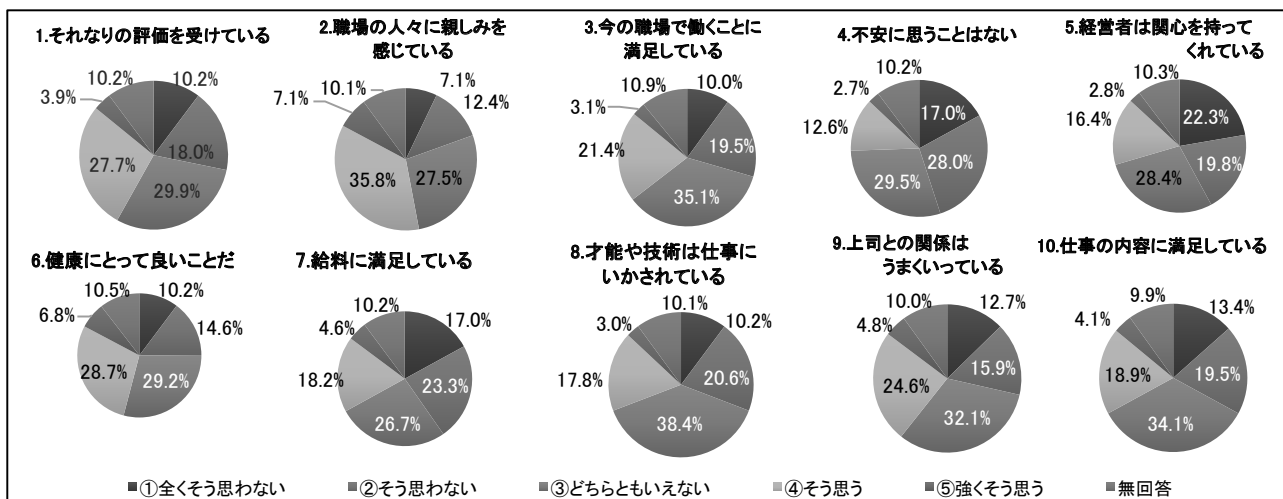
ひとつ前の法人を辞めた理由について、全体としては、「その他の理由」が555名(16.9%)と最も多く、次いで「賃金に不満があった」が399名(12.2%)、3番目が「仕事の内容にやりがいを感じなかった」342名(10.4%)、4番目が「職場の上司・先輩から学べることが少なかった」330名(10.1%)の順となっている。全体としての5番目以下では、「勤務形態が合わなかった」325名(9.9%)、「落ち着いて自分のペースで仕事ができない職場だった」281名(8.6%)、「結婚・出産・育児、介護等のライフスタイルにあわせた働き方ができなかった」239名(7.3%)の順で続いている。また、「その他の理由」555名(16.9%)の内容では、定年退職、出産・育児のため、病気・体調不良のため、転居したためといった本人都合による理由や、上司への不満、パワハラ、セクハラ、職場での人間関係・いじめ、事業所の倒産・廃業・閉鎖といった職場環境によるもの等、複合多岐な理由となっている。

また、ひとつ前の法人を辞めた「1番目の理由」別にみると、「その他の理由」が454名(29.2%)と最も多く、次いで「賃金に不満があった」が187名(12.0%)、3番目「仕事の内容にやりがいを感じない」166名(10.7%)、4番目「結婚・出産・育児、親族の介護等のため」153名(9.9%)の順となっている。辞めた「2番目の理由」別にみると、「職場の上司・先輩から学べることが少なかった」が152名(15.4%)と最も多く、次いで「賃金に不満があった」140名(14.1%)、3番目「落ち着いて自分のペースで仕事できない職場だった」115名(11.6%)、4番目「勤務形態が合わなかった」112名(11.3%)となっている。辞めた「3番目の理由」別にみると、「落ち着いて自分のペースで仕事ができない職場だった」が102名(13.9%)と最も多く、次いで「仕事にやりがいを感じない」88名(12.0%)、3番目「職場の上司・先輩から学べることが少なかった」80名(10.9%)、4番目「賃金に不満があった」72名(9.8%)となっている。

【問40】ひとつ前の法人での様子について、最も当てはまる番号を教えてください。

①全くそう思わない ②そう思わない ③どちらともいえない ④そう思う ⑤強くそう思う

			①	②	③	④	⑤	無回答	合計
1	仕事ができるときには、それなりの評価を受けている	回答数	177	310	517	479	68	176	1,727
		構成比	10.2%	18.0%	29.9%	27.7%	3.9%	10.2%	100.0%
2	職場の人々に親しみを感じている	回答数	123	214	475	618	123	174	1,727
		構成比	7.1%	12.4%	27.5%	35.8%	7.1%	10.1%	100.0%
3	今の職場で働くことに満足している	回答数	173	336	606	369	54	189	1,727
		構成比	10.0%	19.5%	35.1%	21.4%	3.1%	10.9%	100.0%
4	仕事のことで不安に思うことはない	回答数	294	483	509	217	47	177	1,727
		構成比	17.0%	28.0%	29.5%	12.6%	2.7%	10.2%	100.0%
5	経営者は自分のことに関心を持ってくれていると思う	回答数	385	342	490	283	49	178	1,727
		構成比	22.3%	19.8%	28.4%	16.4%	2.8%	10.3%	100.0%
6	仕事することはからだの健康にとって良いことだと思う	回答数	177	253	504	495	117	181	1,727
		構成比	10.2%	14.6%	29.2%	28.7%	6.8%	10.5%	100.0%
7	給料に満足している	回答数	294	402	461	314	80	176	1,727
		構成比	17.0%	23.3%	26.7%	18.2%	4.6%	10.2%	100.0%
8	自分の才能や技術は、すべて仕事にいかされている	回答数	176	356	663	307	51	174	1,727
		構成比	10.2%	20.6%	38.4%	17.8%	3.0%	10.1%	100.0%
9	上司との関係はうまくいっている	回答数	219	274	555	424	83	172	1,727
		構成比	12.7%	15.9%	32.1%	24.6%	4.8%	10.0%	100.0%
10	仕事の内容に満足している	回答数	232	337	589	327	71	171	1,727
		構成比	13.4%	19.5%	34.1%	18.9%	4.1%	9.9%	100.0%



ひとつ前の法人での様子について、「1仕事を出来た時に評価を受けている」では、「どちらともいえない」が517名(29.9%)と最も多く、次いで「そう思う」479名(27.7%)、3番目が「そう思わない」310名(18.0%)の順となっている。

「2職場の人々に親しみを感じている」では、「そう思う」が618名(35.8%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」が475名(27.5%)、3番目が「そう思わない」214名(12.4%)となっている。また、「全くそう思わない」は123名(7.1%)となっている。

「3今の職場で働くことに満足している」では、「どちらともいえない」が606名(35.1%)と最も多く、次いで「そう思う」が369名(21.4%)、3番目が「そう思わない」336名(19.5%)の順となっている。また、「全くそう思わない」は173名(10.0%)となっている。

「4仕事のことで不安はない」では、「どちらともいえない」が509名(29.5%)と最も多く、次いで「そう思わない」483名(28.0%)、3番目が「全くそう思わない」294名(17.0%)となっている。また「強くそう思う」は47名(2.7%)となっている。

「5経営者は自分に関心を持っていると思う」では、「どちらともいえない」が490名(28.4%)と最も多く、次いで「全くそう思わない」が385名(22.3%)、3番目が「そう思わない」が342名(19.8%)となっている。また、「強くそう思う」は49名(2.8%)となっている。

「6仕事することは健康にとってよいと思うか」では、「どちらともいえない」が504名(29.2%)と最も多く、次いで「そう思う」が495名(28.7%)、3番目が「そう思わない」253名(14.6%)となっている。

「7給料に満足している」では、「どちらともいえない」が461名(26.7%)と最も多く、次いで「そう思わない」が402名(23.3%)、3番目が「そう思う」314名(18.2%)となっている。また、「全くそう思わない」は294名(17.0%)となっている。

「8自分の才能・技術が仕事に生かされている」では、「どちらともいえない」が663名(38.4%)と最も多く、次いで「そう思わない」356名(20.6%)、3番目が「そう思う」307名(17.8%)となっている。

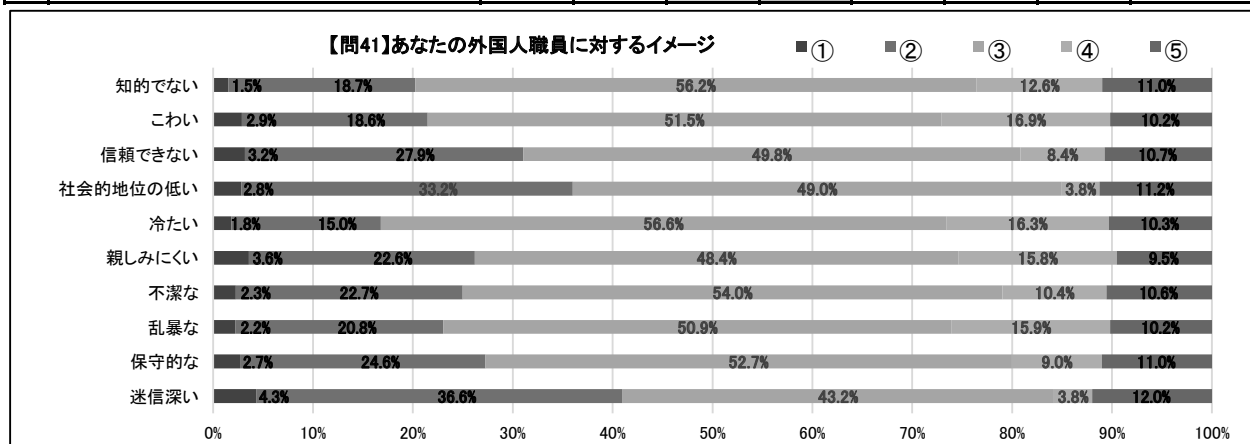
「9上司との関係はうまくいっている」では、「どちらともいえない」が555名(32.1%)と最も多く、次いで「そう思う」が424名(24.6%)、3番目が「そう思わない」274名(15.9%)となっている。また、「全くそう思わない」は219名(12.7%)となっている。

「10仕事の内容に満足している」では、「どちらともいえない」が589名(34.1%)と最も多く、次いで「そう思わない」が337名(19.5%)、3番目が「そう思う」327名(18.9%)となっている。また「全くそう思わない」は232名(13.4%)となっている。

X. 外国人介護職員との協働

【問41】あなたの外国人介護職員に対するイメージについて、行ごとに、最も当てはまる番号を教えてください。

			①	②	③	④	無回答	合計	
1	迷信深い	回答数	93	792	934	83	259	2,161	科学的な
		構成比	4.3%	36.6%	43.2%	3.8%	12.0%	100.0%	
2	保守的な	回答数	58	531	1,139	195	238	2,161	進歩的な
		構成比	2.7%	24.6%	52.7%	9.0%	11.0%	100.0%	
3	乱暴な	回答数	48	450	1,100	343	220	2,161	丁寧な
		構成比	2.2%	20.8%	50.9%	15.9%	10.2%	100.0%	
4	不潔な	回答数	49	491	1,168	225	228	2,161	清潔な
		構成比	2.3%	22.7%	54.0%	10.4%	10.6%	100.0%	
5	親しみにくい	回答数	77	489	1,047	342	206	2,161	親しみやすい
		構成比	3.6%	22.6%	48.4%	15.8%	9.5%	100.0%	
6	冷たい	回答数	39	324	1,223	352	223	2,161	温かい
		構成比	1.8%	15.0%	56.6%	16.3%	10.3%	100.0%	
7	社会的地位の低い	回答数	61	717	1,058	82	243	2,161	社会的地位の高い
		構成比	2.8%	33.2%	49.0%	3.8%	11.2%	100.0%	
8	信頼できない	回答数	69	602	1,076	182	232	2,161	信頼できる
		構成比	3.2%	27.9%	49.8%	8.4%	10.7%	100.0%	
9	こわい	回答数	62	402	1,112	365	220	2,161	やさしい
		構成比	2.9%	18.6%	51.5%	16.9%	10.2%	100.0%	
10	知的でない	回答数	33	404	1,215	272	237	2,161	知的な
		構成比	1.5%	18.7%	56.2%	12.6%	11.0%	100.0%	



外国人介護職員に対するイメージについて、「1迷信深い1～4科学的な」のイメージでは、「3」が934名(43.2%)と最も多く、次いで「2」が792名(36.6%)、3番目「1」93名(4.3%)となっている。

「2保守的な1～4進歩的な」のイメージでは、「3」が1,139名(52.7%)と最も多く、次いで「2」531名(24.6%)、3番目「4」195名(9.0%)となっている。

「3乱暴な1～4丁寧な」のイメージでは、「3」が1,100名(50.9%)と最も多く、次いで「2」450名(20.8%)、3番目「4」343名(15.9%)となっている。

「4不潔な1～4清潔な」のイメージでは、「3」が1,168名(54.0%)と最も多く、次いで「2」491名(22.7%)、3番目「4」225名(10.4%)となっている。

「5親しみにくい1～4親しみやすい」のイメージでは、「3」が1,047名(48.4%)と最も多く、次いで「2」489名(22.6%)、3番目「4」342名(15.8%)となっている。

「6冷たい1～4温かい」のイメージでは、「3」が1,223名(56.6%)と最も多く、次いで「4」352名(16.3%)、3番目「2」324名(15.0%)となっている。

「7社会的地位低い1～4社会的地位高い」のイメージでは、「3」が1,058名(49.0%)と最も多く、次いで「2」717名(33.2%)、3番目「4」82名(3.8%)となっている。

「8信頼できない1～4信頼できる」のイメージでは、「3」が1,076名(49.8%)と最も多く、次いで「2」602名(27.9%)、3番目「4」182名(8.4%)となっている。

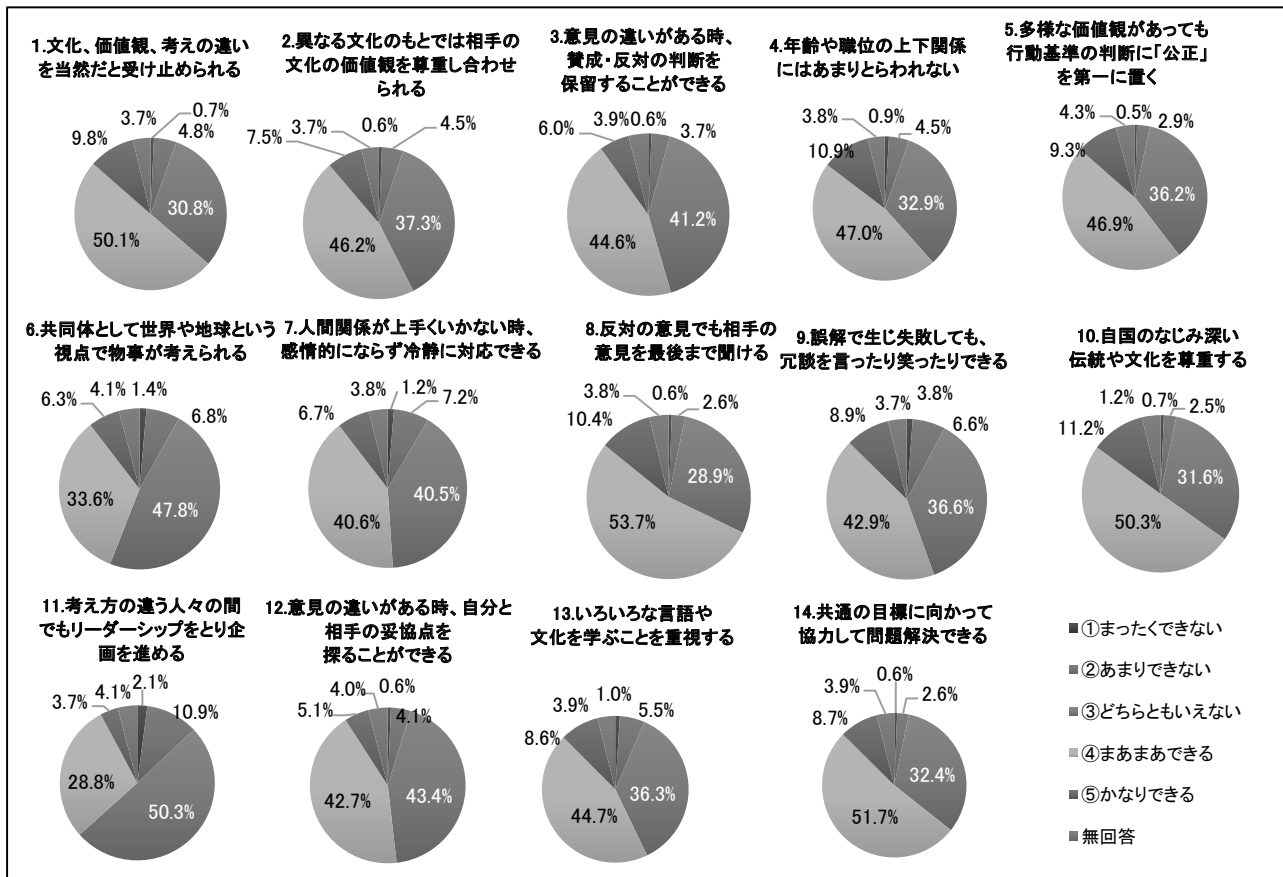
「9こわい1～4やさしい」のイメージでは、「3」が1,112名(51.5%)と最も多く、次いで「2」402名(18.6%)、3番目「4」365名(16.9%)となっている。

「10知的でない1～4知的な」のイメージでは、「3」が1,215名(56.2%)と最も多く、次いで「2」404名(18.7%)、3番目「4」272名(12.6%)となっている。

【問42】今のあなたが様々な国の人と一緒に仕事をするとしたら、どのように対処したいと思いますか。

①まったくできない ②あまりできない ③どちらともいえない ④まあまあできる ⑤かなりできる

			①	②	③	④	⑤	無回答	合計
1	文化、価値観、考えの違いを当然だと受け止められる	回答数	15	104	666	1,083	212	81	2,161
		構成比	0.7%	4.8%	30.8%	50.1%	9.8%	3.7%	100.0%
2	異なる文化のもとでは相手の文化の価値観を尊重し合わせられる	回答数	14	98	807	999	163	80	2,161
		構成比	0.6%	4.5%	37.3%	46.2%	7.5%	3.7%	100.0%
3	意見の違いがある時、賛成・反対の判断を保留することができる	回答数	14	79	890	964	129	85	2,161
		構成比	0.6%	3.7%	41.2%	44.6%	6.0%	3.9%	100.0%
4	年齢や職位の上下関係にはあまりとらわれない	回答数	20	98	711	1,015	235	82	2,161
		構成比	0.9%	4.5%	32.9%	47.0%	10.9%	3.8%	100.0%
5	多様な価値観があっても行動基準の判断に「公正」を第一に置く	回答数	10	62	783	1,013	201	92	2,161
		構成比	0.5%	2.9%	36.2%	46.9%	9.3%	4.3%	100.0%
6	共同体として世界や地球という視点で物事が考えられる	回答数	30	146	1,033	726	137	89	2,161
		構成比	1.4%	6.8%	47.8%	33.6%	6.3%	4.1%	100.0%
7	人間関係が上手くいかない時、感情的にならず冷静に対応できる	回答数	27	156	875	877	144	82	2,161
		構成比	1.2%	7.2%	40.5%	40.6%	6.7%	3.8%	100.0%
8	反対の意見でも相手の意見を最後まで聞ける	回答数	13	57	625	1,160	224	82	2,161
		構成比	0.6%	2.6%	28.9%	53.7%	10.4%	3.8%	100.0%
9	誤解で生じ失敗しても、冗談を言ったり笑ったりできる	回答数	26	143	792	927	193	80	2,161
		構成比	1.2%	6.6%	36.6%	42.9%	8.9%	3.7%	100.0%
10	自国のなじみ深い伝統や文化を尊重する	回答数	15	55	682	1,086	241	82	2,161
		構成比	0.7%	2.5%	31.6%	50.3%	11.2%	3.8%	100.0%
11	考え方の違う人々の間でもリーダーシップをとり企画を進める	回答数	45	236	1,088	623	81	88	2,161
		構成比	2.1%	10.9%	50.3%	28.8%	3.7%	4.1%	100.0%
12	意見の違いがある時、自分と相手の妥協点を探ることができる	回答数	14	89	938	923	110	87	2,161
		構成比	0.6%	4.1%	43.4%	42.7%	5.1%	4.0%	100.0%
13	いろいろな言語や文化を学ぶことを重視する	回答数	22	119	785	965	186	84	2,161
		構成比	1.0%	5.5%	36.3%	44.7%	8.6%	3.9%	100.0%
14	共通の目標に向かって協力して問題解決できる	回答数	14	56	701	1,118	187	85	2,161
		構成比	0.6%	2.6%	32.4%	51.7%	8.7%	3.9%	100.0%



様々な国の人と一緒に仕事をするとして、どう対処すると思うかについて、「1文化、価値観等の違いを当然と受け止められる」では、「まあまあできる」が1083名(50.1%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」666名(30.8%)、3番目が「かなりできる」212名(9.8%)の順となっている。

「2異なる文化において相手の文化・価値観を尊重し合わせられる」では、「まあまあできる」が999名(46.2%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」807名(37.3%)、3番目が「かなりできる」163名(7.5%)の順となっている。

「3意見の違いで賛成・反対の判断を保留できる」では、「まあまあできる」が964名(44.6%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」890名(41.2%)、3番目が「かなりできる」129名(6.0%)の順となっている。

「4年齢・順位の上下関係にはとらわれない」では、「まあまあできる」が1,015名(47.0%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」711名(32.9%)、3番目が「かなりできる」235名(10.9%)の順となっている。

「5多様な価値観があっても行動基準に「公正」を第一に置く」では、「まあまあできる」が1,013名(46.9%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」783名(36.2%)、3番目が「かなりできる」201名(9.3%)の順となっている。

「6共同体として世界・地球の視点で物事が考えられる」では、「どちらともいえない」が1,033名(47.8%)と最も多く、次いで「まあまあできる」726名(33.6%)、3番目が「あまりできない」146名(6.8%)の順となっている。

「7人間関係が上手くいかない時、感情的にならず冷静に対応できる」では、「まあまあできる」が877名(40.6%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」875名(40.5%)、3番目が「あまりできない」156名(7.2%)の順となっている。

「8反対の意見でも相手の意見を最後まで聞ける」では、「まあまあできる」が1,160名(53.7%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」625名(28.9%)、3番目が「かなりできる」224名(10.4%)の順となっている。

「9誤解が生じ失敗しても、冗談や笑ったりできる」では、「まあまあできる」が927名(42.9%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」792名(36.6%)、3番目が「かなりできる」193名(8.9%)の順となっている。

「10自国の深い伝統・文化を尊重する」では、「まあまあできる」が1,086名(50.3%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」682名(31.6%)、3番目が「かなりできる」241名(11.2%)の順となっている。

「11考え方の違う人々の間でもリーダーシップで企画を進める」では、「どちらともいえない」が1,088名(50.3%)と最も多く、次いで「まあまあできる」623名(28.8%)、3番目が「あまりできない」236名(10.9%)の順となっている。

「12意見の違いがある時、相手との妥協点を探ることができる」では、「どちらともいえない」が938名(43.4%)と最も多く、次いで「まあまあできる」923名(42.7%)、3番目が「かなりできる」110名(5.1%)の順となっている。

「13いろいろな言語・文化を学ぶことを尊重する」では、「まあまあできる」が965名(44.7%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」785名(36.3%)、3番目が「かなりできる」186名(8.6%)の順となっている。

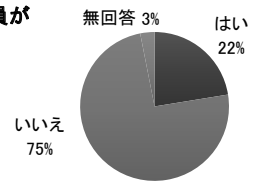
「14共通目標に向い協力して問題解決できる」では、「まあまあできる」が1,118名(51.7%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」701名(32.4%)、3番目が「かなりできる」187名(8.7%)の順となっている。

【問43】あなたの勤務先では外国人介護職員が勤務していますか。

n=2,161			
		回答数	構成比
1	はい	485	22.4%
2	いいえ	1,609	74.5%
3	無回答	67	3.1%
	合計	2,161	100.0%

【問43】外国人介護職員が勤務していますか

■ はい
■ いいえ
■ 無回答

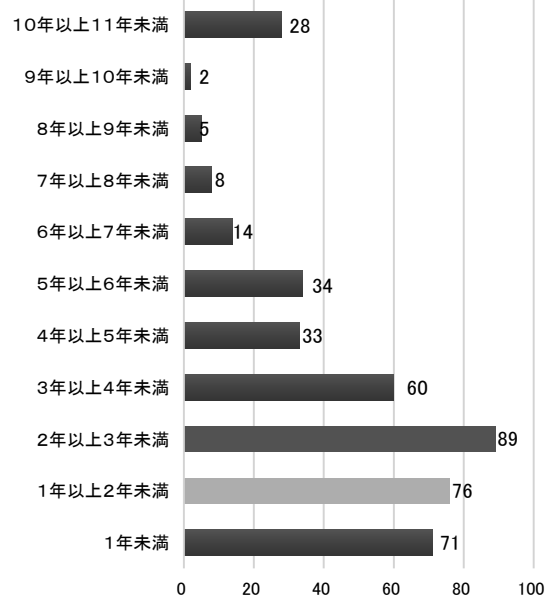


勤務先で外国人介護職員が勤務しているかという質問の回答では、「はい」が485名(22.4%)、「いいえ」が1,609名(74.5%)となっている。

【問43-1-1】(問43で、「1. はい」と回答した方)外国人介護職員が勤務してどれくらい経ちますか。
お分かりの範囲内で教えてください。

n=485			
		回答数	構成比
	1年未満	71	14.6%
	1年以上2年未満	76	15.7%
	2年以上3年未満	89	18.4%
	3年以上4年未満	60	12.4%
	4年以上5年未満	33	6.8%
	5年以上6年未満	34	7.0%
	6年以上7年未満	14	2.9%
	7年以上8年未満	8	1.6%
	8年以上9年未満	5	1.0%
	9年以上10年未満	2	0.4%
	10年以上11年未満	14	2.9%
	11年以上12年未満	6	1.2%
	12年以上13年未満	2	0.4%
	13年以上14年未満	1	0.2%
	14年以上15年未満	2	0.4%
	15年以上16年未満	2	0.4%
	16年以上17年未満	0	0.0%
	17年以上18年未満	0	0.0%
	18年以上19年未満	0	0.0%
	19年以上20年未満	0	0.0%
	20年以上21年未満	1	0.2%
	無回答	65	13.4%
	合計	485	100.0%

【問43-1-1】外国人介護職員が勤務してどれくらい経ちますか



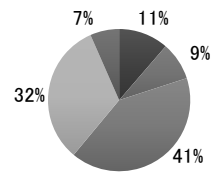
問43「はい」の回答者について、外国人介護職員が勤務してどれくらい経つか(わかる範囲)では、「2年以上3年未満」が89名(18.4%)と最も多く、次いで「1年以上2年未満」が76名(15.7%)、3番目が「1年未満」71名(14.6%)となっている。4番目以下では、「3年以上4年未満」60名(12.4%)、「5年以上6年未満」34名(7.0%)、「4年以上5年未満」33名(6.8%)の順で続いている。また、10年以上では、28名(5.8%)で、最も長い勤務期間は、「20年以上21年未満」で1名(0.2%)となっている。

【問43-1-2】(問43で、「1. はい」と回答した方)勤務先では外国人介護職員関連の研修がありますか。

n=485			
		回答数	構成比
1	あるので参加している	55	11.3%
2	あるけど参加していない	42	8.7%
3	ない	199	41.0%
4	分からない	157	32.4%
5	無回答	32	6.6%
合計		485	100.0%

【問43-1-2】勤務先では外国人介護職員
関連の研修がありますか

- あるので参加している
- あるけど参加していない
- ない
- 分からない
- 無回答

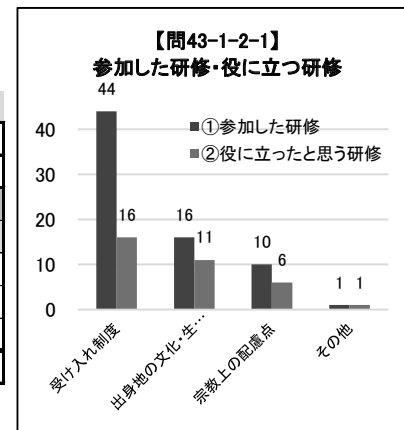


問43「はい」の回答者について、外国人介護職員関連の研修があるかでは、「ない」が199名(41.0%)と最も多く、次いで「わからない」157名(32.4%)、3番目が「あるので参加している」55名(11.3%)となっている。また「あるけど参加していない」は、42名(8.7%)となっている。

【問43-1-2-1】(問43-1-2で、「1. あるので参加している」と回答した方)
参加した研修および役に立つと思う研修すべて教えてください。(複数回答可)

- ①参加した研修
- ②役に立ったと思う研修

		①n= 55		②n= 55	
		①参加した研修	②役に立ったと思う研修	①参加した研修	②役に立ったと思う研修
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	外国人介護職員の受け入れ制度	44	57.9%	16	24.6%
2	外国人介護職員の出身地の文化・生活習慣	16	21.1%	11	16.9%
3	外国人介護職員の宗教上の配慮点	10	13.2%	6	9.2%
4	その他	1	1.3%	1	1.5%
5	無回答	5	6.6%	31	47.7%
合計		76	100.0%	65	100.0%



<①②その他、具体的に>
技能技術指導

「1. あるので参加している」(問43-1-2)の回答者について、①参加した研修では(複数回答可)、「外国人介護職員の受け入れ制度」が44名(57.9%)と最も多く、次いで「外国人介護職員の出身地の文化・生活習慣」16名(21.1%)、3番目が「外国人介護職員の宗教上の配慮点」10名(13.2%)となっている。
②役に立ったと思う研修では(複数回答可)、「外国人介護職員の受け入れ制度」が16名(24.6%)と最も多く、次いで「外国人介護職員の出身地の文化・生活習慣」11名(16.9%)、3番目が「外国人介護職員の宗教上の配慮点」6名(9.2%)となっている。

【問43-1-2-2】(問43-1-2で、「1. あるので参加している」と回答した方)

問43-1-2-1のほかに、外国人介護職員と一緒に仕事をする上で必要だと思う研修内容がありましたら、教えてください。(自由記述)

1	介護の実務(身体介助)
2	研修と言うか、個々の性格の問題が強い。しいて言うなら日本語の勉強 コミュニケーション、責任的な研修(自分の行動)
3	コミュニケーション
4	コミュニケーションと基本的な報告・連絡・相談はできるようにすることと日本文化も理解してお互い良い関係を築く。
5	接遇
6	多国籍の交流会
7	日常会話で必要な言葉、タブーについて
8	日常的に食べている食事内容がお互い違うため、ある程度日本食を食す機会を作ってあげたら良いと思う。
9	日本語をわかりやすく伝える事の難しさ(カタカナ・漢字など)
10	日本の文化風習習慣を教える 日本人の特性

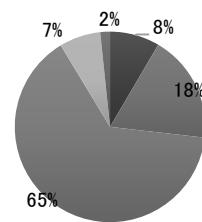
「1. あるので参加している」(問43-1-2)の回答者について、外国人介護職員と勤務する上で必要な研修(記述回答)の内容では、コミュニケーション、日本語の習得について、日本人の特性、文化風習について等となっている。

【問43-1-3】(問43で、「1. はい」と回答した方)外国人介護職員との関わりはどの程度ですか。

n=485		回答数	構成比
1	直接関わることはない	41	8.5%
2	勤務中たまに関わりがある	89	18.4%
3	勤務中日常的に関わりがある	313	64.5%
4	勤務時間外も関わりがある	34	7.0%
5	無回答	8	1.6%
合計		485	100.0%

【問43-1-3】外国人介護職員との関わりはどの程度ですか

- 直接関わることはない
- 勤務中たまに関わりがある
- 勤務中日常的に関わりがある
- 勤務時間外も関わりがある
- 無回答



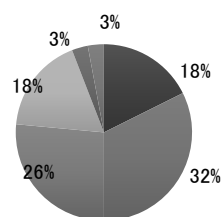
問43「はい」の回答者について、外国人介護職員との関わりはどの程度かでは、「勤務中日常的に関わりがある」が313名(64.5%)と最も多く、次いで「勤務中たまに関わりがある」89名(18.4%)、3番目が「直接関わることはない」41名(8.5%)となっている。また、「勤務時間外も関わりがある」は34名(7.0%)となっている。

【問43-1-3-1】(問43-1-3で、「4. 勤務時間外も関わりがある」と回答した方)関わる頻度はどの程度ですか。

n=34		回答数	構成比
1	週1回程度	6	17.6%
2	月1回程度	11	32.4%
3	年に1回程度	9	26.5%
4	その他	6	17.6%
5	その他(年に3~4回)	1	2.9%
6	その他(年に4~5回)	1	2.9%
合計		34	100.0%

【問43-1-3-1】関わる頻度はどの程度ですか

- 週1回程度
- 月1回程度
- 年に1回程度
- その他
- その他(年に3~4回)
- その他(年に4~5回)



「4. 勤務時間外も関わりがある」(問43-1-3)の回答者について、関わる頻度はどの程度かでは、「月1回程度」が11名(32.4%)と最も多く、次いで「年1回程度」が9名(26.5%)、3番目が「週1回程度」と「その他」が同値で6名(17.6%)となっている。

【問43-1-3-2】(問43-1-3で、「4. 勤務時間外も関わりがある」と回答した方)関わりの内容は具体的にどのようなものですか。(自由記述)

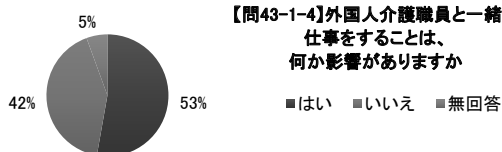
食事会	19
遊び	5
買い物	6
歓送迎会	4
生活指導	3
受診・健康診断	4
送迎	2
町内会	2
旅行	1
自宅訪問	1
勉強会	1
スポーツ	1

「4. 勤務時間外も関わりがある」の回答者について、具体的な関わりの内容では、食事会がもっとも多く、遊びや買い物、歓送迎会等と多様な関わりとなっている。

【問43-1-4】(問43で、「1. はい」と回答した方)外国人介護職員と一緒に仕事をするのは、ご自分にとって何か影響があると思いますか。

n=485		回答数	構成比
1	はい	256	52.8%
2	いいえ	202	41.6%
3	無回答	27	5.6%
合計		485	100.0%

【問43-1-4】外国人介護職員と一緒に仕事をするのは、何か影響がありますか



問43「はい」の回答者について、外国人介護職員と一緒に仕事をする中で何か影響があるかでは、「はい」が、256名(52.8%)、「いいえ」が202名(41.6%)と何か影響があるとの回答が半数以上となっている。

【問43-1-4-1】(問43-1-4で、「1. はい」と回答した方)
それは、具体的にどのようなものですか、教えてください。(自由記述)

▼異文化・風習、価値観等の学び・知識習得の機会　＜主な回答・まとめ＞
・異国文化への知識・学びにつながる ・色々な国の風習や様子を教えてもらえる ・新しい価値観を知ることができる ・多様な価値観に触れることができ、視野が広がる　　等
▼外国人介護職員の取組姿勢による刺激・好影響　＜主な回答・まとめ＞
・前向きな姿勢を学ばせてもらうことが多い ・真面目で何事も丁寧に取り組み、やる気もある等よい刺激になる ・まじめさ、丁寧な気遣い等できていてよい刺激になる ・まじめさや優しさ・丁寧さなど良い影響がある　　等
▼初心回帰への向上効果　＜主な回答・まとめ＞
・初心に戻れる、初心に帰れる ・初心に戻れ、優しさや丁寧さを今一度考えさせられる ・取り組む姿勢が初心を思い出させてくれる ・丁寧さや真面目さなど、当たり前と思っていた事を改めて考える機会になる ・教える事によって自分の介護の勉強、振り返りになる　　等
▼文化・価値観・生活風習等の気づき・実感　＜主な回答・まとめ＞
・異国文化・価値観・考え方・捉え方の違いを実感する ・(日本人との)価値観・考え方の違いを知る機会になる ・生活風習・母国料理・休みの取り方等の違いを感じる　　等
▼外国人介護職員との言葉の壁・コミュニケーションの難しさ　＜主な回答・まとめ＞
・言葉が通じない時に理解してもらえる様に伝えるのが難しい ・言葉の壁・理解力等どう伝えるか難しい ・言葉の壁や指導など考える事が増える ・コミュニケーションが取りづらい　　等